

# 子育て上の悩みと相談に関する 調査研究報告書

平成 14 年 1 月

三重県乳幼児教育センター

## はじめに

近年の核家族化、少子・高齢化、情報機器の発達・普及などの社会変化に伴い、子どもを取り巻く環境が大きく変化し、今一度乳幼児期の心の育ちについて見直すことが問われ、また、子育ての孤立化・不安の増大と児童虐待の増加等との関連も指摘されています。

このような社会の変化に対応し、保育所・幼稚園では、地域や家庭との連携を密にとりながら、子どもの豊かな人間性を育む保育・教育を展開していくとともに子育て支援センター的役割をも果たしていくことが求められています。

当センターでは、昨年度の調査・研究事業として、平成6年度に実施した「子どもの生活実態と子育ての現状に関する調査」をベースとして、ここ数年での社会の大きな変化を踏まえて新たに調査項目を検討した上で、保育所・幼稚園に通う3・4・5歳児の保護者を対象とした「子どもの生活実態と子育ての現状に関する調査」を行い、その結果を年齢別にまとめました。

本年度は、昨年度の「子どもの生活実態と子育ての現状に関する調査」の中から子育て上の悩みと相談に関する項目について回答者の状況別にその結果をみるとともに、自由記述から、子育ての状況についての保護者等の思いを知るための基礎資料を作成し、調査研究報告書にまとめました。

この報告書が、今後、園内研修等で保護者の思いを分析・考察したり、社会の変化に対応する今後の保育所・幼稚園のあり方を考える基礎資料として、また、三重県の乳幼児保育・教育充実のために、関係各方面の皆様方に広く活用していただければ幸いです。

終わりに、この調査研究の企画・実施にあたり、ご指導・ご助言と分析・考察を行っていただきました名古屋柳城短期大学の成田朋子教授には、厚くお礼申し上げます。

なお、例年は、保育所・幼稚園の先生方に調査研究協力員としてご協力いただいておりますが、本年度はセンターの事情から、成田朋子先生のご協力のもとに、センター職員が調査研究事業を進めたことをお断り申し上げます。

平成14年1月

三重県乳幼児教育センター所長

平井 澄子

# 目 次

## 調査研究の概要

- 1. 調査研究の目的 ..... 1
- 2. 調査研究の内容と方法 ..... 1

## 調査研究結果の概要

- 1. 回答者の状況
  - (1) 子どもとの続柄及び回答者の年齢 ..... 5
  - (2) 就労状況 ..... 5
  - (3) 家族類型 ..... 6
  - (4) 居住地 ..... 6
- 2. 子どもの状況
  - (1) 性別及び兄弟姉妹における位置 ..... 7
  - (2) 兄弟姉妹数 ..... 7
- 3. 子どもの育ちに関する悩み
  - (1) 就労状況別にみた「子どもの育ちに関する悩み」 ..... 8
  - (2) 家族類型別にみた「子どもの育ちに関する悩み」 ..... 9
  - (3) 居住地別にみた「子どもの育ちに関する悩み」 ..... 10
  - (4) 兄弟姉妹別にみた「子どもの育ちに関する悩み」 ..... 11
  - (5) ふれあいの程度別にみた「子どもの育ちに関する悩み」 ..... 12
- 4. 子育てに関する悩みの相談先
  - (1) 就労状況別にみた「子育てに関する悩みの相談先」 ..... 13
  - (2) 家族類型別にみた「子育てに関する悩みの相談先」 ..... 14
  - (3) 居住地別にみた「子育てに関する悩みの相談先」 ..... 15
  - (4) 兄弟姉妹別にみた「子育てに関する悩みの相談先」 ..... 16
  - (5) ふれあいの程度別にみた「子育てに関する悩みの相談先」 ..... 17
  - (6) 子どもの育ちに関する悩み別にみた「子育てに関する悩みの相談先」 ..... 18
  - (7) 平成6年度調査との比較：「子育てに関する悩みの相談先」 ..... 19
- 5. 子育てに関する情報源
  - (1) 就労状況別にみた「子育てに関する情報源」 ..... 21
  - (2) 家族類型別にみた「子育てに関する情報源」 ..... 22
  - (3) 居住地別にみた「子育てに関する情報源」 ..... 23
  - (4) 兄弟姉妹別にみた「子育てに関する情報源」 ..... 24

( 5 ) ふれあいの程度別にみた「子育てに関する情報源」	25
( 6 ) 子どもの育ちに関する悩み別にみた「子育てに関する情報源」	26
( 7 ) 平成 6 年度調査との比較：「子育てに関する情報源」	27
6 . 子育てに関して知りたいこと	
( 1 ) 就労状況別にみた「子育てに関して知りたいこと」	29
( 2 ) 家族類型別にみた「子育てに関して知りたいこと」	30
( 3 ) 居住地別にみた「子育てに関して知りたいこと」	31
( 4 ) 兄弟姉妹別にみた「子育てに関して知りたいこと」	32
( 5 ) ふれあいの程度別にみた「子育てに関して知りたいこと」	33
7 . 子育てに関する希望情報源	
( 1 ) 就労状況別にみた「子育てに関する希望情報源」	34
( 2 ) 家族類型別にみた「子育てに関する希望情報源」	35
( 3 ) 居住地別にみた「子育てに関する希望情報源」	36
( 4 ) 兄弟姉妹別にみた「子育てに関する希望情報源」	37
( 5 ) ふれあいの程度別にみた「子育てに関する希望情報源」	38
( 6 ) 平成 6 年度調査との比較：「子育てに関する希望情報源」	39
8 . しつけがうまくいかなかった場合の対応	
( 1 ) 年齢別にみた「しつけがうまくいかなかった場合の対応」	41
( 2 ) 年齢別にみた「しつけがうまくいかなかった場合の対応後の保護者の気持ち」	45
( 3 ) 「しつけがうまくいかなかった場合の対応」別にみた「対応後の保護者の気持ち」	48
9 . 子育てについての意見	49
まとめ	55
資料	
1 . 調査票及び単純集計結果	61
2 . クロス集計表	70
3 . 自由記述分類集計表	74
4 . 参考資料	76

# 調査研究の概要

# 調査研究の概要

## 1. 調査研究の目的

近年の少子化や核家族化、情報化、女性の社会進出等の社会変化に伴い、子どもや子育て家庭を取り巻く状況も大きく変化しており、家庭や地域における教育機能の低下や子育て不安の増加等の問題が指摘されている。そのような状況の中で、保育所・幼稚園には、地域における子育てネットワークの核として家庭での子育てを支援する役割が求められており、子どもや子育て家庭を取り巻く状況や子育て支援ニーズを把握しておく必要がある。

そこで、本調査研究では、平成12年度に実施した「子どもの生活実態と子育ての現状に関する調査」の結果を基に、「子育てに関する悩み」「子育てに関する情報」などの実態について、子育てをする家庭や地域環境の違いから分析するとともに、「しつけがうまくいかないときの対応と保護者の気持ち」「子育てについて思うこと」など、保護者の子どもへの関わり方、子育てについての考え方の実態を把握することを目的とする。

## 2. 調査研究の内容と方法

### (1) 平成12年度アンケート調査の概要

#### 調査対象者

県内の保育所・幼稚園に通う3歳児・4歳児・5歳児から無作為に抽出した幼児（約2,600人）の保護者を対象とした。

抽出にあたっては、平成6年度の調査と比較研究をするため、同抽出園・所に依頼し、抽出を行った。

#### 調査対象者数及び回答者数

表 - 1 調査対象者数及び回答者数

	調査対象者数	回答者数	回収率
3歳児	874人	794人	90.8%
4歳児	847人	772人	91.1%
5歳児	849人	782人	92.1%
合計	2,570人	2,348人	91.3%

#### 調査方法及び調査期間

対象幼児の保護者が調査票に記入する方法を採り、抽出保育所・幼稚園を通して配布・回収した。平成12年9月14日から平成12年9月29日まで

#### 調査事項

アンケート調査票参照（P.61～P.69）

## (2) 平成13年度調査研究の内容と方法

平成12年度に実施した県内保育所・幼稚園に通う3・4・5歳児の保護者対象の「子どもの生活実態と子育ての現状に関する調査」の結果から、「子どもの育ちに関する悩み」「子育てに関する悩みの相談先」「子育てに関する情報源」「子育てに関して知りたいこと」「子育てに関する希望情報源」について取りあげ、「就労状況」「家族類型」「居住地」「兄弟姉妹数」「ふれあいの程度」「子どもの育ちに関する悩み」との関連について、表-2の方法でクロス集計し、分析・考察した。

また、同調査における「しつけがうまくいかない場合の対応」「しつけがうまくいかなかった場合の対応後の保護者の気持ち」「子育てについての意見」については、その記述内容を分類し、記述の全体及び年齢別の傾向について分析・考察した。

表-2 クロス集計の方法

	就労状況別	家族類型別	居住地別	兄弟姉妹数別	ふれあいの程度別	子どもの育ちに関する悩み別
子どもの育ちに関する悩み						
子育てに関する悩みの相談先	*	*	*	*		*
子育てに関する知識の情報源	*	*	*	*		
子育てに関して知りたいこと						
子育てに関する希望情報源	*	*	*	*		

クロス集計を行った項目

\* 保育所の役割を探るために、平成6年度調査に基づく平成7年度「子育て上の悩みと相談に関する調査研究報告書」との比較分析を行った項目

## (3) 平成13年度調査研究で取りあげた項目

### ・子どもの育ちに関する悩み

「お子さんの育ちに関する悩みごとにはどんなものがありますか」(問8(2))の問に対して、13項目の選択肢から3項目まで選択してもらった。なお、平成6年度調査では、「その他」を含む14項目の選択肢から3項目までの選択であった。

### ・子育てに関する悩みの相談先

「子育てに関して誰に相談したり、何を参考にしたりしていますか」(問8(3))の問に関して、11項目の選択肢から3項目まで選択してもらった。なお、平成6年度調査では、9項目の選択肢から2項目までの選択であった。

また、平成6年度調査では、「友人・知人」とした選択肢を平成12年度調査では「友人」と「知人・近所の人」に分け、「インターネット」を追加した。今回の分析・考察では、比較しやすいように「友人」と「知人・近所の人」を合わせて「友人・知人」とした。

・子育てに関する情報源

「子育てに関する知識を何から得ていますか」(問9(1))の問に関して、11の選択肢から3項目まで選択してもらった。なお、平成6年度調査では、9項目の選択肢から2項目までの選択であったが、悩みの相談先と同様、11項目とし、3項目までの選択とした。

・子育てに関して知りたいこと

「子育てについて知りたいことはどんなことですか」(問9(3))の問に関して、8項目の選択肢から2項目まで選択してもらった。

・子育てに関する希望情報源

「子育てについてどんな方法で知りたいですか」(問9(4))の問に関して、11項目の選択肢から3項目まで選択してもらった。なお、平成6年度調査では、9項目の選択肢から2項目までの選択であったが、「インターネットから」「保育所・幼稚園の先生から」を追加し、11項目とし、3項目までの選択とした。

・就労状況

「あなたのご職業について、主にあてはまるもの」(問1(3))の問に関して、9項目の選択肢の中から1項目を選択してもらった。

今回の分析にあたっては、回答数が少ない職業があるため、「公務員・会社員等」「パート勤労者」「家での仕事」「専業主婦」の4分類にまとめて分析した。「公務員・会社員等」には、「自由業」を含め、「家での仕事」には、「家内職」「商工自営業」「農林水産業」を含めた。

・家族類型

「あなたの家族についてあてはまるもの」(問1(4))の問に対して、5項目の選択肢の中から1項目を選択してもらった。

今回の分析にあたっては、「核家族」「三世代家族」「母子家族」「父子家族」の4項目で分析した。「父子家族」は回答者数が少ないため、各項目の回答の割合が極端な割合を示すことに注意が必要である。

・居住地

「あなたが住んでいるところについて、あてはまるもの」(問1(6))の問に対して、8項目の選択肢から1項目を選択してもらった。

・兄弟姉妹数

「お子さんには兄弟姉妹が何人いますか(本人も含む)」(問2(3))の問で回答を求めた。

分析にあたっては、兄弟姉妹数は「1人」「2人」「3人以上」の3分類で分析した。



- ・ふれあいの程度

「お子さんとのふれあいをどの程度行っていますか」(問7(1))の問に対して、5項目の選択肢の中から1項目を選択してもらった。

- ・しつけがうまくいかなかった場合の対応

- ・しつけがうまくいかなかった場合の対応後の保護者の気持ち

「しつけがうまくいかないとき、お子さんに対してどのような態度をとられますか。」「そのあと、どのように感じられましたか。」(問6(8))の問いに対して自由に記述してもらい、記述内容についてそれぞれ7項目、12項目(P.74参照)に分類した。1人の記述内容が複数項目に分類される場合もある。なお、しつけがうまくいかなかった場合の対応については、「規制」の項目をさらに「説得」「叱責」「体罰」などの具体的な行動として分類した。

- ・子育てについての意見

「今、子育てにあたってどんなことをお考えですか。」(問10)の問いに対して自由に記述してもらい、記述内容について9項目(P.75参照)に分類した。1人の記述内容が複数項目に分類される場合もある。

#### (4) 利用上の注意

- ・平成12年度の調査は、平成6年度の調査と比較研究できるように条件をそろえるため、調査の内容、調査の方法はほぼ同様である。調査対象園・所については、平成6年度と同園・所に依頼し、調査対象者については、平成6年度の調査対象者の約3分の1とした。
- ・ここ数年の社会変化を考慮し、平成12年度の調査研究事業のなかで、検討を加えた設問については新たに選択肢を追加したり、質問の形式を変えたりするなど、変更した。そのため、単純に比較できないものもある。
- ・本文中で、単一選択式の質問の場合でも、各選択肢の回答者の比率の合計が100%にならない場合がある。回答者の比率を小数点以下第2位で四捨五入していること、無回答を表中に掲載していなかったりすることなどによる。

# 調査研究結果の概要

## 調査研究結果の概要

### 1. 回答者の状況

#### (1) 子どもとの続柄と年齢

回答者と対象となった幼児との続柄については、「母親」による回答が96.8%であり、「父親」による回答は2.5%と大変少ない。

また、回答者の年齢は、「30～34歳」が48.0%を占め、ついで「35～39歳」の29.1%となっており、回答者の約80%が30歳以上となっている。

図1-1 回答者の子どもとの続柄

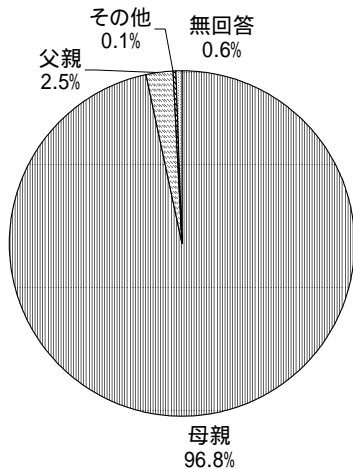
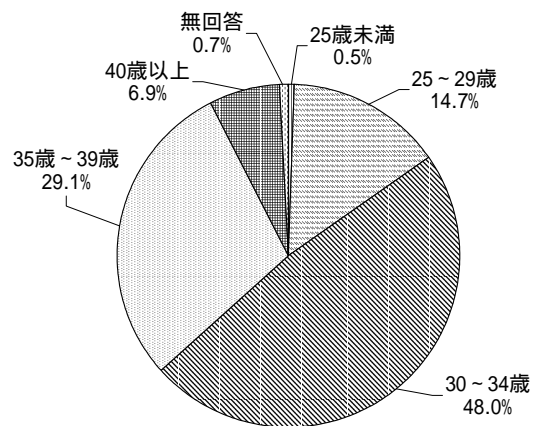


図1-2 回答者の年齢



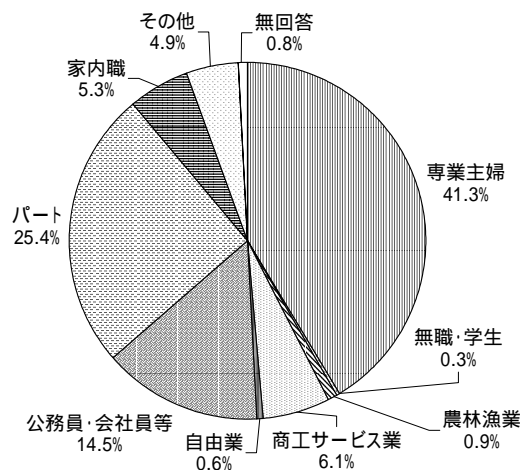
(注) グラフの数字は調査対象者全体に対する割合である。

#### (2) 就労状況

回答者の職業については、約41.3%が専業主婦であり、家で内職をしている人などを合わせると47%近くが家庭にいることになる。

就労している人の内訳は、「パート勤労者」が25.4%と一番多く、ついで「公務員・会社員等」の14.5%となっている。

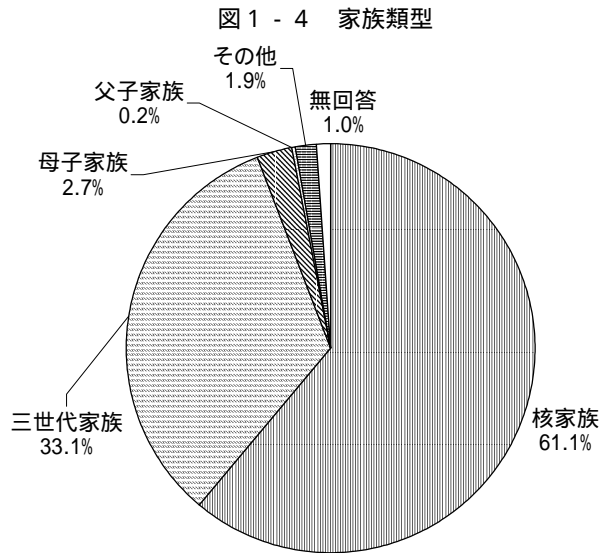
図1-3 回答者の職業



(注) グラフの数字は調査対象者全体に対する割合である。

(3) 家族類型

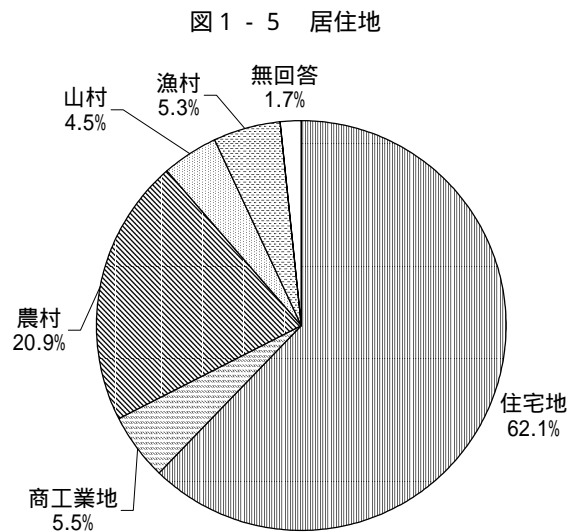
家族の類型については、「核家族」という回答が 61.1%であり、「三世代家族」という回答は 33.1%である。



(注) グラフの数字は調査対象者全体に対する割合である。

(4) 居住地

居住地においては、「住宅地」という回答が 62.1%で半数以上を占め、ついで「農村」という回答が 20.9%である。



(注) グラフの数字は調査対象者全体に対する割合である。

## 2. 子どもの状況

### (1) 性別及び兄弟姉妹における位置

性別をみると、男女の割合はほぼ同数であり、その子が兄弟姉妹の何番目にあたるかをみると、「1番目」が45.5%で、「2番目」が39.1%である。

図2-1 子どもの性別

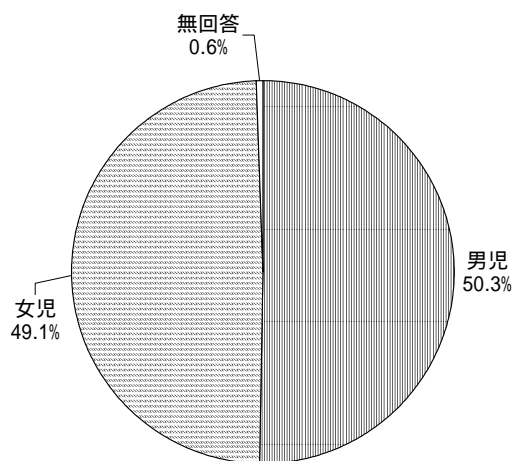
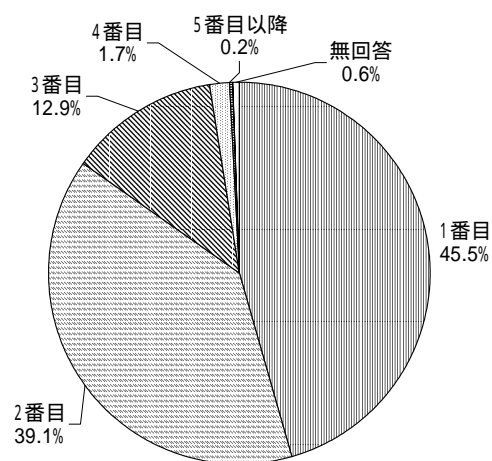


図2-2 子どもの兄弟姉妹における位置

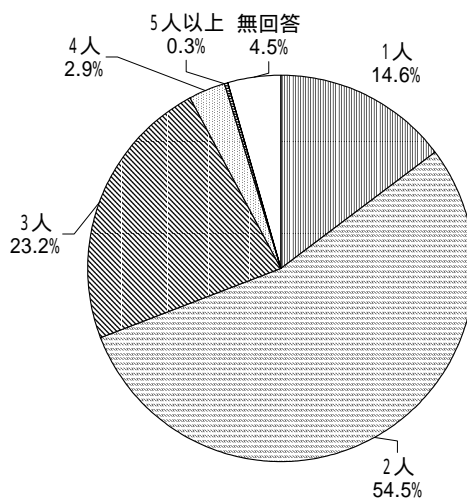


(注) グラフの数字は調査対象者全体に対する割合である。

### (2) 兄弟姉妹数

対象幼児を含めた兄弟姉妹数については、「2人」の家庭が54.5%と半数以上を越えており、ついで「3人」の家庭が23.2%となっている。「一人(対象幼児のみ)」の家庭は14.6%である。

図2-3 兄弟姉妹数



(注) グラフの数字は調査対象者全体に対する割合である。

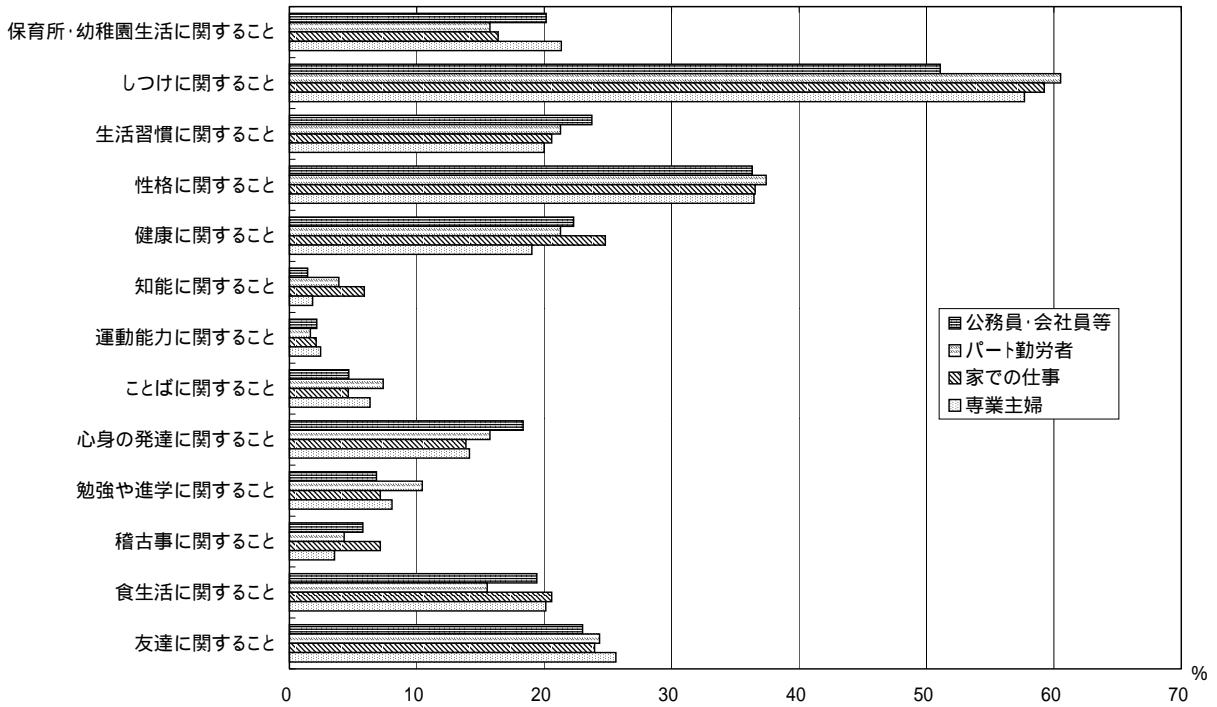
3. 子どもの育ちに関する悩み

(1) 就労状況別にみた「子どもの育ちに関する悩み」

回答者の就労状況別の「子どもの育ちに関する悩み」は、「公務員・会社員等」「パート勤労者」「家での仕事」「専業主婦」のいずれの場合も、悩みの第1位は「しつけに関すること」で、50%を超えており、第2位が「性格に関すること」の悩みで、30%を超えている。

「公務員・会社員等」では、悩みの第3位が「生活習慣に関すること」で23.7%、「家での仕事」では、「健康に関すること」で24.8%。「パート勤労者」「専業主婦」では、「友達に関すること」がそれぞれ24.3%、25.6%で、悩みの第3位以下は回答者の就労状況によって異なる。

図3 - 1 就労状況別にみた「子どもの育ちに関する悩み」(複数回答)



注1. 調査票の問1(3)と問8(2)のクロスにより作成した。  
 注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表3 - 1 就労状況別にみた「子どもの育ちに関する悩み」(上位4位まで)

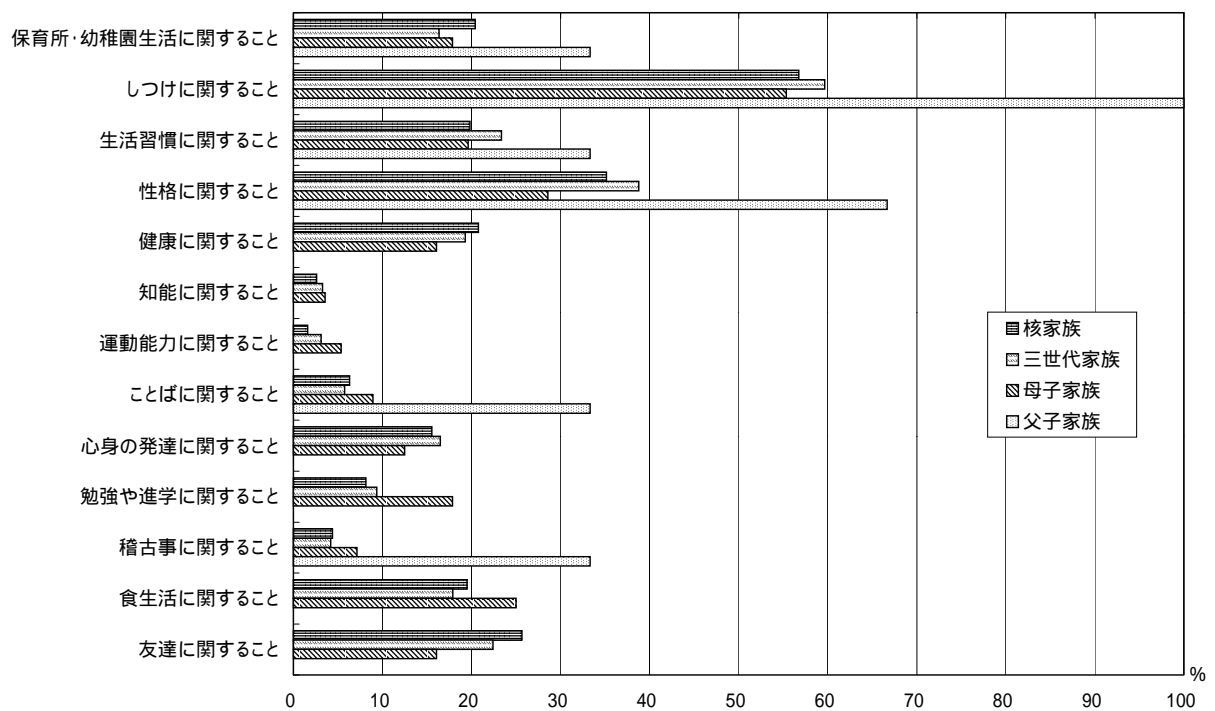
	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位
公務員・会社員等	しつけ性	格	生活習慣	友だち
パート勤労者	しつけ性	格	友だち	生活習慣・健康
家での仕事	しつけ性	格	健康	友だち
専業主婦	しつけ性	格	友だち	園所生活

(2) 家族類型別にみた「子どもの育ちに関する悩み」

家族類型別の「子どもの育ちに関する悩み」についての回答は、いずれの家族類型の場合も、子どもの育ちの悩みの第1位は「しつけに関すること」であり、50%を超える割合となっている。第2位は、いずれの家族類型の場合も「性格に関すること」で、30%前後である。第3位は、「核家族」では「友達に関すること」、「三世代家族」では「生活習慣に関すること」、「母子家族」では「食生活に関すること」で、それぞれ25%前後となっている。子どもの育ちに関する悩みの3位以下は、家族類型によって異なる。

「父子家族」では、回答者数が少ないため、第1位の「しつけに関すること」も、第2位の「性格に関すること」も、それぞれ100.0%、66.7%と、他の家族類型よりも極端に高い割合を示している。

図3 - 2 家族類型別にみた「子どもの育ちに関する悩み」(複数回答)



注1. 調査票の問1(4)と問8(2)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

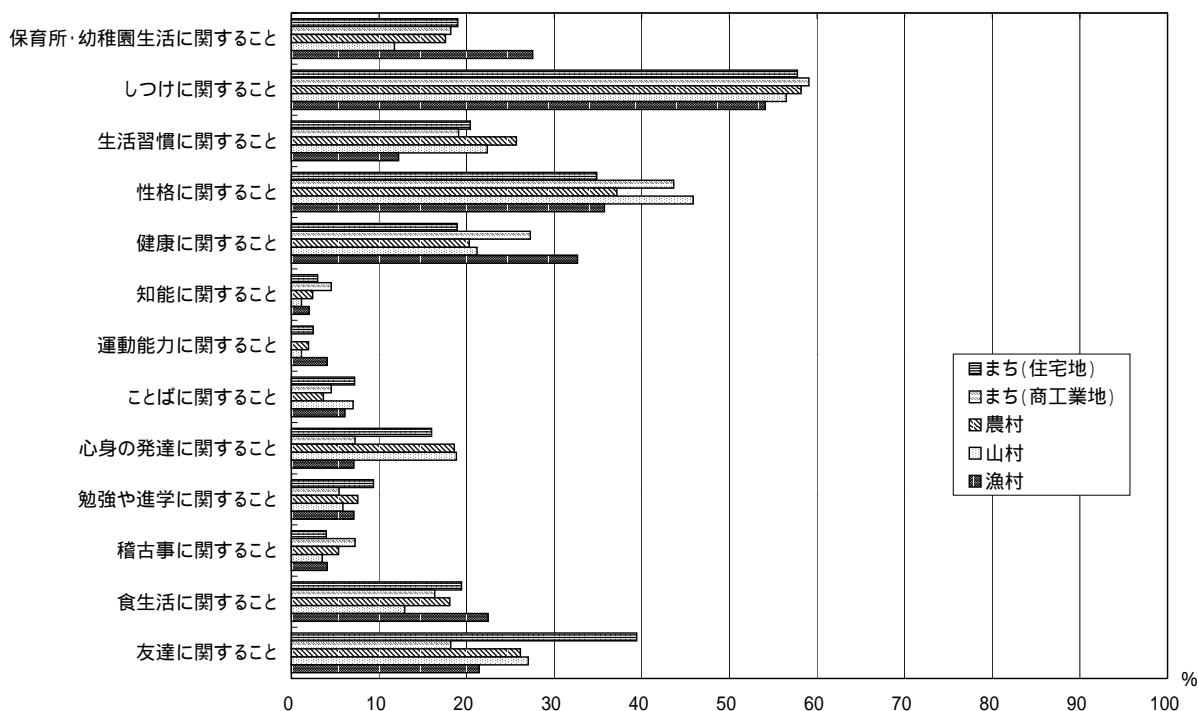
表3 - 2 家族類型別にみた「子どもの育ちに関する悩み」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
核家族	しつけ	性格	友達	健康
三世代家族	しつけ	性格	生活習慣	友達
母子家族	しつけ	性格	食生活	生活習慣
父子家族	しつけ	性格	園所生活・生活習慣	ことば・稽古事

(3) 居住地別にみた「子どもの育ちに関する悩み」

いずれの居住地の場合も、悩みの第1位が「しつけに関すること」で50%を超えており、第2位が「性格に関すること」で、40%前後の割合となっている。第3位は、「住宅地」と「農村」、「山村」で「友達に関すること」、「商業地」と「漁村」で「健康に関すること」となっている。この「健康に関すること」に対する割合が「漁村」では32.7%と他に比べて高い割合になっている。第4位は、「漁村」では「園所生活」となっているが、その他の居住地では、「生活習慣に関すること」となっている。

図3-3 居住地別にみた「子どもの育ちに関する悩み」(複数回答)



注1. 調査票の問1(6)と問8(2)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表3-3 居住地別にみた「子どもの育ちに関する悩み」(上位4位まで)

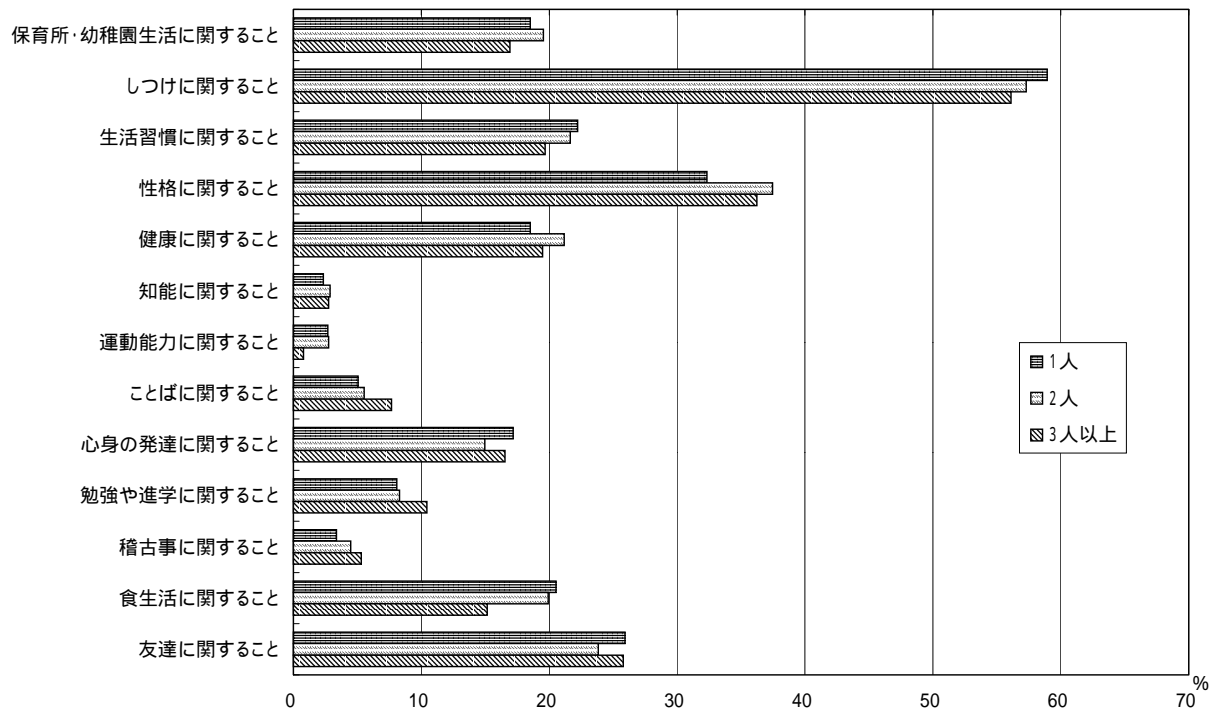
	第1位	第2位	第3位	第4位
まち(住宅地)	しつけ	性格	友達	生活習慣
まち(商業地)	しつけ	性格	健康	生活習慣
農村	しつけ	性格	友達	生活習慣
山村	しつけ	性格	友達	生活習慣
漁村	しつけ	性格	健康	園所生活



(4) 兄弟姉妹数別にみた「子どもの育ちに関する悩み」

いずれの兄弟姉妹数の場合でも、悩みの第1位は、「しつけに関すること」で50%を超えており、第2位は、「性格に関すること」で30%を超えている。第3位は、「友達に関すること」で25%前後、第4位は「生活習慣に関すること」で20%前後となっており、兄弟姉妹数による大きな違いは見られない。

図3-4 兄弟姉妹数別にみた「子どもの育ちに関する悩み」(複数回答)



注1. 調査票の問2(3)と問8(2)のクロスにより作成した。  
 注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表3-4 兄弟姉妹数別にみた「子どもの育ちに関する悩み」(上位4位まで)

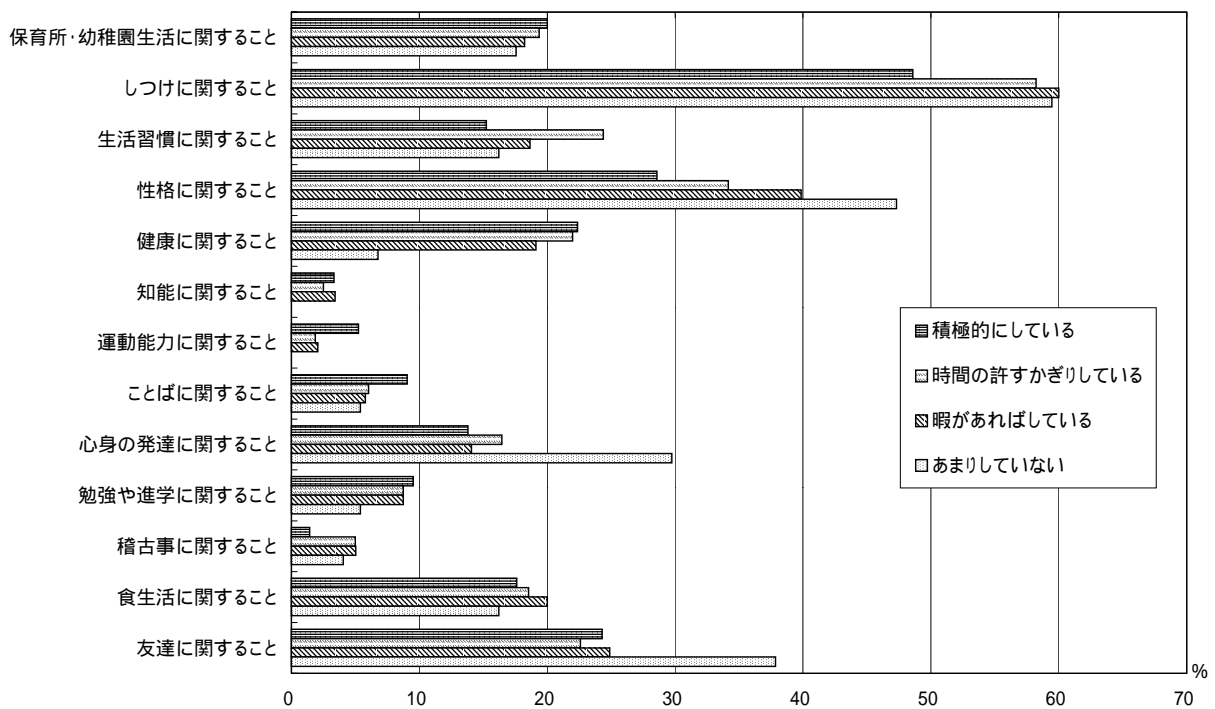
	第1位	第2位	第3位	第4位
一人	しつけ	性格	友達	生活習慣
二人	しつけ	性格	友達	生活習慣
三人以上	しつけ	性格	友達	生活習慣

(5) ふれあいの程度別にみた「子どもの育ちに関する悩み」

いずれのふれあいの程度別でも、悩みの第1位は「しつけに関すること」となっているが、ふれあいを「積極的にしている」人の場合は、他のふれあいの程度の人より「しつけに関すること」の悩みの割合が、低めになっている。また、いずれのふれあいの程度でも悩みの第2位は「性格に関すること」であるが、「積極的にしている」人は28.6%と低めであり、「あまりしていない」人は、逆に47.3%と高くなっている。

悩みの第3位は、ふれあいを「時間の許すかぎりしている」人は「生活習慣に関すること」、その他のふれあいの程度の人には「友達に関すること」となっている。ふれあいを「あまりしていない」人は「友達に関すること」「心身の発達に関すること」の割合が他の程度の人よりも高くなっている。

図3-5 ふれあいの程度別にみた「子どもの育ちに関する悩み」(複数回答)



注1. 調査票の問7(1)と問8(2)のクロスにより作成した。  
 注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表3-5 ふれあいの程度別にみた「子どもの育ちに関する悩み」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
積極的にしている	しつけ	性格	友達	健康
時間の許すかぎりしている	しつけ	性格	生活習慣	友達
暇があればしている	しつけ	性格	友達	食生活
あまりしていない	しつけ	性格	友達	心身の発達

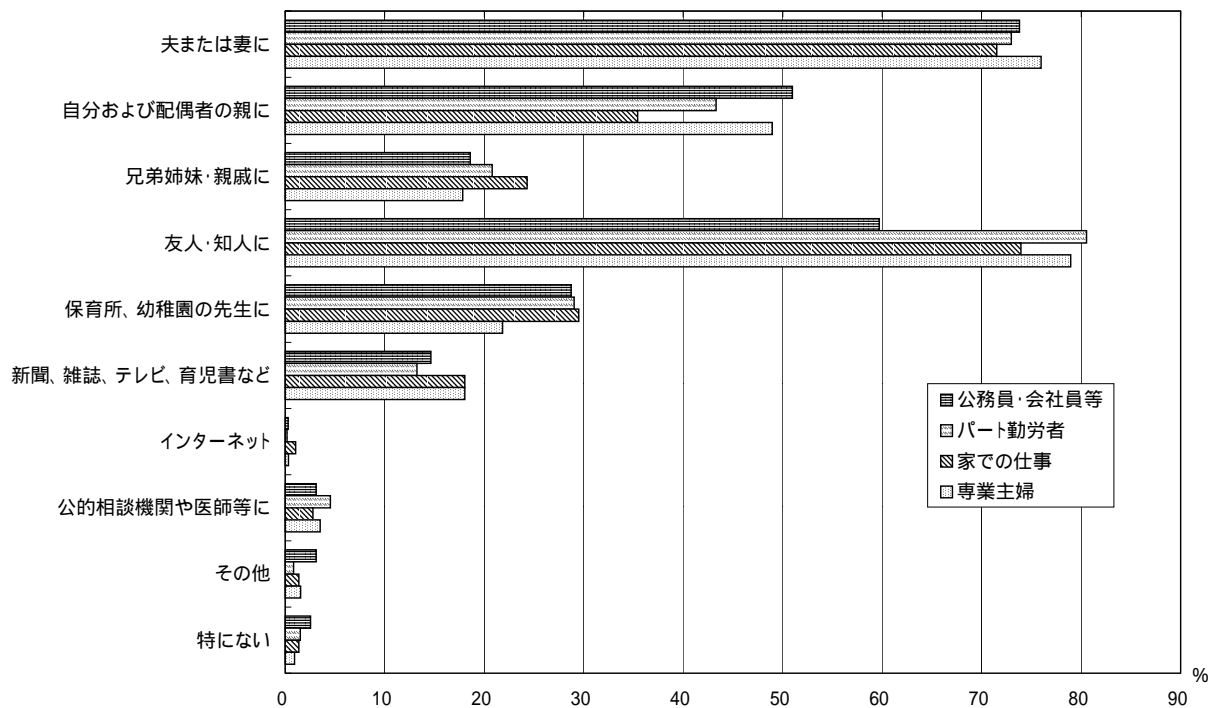
#### 4. 子育てに関する悩みの相談先

##### (1) 就労状況別にみた「子育てに関する悩みの相談先」

「公務員・会社員等」の場合では、「子育てに関する悩みの相談先」の第1位は「夫または妻に」で70%を超える高い割合となっており、第2位は「友人・知人に」の59.7%となっている。この第2位の「友人・知人に」の割合は他の就労状況に比べて低い割合となっている。「パート勤労者」「家での仕事」「専業主婦」の場合の相談先の順位はすべて同じで、第1位が「友人・知人に」、第2位が「夫または妻に」となっており、特に「パート勤労者」での「友人・知人に」を選んだ割合が80%を超える高い割合となっている。

また、第3位、第4位には、いずれの就労状況別でもそれぞれ「自分及び配偶者の親に」「保育所・幼稚園の先生に」があがっている。

図4-1 就労状況別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(複数回答)



注1. 調査票の問1(3)と問8(3)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表4-1 就労状況別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(上位4位まで)

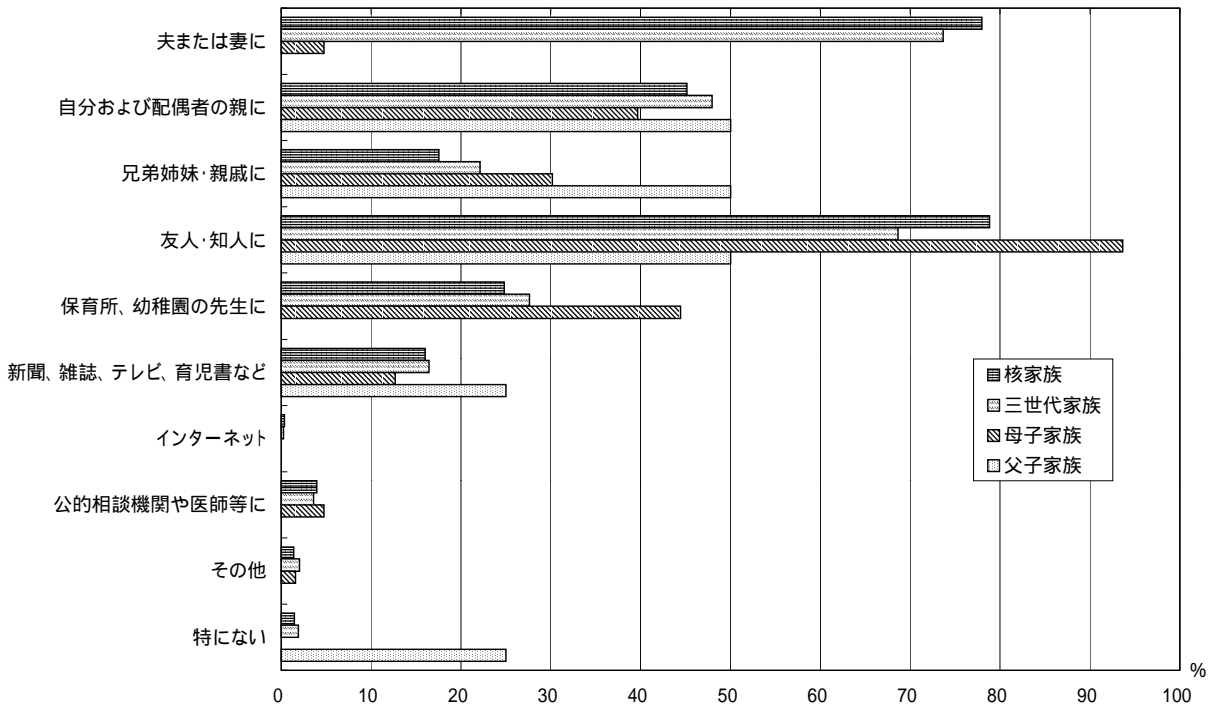
	第1位	第2位	第3位	第4位
公務員・会社員等	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
パート勤労者	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
家での仕事	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
専業主婦	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生

(2) 家族類型別にみた「子育てに関する悩みの相談先」

「核家族」では第1位が「友人・知人に」、第2位が「夫または妻に」で、それぞれ80%弱あり、1位と2位はあまり差がない。「三世代家族」では第1位が「夫または妻に」、第2位が「友人・知人に」となっている。「母子家族」では第1位が「友人・知人に」、第2位が「保育所・幼稚園の先生に」となっており、他の家族類型よりも高い割合を示している。

「父子家族」では、「自分及び配偶者の親に」「兄弟姉妹・親戚に」「友人・知人に」が50%と高い割合になっており、「新聞・雑誌・テレビ・育児書など」が25%と次に多くなっている。また、「特にない」との回答も25%と、他の家族類型の場合と比べて高くなっている。

図4-2 家族類型別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(複数回答)



注1. 調査票の問1(4)と問8(3)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

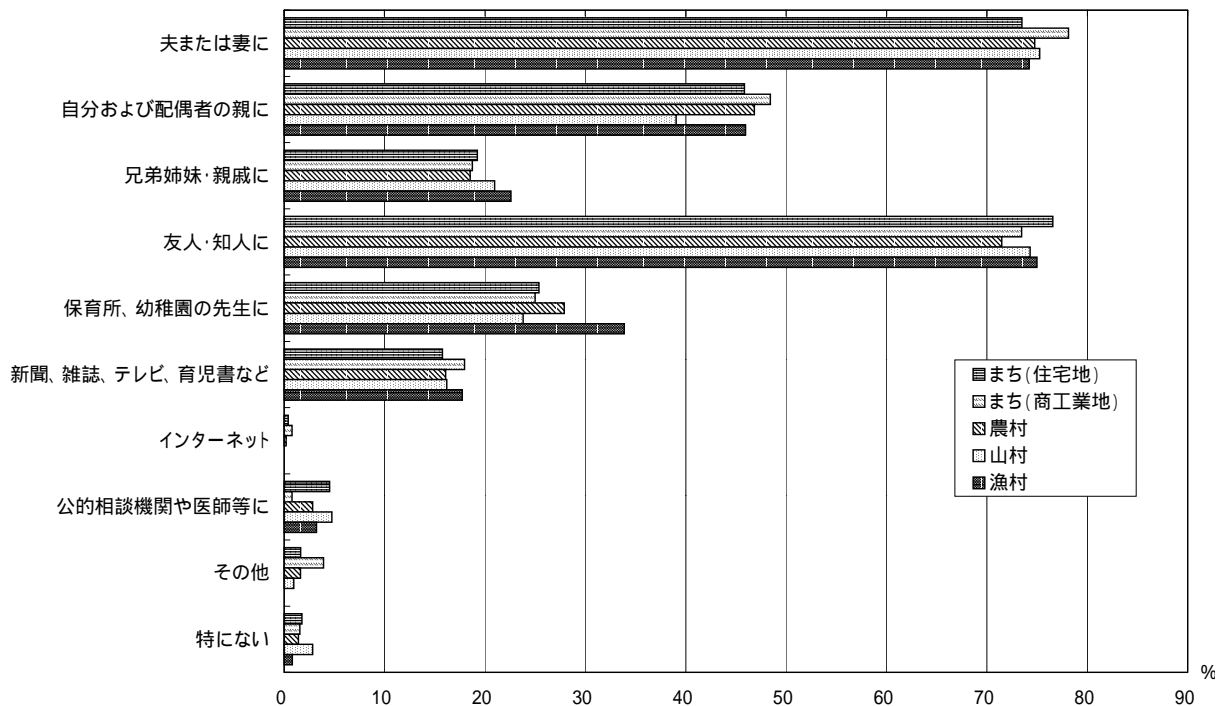
表4-2 家族類型別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
核 家 族	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親の先生	保育所・幼稚園の先生
三 世 代 家 族	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親の先生	保育所・幼稚園の先生
母 子 家 族	友人・知人	保育所・幼稚園の先生	自分及び配偶者の親の先生	兄弟・親戚
父 子 家 族	自分及び配偶者の親、兄弟・親戚、友人・知人			新聞・テレビ等

(3) 居住地別にみた「子育てに関する悩みの相談先」

「子育てに関する悩みの相談先」を居住地別にみると、いずれの場合も第1位、第2位が70%を超えており、「住宅地」では、第1位が「友人・知人に」、第2位が「夫または妻に」、第3位が「自分及び配偶者の親に」、第4位が「保育所・幼稚園の先生に」の順序となっている。その他の居住地では、第1位が「夫または妻に」、第2位が「友人・知人に」となっており、第3位、第4位はいずれの居住地別でも同じになっている。その中で、「漁村」では第4位の「保育所・幼稚園の先生に」の割合が他の居住地よりも若干高くなっている。

図4-3 居住地別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(複数回答)



注1. 調査票の問1(6)と問8(3)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表4-3 居住地別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(上位4位まで)

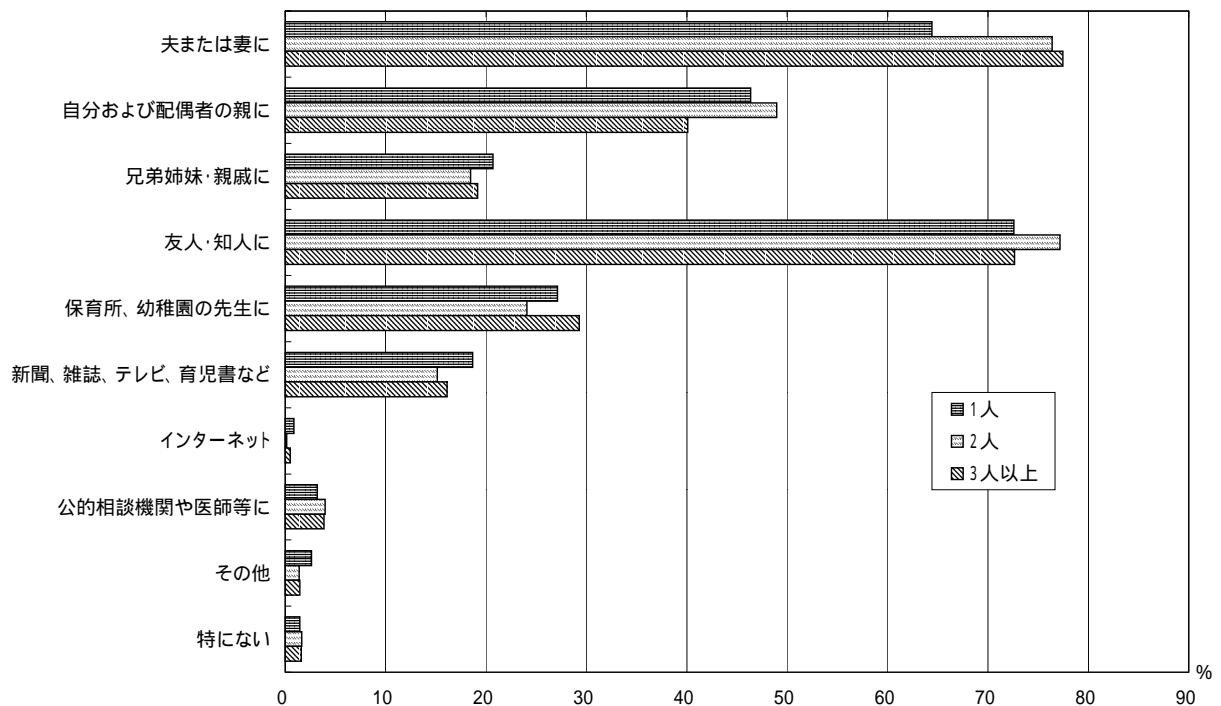
	第1位	第2位	第3位	第4位
まち(住宅地)	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
まち(商工業地)	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
農村	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
山村	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
漁村	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生

(4) 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する悩みの相談先」

兄弟姉妹数が「1人」「2人」の場合は、相談先の第1位は「友人・知人に」、第2位は「夫または妻に」、第3位は「自分及び配偶者の親に」、第4位は「保育所・幼稚園の先生に」となっている。

「3人以上」の場合は、第1位は「夫または妻に」、第2位は「友人・知人に」となっている。

図4-4 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(複数回答)



注1. 調査票の問2(3)と問8(3)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表4-4 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(上位4位まで)

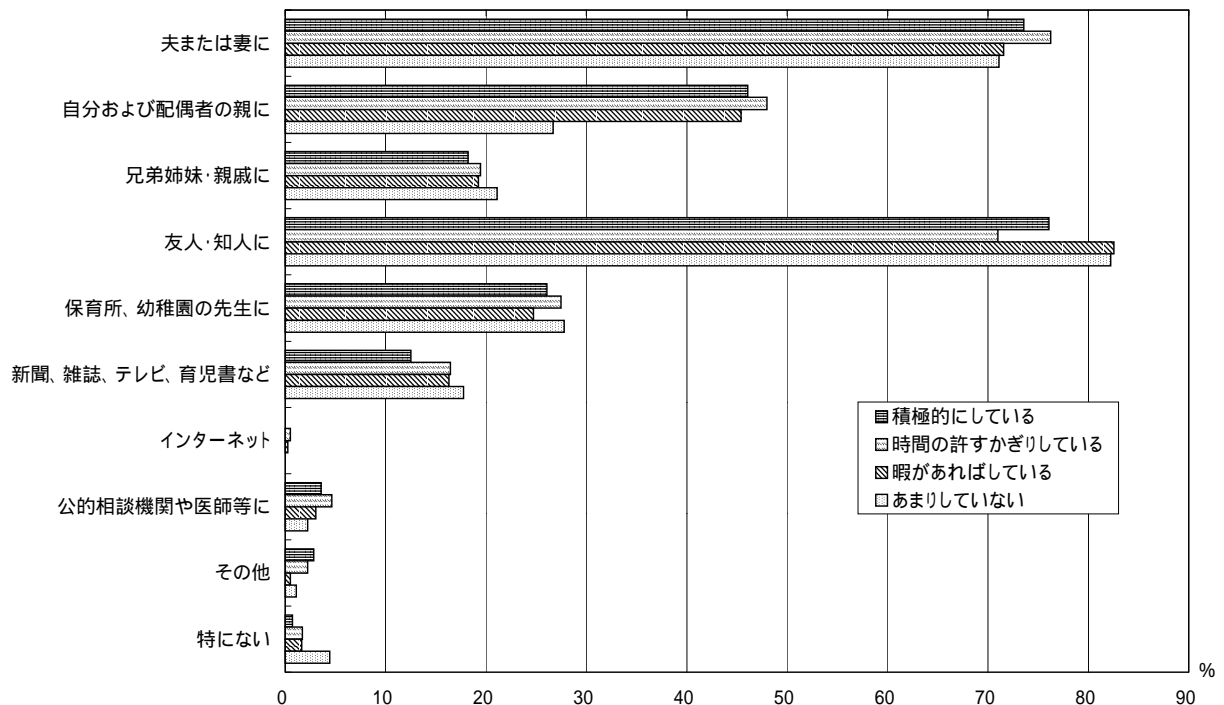
	第1位	第2位	第3位	第4位
一人	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
二人	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
三人以上	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生

(5) ふれあいの程度別にみた「子育てに関する悩みの相談先」

ふれあいの程度別にみると、ふれあいを「積極的にしている」「暇があればしている」「あまりしていない」場合は、いずれも第1位は「友人・知人に」で80%前後となっており、第2位が「夫または妻に」で70%を超えている。ふれあいを「積極的にしている」「暇があればしている」では第3位が「自分及び配偶者の親に」、第4位が「保育所・幼稚園の先生に」となっている。ふれあいを「あまりしていない」場合は、第3位は「保育所・幼稚園の先生に」、第4位は「自分及び配偶者の親に」の順序となっている。

ふれあいを「時間の許す限りしている」場合は、第1位は「夫または妻に」、第2位は「友人・知人に」、第3位は「自分及び配偶者の親に」、第4位は「保育所・幼稚園の先生に」という順序となっている。

図4-5 ふれあいの程度別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(複数回答)



注1. 調査票の問7(1)と問8(3)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表4-5 ふれあいの程度別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(上位4位まで)

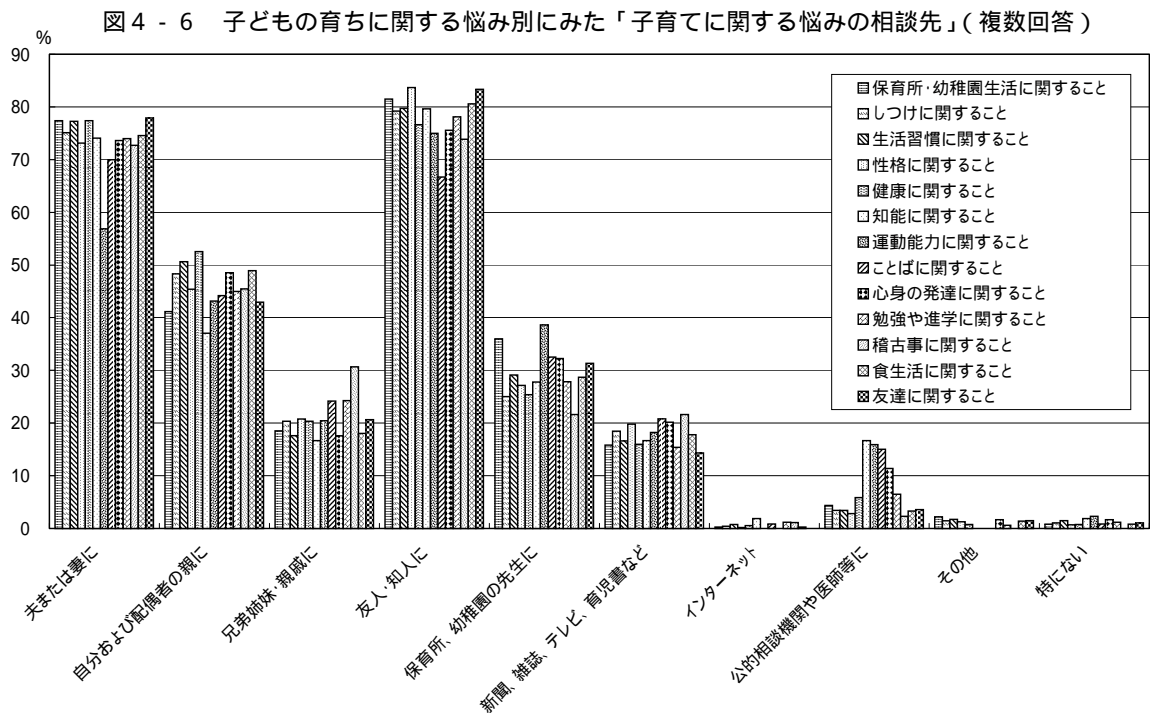
	第1位	第2位	第3位	第4位
積極的にしている	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
時間の許すかぎりしている	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
暇があればしている	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
あまりしていない	友人・知人	夫または妻	保育所・幼稚園の先生	自分及び配偶者の親

(6) 子どもの育ちに関する悩み別に見た「子育てに関する悩みの相談先」

子どもの育ちに関する悩みとして回答の多かった「しつけ」「性格」「友だちに関する悩み」についてみると、悩みの相談先は、いずれも、第1位が「友人・知人に」、第2位が「夫または妻に」、第3位が「自分及び配偶者の親に」、第4位が「保育所・幼稚園の先生に」となっている。「健康に関すること」と「ことばに関すること」では相談先の1位と2位が逆転している。また、「稽古事に関すること」では第4位が「兄弟・親戚に」となっている。

「友人・知人に」相談することで多いのは「性格に関すること」「友だちに関すること」「保育所・幼稚園に関すること」「食生活に関すること」で、80%を超えている。「夫または妻に」相談することで多いのは、「保育所・幼稚園生活に関すること」「生活習慣に関すること」「健康に関すること」「友だちに関すること」で、ほぼ同じ割合となっている。「自分及び配偶者の親に」相談することでは「健康に関すること」が最も多くなっている。「保育所・幼稚園の先生」に相談することで多いのは「運動能力に関すること」となっている。

また、「公的相談機関や医師等」に相談することで多いのは「知能に関すること」「運動能力に関すること」「ことばに関すること」となっている。



注1. 調査票の問8(2)と問8(3)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表4-6 子どもの育ちに関する悩み別に見た「子育てに関する悩みの相談先」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
しつけに関すること	友人・知人	夫または妻	自分および配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
性格に関すること	友人・知人	夫または妻	自分および配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
友だちに関すること	友人・知人	夫または妻	自分および配偶者の親	保育所・幼稚園の先生



(7) 平成6年度調査との比較：「子育てに関する悩みの相談先」

「子育てに関する悩みの相談先」について前回調査と比較すると、就労状況別にみると、前回調査では「パート勤労者」以外では第1位が「夫または妻」であった(表4-7)のに対し、今回調査では「公務員・会社員等」以外の悩みの相談先が第1位は「友人・知人」となっている(P.13、表4-1)。

表4-7 就労状況別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(平成6年度調査結果)

	第1位	第2位	第3位	第4位
公務員・会社員等	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
パート勤労者	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
家での仕事	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
専業主婦	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生

家族類型別にみると、前回調査では「核家族」「三世代家族」ともに第1位は「夫または妻」であった(表4-8)のに対し、今回調査では「三世代家族」のみ「夫または妻」が第1位となっている(P.14、表4-2)。また、前回調査では「母子家族」の悩みの相談先の第3位に「保育所・幼稚園の先生」があがっていたが、今回調査では、「母子家族」の相談先の第2位に「保育所・幼稚園の先生」があがり、逆に前回2位の「自分及び配偶者の親に」が第3位となっている。

表4-8 家族類型別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(平成6年度調査結果)

	第1位	第2位	第3位	第4位
核家族	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
三世代家族	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
母子家族	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生	兄弟姉妹・親戚
父子家族	保育所・幼稚園の先生	自分及び配偶者の親	友人・知人	新聞・テレビ等

居住地別では、前回調査ではいずれの場合も「夫・妻に」が第1位であった(表4-9)が、今回調査では「まち(住宅地)」では「友人・知人」が第1位となっている(P.15、表4-3)。

表4-9 居住地別にみた「子育てに関する悩みの相談先」(平成6年度調査結果)

	第1位	第2位	第3位	第4位
まち(住宅地)	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
まち(商工業地)	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
農村	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
山村	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
漁村	夫または妻	友人・知人	保育所・幼稚園の先生	自分及び配偶者の親

兄弟姉妹数別では、前回調査では兄弟姉妹が一人（ひとりっ子）の場合だけ「友人・知人」が第1位であった（表4 - 10）が、今回調査では、兄弟姉妹数2人の場合も「友人・知人」が相談先の第1位となっている（P. 16、表4 - 4）。

表4 - 10 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する悩みの相談先」（平成6年度調査結果）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位
一人	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
二人	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
三人以上	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生

子どもの育ちに関する悩み別にみると、前回は「しつけ」に関することの相談先の第1位は「夫または妻」にであった（表4 - 11）が、今回調査では「友人・知人に」が第1位となっている（P. 18、表4 - 6）。

表4 - 11 子どもの育ちに関する悩み別にみた「子育てに関する悩みの相談先」（平成6年度調査結果）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位
しつけに関すること	夫または妻	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
性格に関すること	友人・知人	夫または妻	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
友だちに関すること	夫または妻	友人・知人	保育所・幼稚園の先生	自分及び配偶者の親

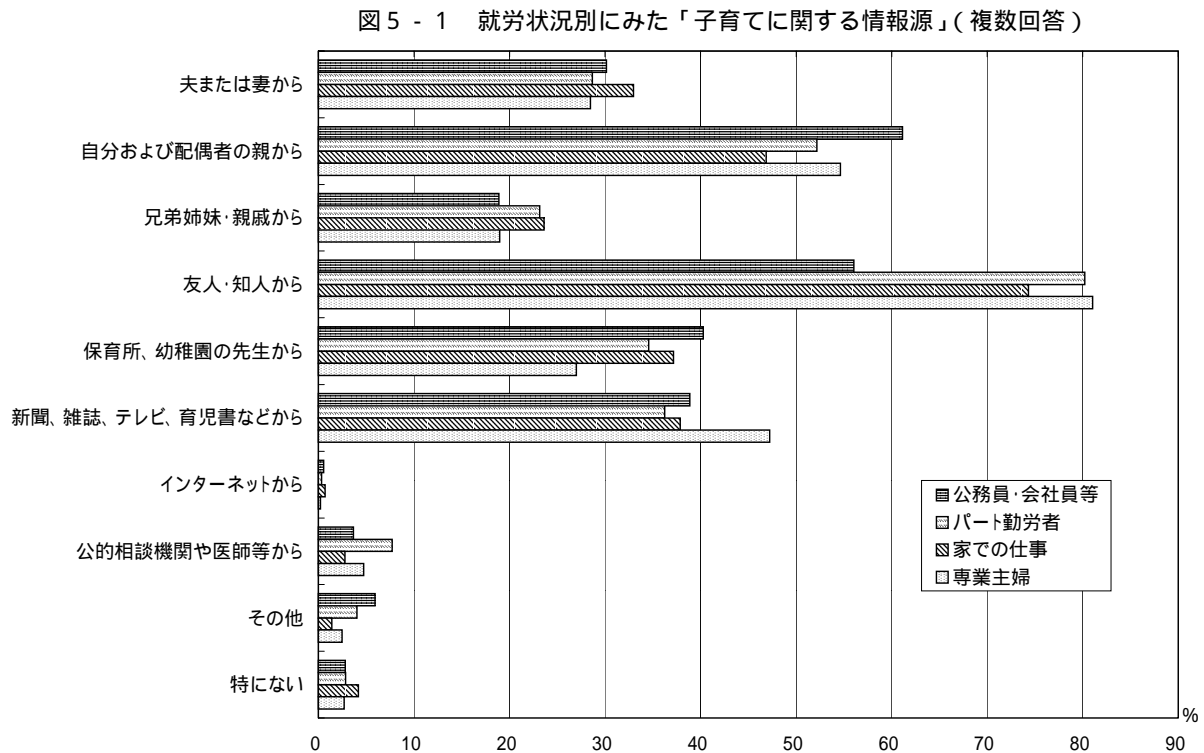
いずれの状況別にみても、今回調査では、相談先として「友人・知人」が第1位となったものが多い。しかし、平成6年度調査では「友人・知人」であった選択肢を、平成12年度調査では「友人」と「知人・近所の人」の選択肢に分けており、それらを合わせた数値で比較していることを念頭に置かなければならない。

## 5. 子育てに関する情報源

### (1) 就労状況別にみた「子育てに関する情報源」

回答者の就労状況別にみた「子育てに関する情報源」は、「公務員・会社員等」の場合は、第1位は「自分及び配偶者の親から」で60%を超えている。第2位以下は、「友人・知人から」「保育所・幼稚園の先生から」「新聞、雑誌、テレビ、育児書などから」となっており、第3位と第4位の差はあまりない。

「パート勤労者」「家での仕事」「専業主婦」の場合は、第1位は「友人・知人から」、第2位は「自分及び配偶者の親から」、第3位は「新聞、雑誌、テレビ、育児書などから」、第4位は「保育所・幼稚園の先生から」と同じ順序となっている。特に、「パート勤労者」と「専業主婦」の場合に、「友人・知人から」の割合が多く、80%を超えている。また、「専業主婦」の場合は「新聞、雑誌、テレビ、育児書などから」の割合が他よりも高くなっている。



注1. 調査票の問1(3)と問9(1)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表5-1 就労状況別にみた「子育てに関する情報源」(上位4位まで)

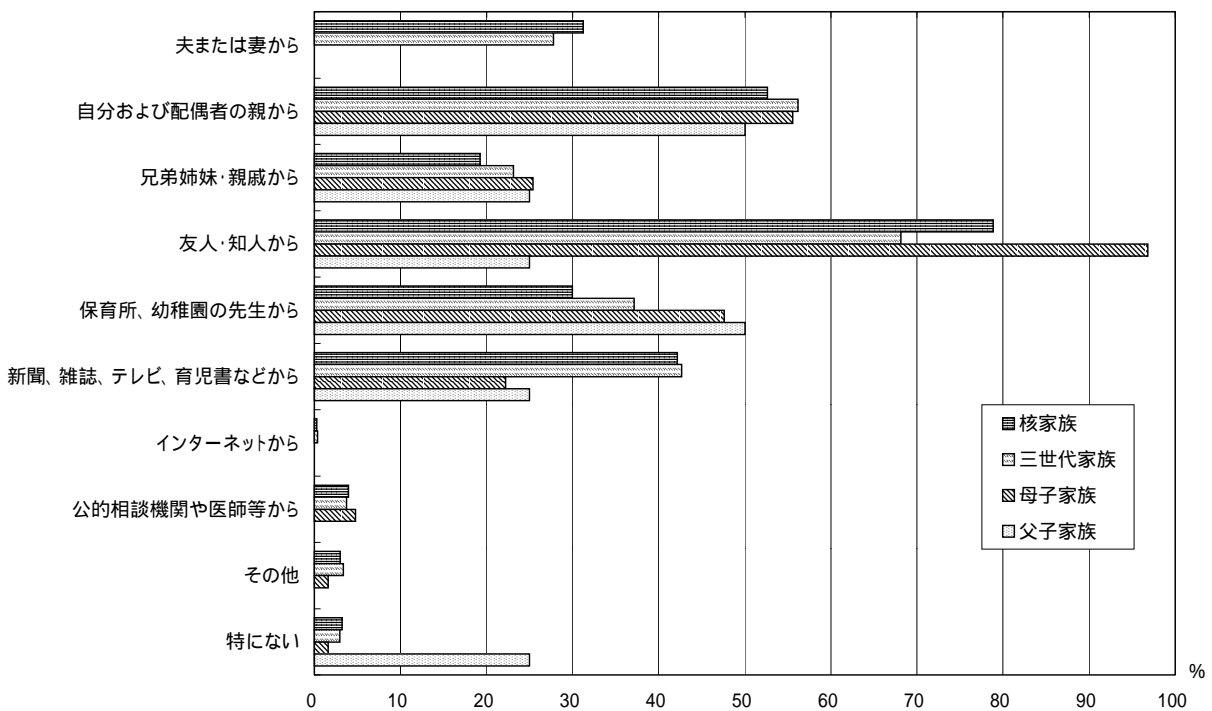
	第1位	第2位	第3位	第4位
公務員・会社員等	自分及び配偶者の親	友人・知人	保育所・幼稚園の先生	新聞・テレビ等
パート勤労者	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
家での仕事	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
専業主婦	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	夫または妻

(2) 家族類型別にみた「子育てに関する情報源」

「核家族」「三世代家族」「母子家族」の場合は「子育てに関する情報源」の第1位は「友人・知人から」、第2位は「自分及び配偶者の親から」となっており、特に「母子家族」において「友人・知人から」の割合が96.8%と高い値を示している。第3位は「核家族」「三世代家族」では「新聞、雑誌、テレビ、育児書などから」となっており、「母子家族」では「保育所・幼稚園の先生から」となっている。

「父子家族」の場合は「自分及び配偶者の親から」と「保育所・幼稚園の先生から」が50%と同じ割合になっている。

図5 - 2 家族類型別にみた「子育てに関する情報源」(複数回答)



注1. 調査票の問1(4)と問9(1)のクロスにより作成した。  
 注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

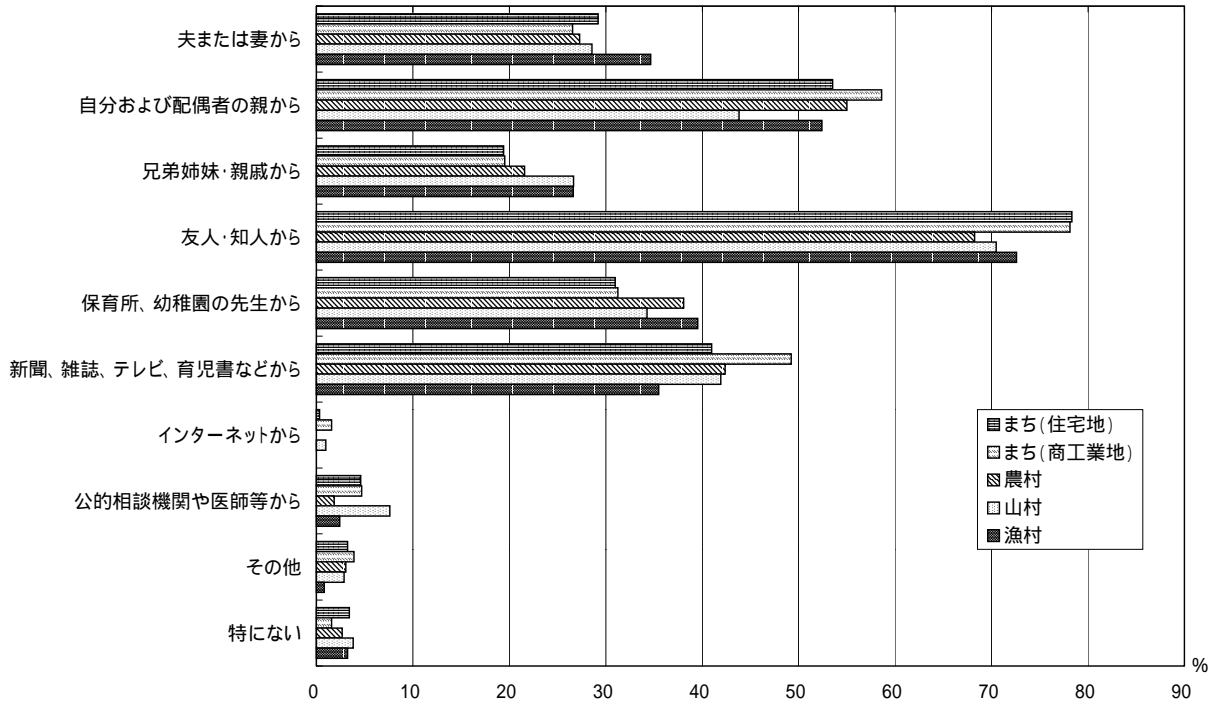
表5 - 2 家族類型別にみた「子育てに関する情報源」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
核 家 族	友 人 ・ 知 人	自 分 及 び 配 偶 者 の 親	新 聞 ・ テ レ ビ 等	夫 ま た は 妻
三 世 代 家 族	友 人 ・ 知 人	自 分 及 び 配 偶 者 の 親	新 聞 ・ テ レ ビ 等	保 育 所 ・ 幼 稚 園 の 先 生
母 子 家 族	友 人 ・ 知 人	自 分 及 び 配 偶 者 の 親	保 育 所 ・ 幼 稚 園 の 先 生	兄 弟 ・ 親 戚
父 子 家 族	自 分 及 び 配 偶 者 の 親、 保 育 所 ・ 幼 稚 園 の 先 生	兄 弟 ・ 親 戚、 友 人 ・ 知 人、 新 聞 ・ テ レ ビ 等		

(3) 居住地別にみた「子育てに関する情報源」

いずれの居住地においても、第1位が「友人・知人から」、第2位が「自分及び配偶者の親から」となっており、特に「住宅地」と「商工業地」で「友人・知人から」と回答した割合が高くなっている。第3位は、「住宅地」「商工業地」「農村」「山村」では「新聞、雑誌、テレビ、育児書などから」、第4位は「保育所・幼稚園の先生から」の順序になっているが、「漁村」では順位が逆転している。

図5-3 居住地別にみた「子育てに関する情報源」(複数回答)



注1. 調査票の問1(6)と問9(1)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

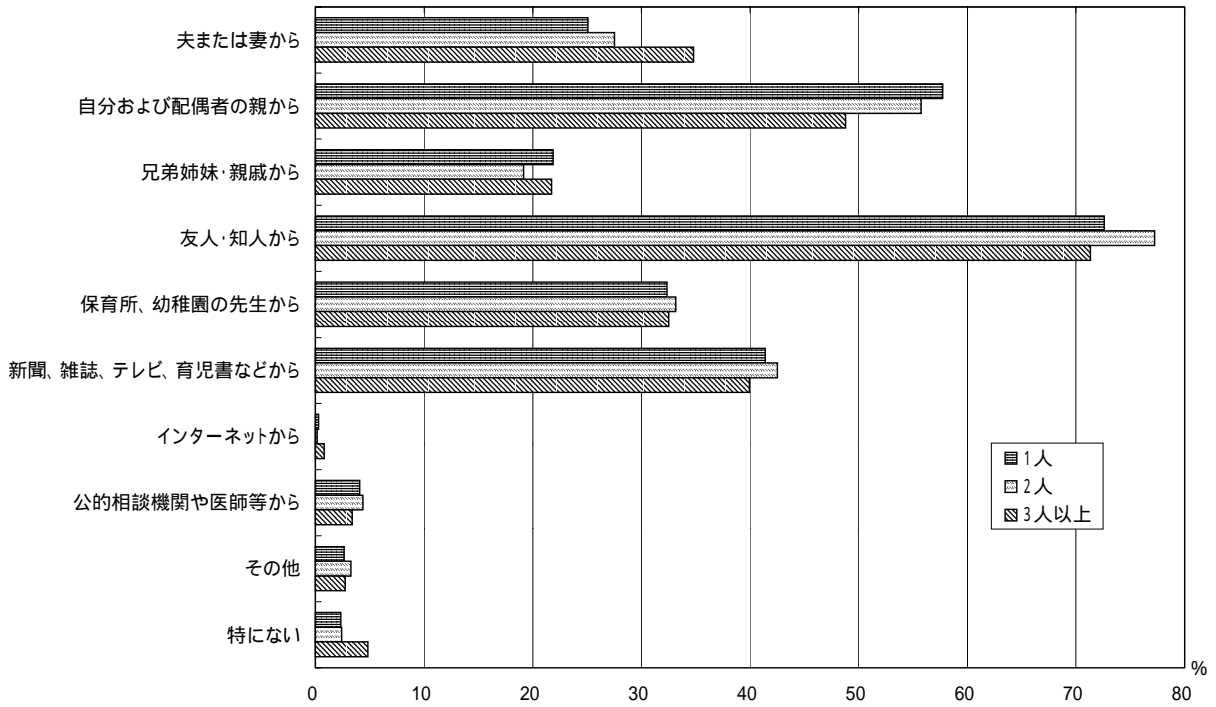
表5-3 居住地別にみた「子育てに関する情報源」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
まち(住宅地)	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
まち(商工業地)	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
農村	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
山村	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
漁村	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生	新聞・テレビ等

(4) 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する情報源」

兄弟姉妹数別にみると、子どもの数に関わらず、情報源の第1位から第3位までは同じで、「友人・知人から」、「自分及び配偶者の親から」、「新聞、雑誌、テレビ、育児書などから」の順序になっている。「兄弟姉妹数」が「一人」「二人」の場合は第4位に「保育所・幼稚園の先生から」が入っているが、「三人以上」の場合は、「夫または妻から」となっている。

図5 - 4 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する情報源」(複数回答)



注1. 調査票の問2(3)と問9(1)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

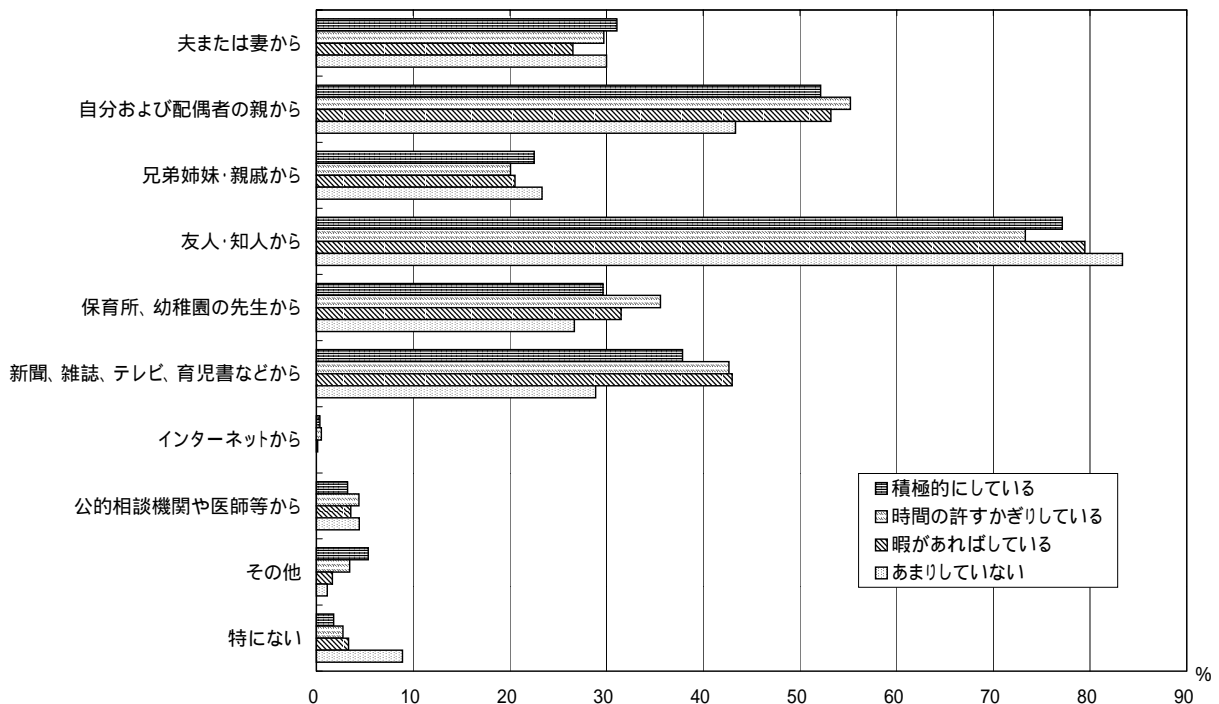
表5 - 4 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する情報源」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
一人	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
二人	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
三人以上	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	夫または妻

(5) ふれあいの程度別にみた「子育てに関する情報源」

いずれのふれあいの程度別においても情報源の第1位は「友人・知人から」で70%を超えて高い割合となっている。第2位は「自分及び配偶者の親から」となっているが、ふれあいを「あまりしていない」場合の割合は他よりも低くなっている。ふれあいを「積極的にしている」「時間の許すかぎりしている」「暇があればしている」場合の第3位は、「新聞、雑誌、テレビ、育児書などから」であるが、ふれあいを「あまりしていない」場合の第3位は「夫または妻から」となっている。

図5-5 ふれあいの程度別にみた「子育てに関する情報源」(複数回答)



注1. 調査票の問7(1)と問9(1)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表5-5 ふれあいの程度別にみた「子育てに関する情報源」(上位4位まで)

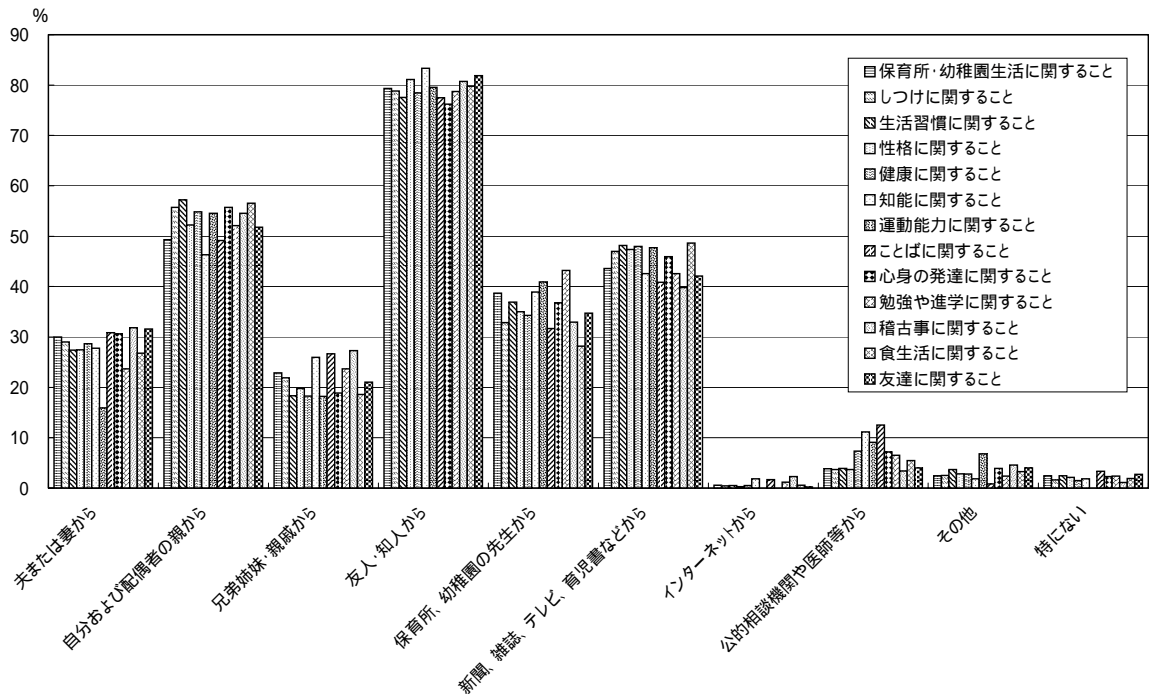
	第1位	第2位	第3位	第4位
積極的にしている	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	夫または妻
時間の許すかぎりしている	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
暇があればしている	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
あまりしていない	友人・知人	自分及び配偶者の親	夫または妻	新聞・テレビ等

(6) 子どもの育ちに関する悩み別に見た「子育てに関する情報源」

いずれの悩み別に見ても「子育てに関する情報源」の第1位は、「友人・知人から」、第2位は「自分及び配偶者の親から」、第3位は「新聞や雑誌、育児専門書から」、第4位は「保育所・幼稚園の先生から」となっており、「勉強や進学に関すること」においてのみ、3位と4位が逆転している。

「友人・知人から」得る情報で最も多いのは、「知能に関すること」で、次に多いのが「友達に関すること」となっている。「自分及び配偶者の親から」得る情報で多いのは「生活習慣に関すること」で57.2%となっている。

図5-6 子どもの育ちに関する悩み別に見た「子育てに関する情報源」(複数回答)



注1. 調査票の問8(2)と問9(1)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表5-6 子どもの育ちに関する悩み別に見た「子育てに関する情報源」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
しつけに関すること	友人・知人	自分及び配偶者の親から	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
性格に関すること	友人・知人	自分及び配偶者の親から	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
友達に関すること	友人・知人	自分及び配偶者の親から	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
健康に関すること	友人・知人	自分及び配偶者の親から	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
保育所・幼稚園生活に関すること	友人・知人	自分及び配偶者の親から	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生



## (7) 平成6年度調査との比較：「子育てに関する情報源」

「子育てに関する情報源」について前回調査と比較すると、就労状況別にみると、前回調査では「公務員・会社員等」の第1位が「友人・知人」であった(表5-7)のに対し、今回調査では「自分及び配偶者の親」に変わり、前回調査では第4位であった「保育所・幼稚園の先生」が今回調査では第3位にあがっている(P.21、表5-1)。

表5-7 就労状況別にみた「子育てに関する情報源」(平成6年度調査結果)

	第1位	第2位	第3位	第4位
公務員・会社員等	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
パート勤労者	友人・知人	新聞・テレビ等	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
家での仕事	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
専業主婦	友人・知人	新聞・テレビ等	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生

家族類型別にみると、「核家族」の第2位と第3位が入れ替わり、「自分及び配偶者の親」が第2位にあがっており、第4位には前回調査では「保育所・幼稚園の先生」であった(表5-8)が、今回調査では「夫または妻」となっている(P.22、表5-2)。

表5-8 家族類型別にみた「子育てに関する情報源」(平成6年度調査結果)

	第1位	第2位	第3位	第4位
核家族	友人・知人	新聞・テレビ等	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
三世帯家族	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
母子家族	友人・知人	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生	新聞・テレビ等
父子家族	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生	友人・知人	新聞・テレビ等

居住地別の「住宅地」「農村」で、第2位と第3位が入れ替わり「自分及び配偶者の親」が第2位にあがり、「新聞・テレビ等」が第3位となっている(P.23、表5-3)。

表5-9 居住地別にみた「子育てに関する情報源」(平成6年度調査結果)

	第1位	第2位	第3位	第4位
まち(住宅地)	友人・知人	新聞・テレビ等	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
まち(商工業地)	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
農村	友人・知人	新聞・テレビ等	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
山村	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
漁村	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等、保育所・幼稚園の先生	

兄弟姉妹別では、今回調査では「二人」「三人以上」で第2位と第3位が入れ替わり、「自分及び配偶者の親」が第2位にあがり、「新聞・テレビ等」が第3位となっている。「三人以上」の家庭では第4位に「夫または妻」が入っている（P.24、表5-4）。

表5-10 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する情報源」（平成6年度調査結果）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位
一 人	友人・知人	自分及び配偶者の親	新聞・テレビ等	保育所・幼稚園の先生
二 人	友人・知人	新聞・テレビ等	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生
三 人 以 上	友人・知人	新聞・テレビ等	自分及び配偶者の親	保育所・幼稚園の先生

いずれの状況別にみても、今回調査では、「友人・知人」からに次いで、前回調査の「新聞・テレビ等」よりも「自分及び配偶者の親」から情報を得る傾向がみられる。

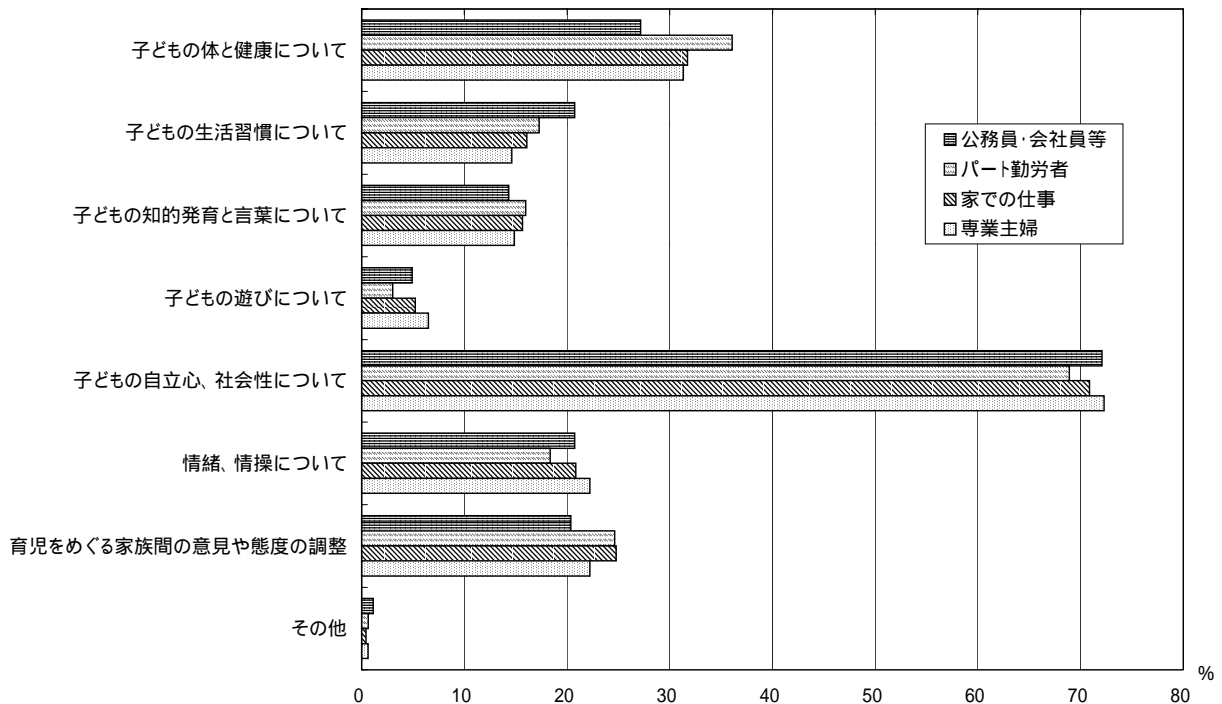
なお、平成6年度調査では「友人・知人」であった選択肢を、平成12年度調査では「友人」と「知人・近所の人」の選択肢に分けており、それらを合わせた数値で比較していることを念頭に置かなければならない。

## 6. 子育てに関して知りたいこと

### (1) 就労状況別にみた「子育てに関して知りたいこと」

いずれの就労状況別でも「子育てに関して知りたいこと」の第1位は「子どもの自立心、社会性について」で、その割合は70%前後あり、群を抜いて多い。第2位は「子どもの体と健康」、第3位は「育児をめぐる家族間の意見や態度の調整」「情緒、情操について」「子どもの生活習慣について」などで、20%～30%前後の割合となっている。

図6-1 就労状況別にみた「子育てに関して知りたいこと」(複数回答)



注1. 調査票の問1(3)と問9(3)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを2つ)である。

表6-1 就労状況別にみた「子育てに関して知りたいこと」(上位4位まで)

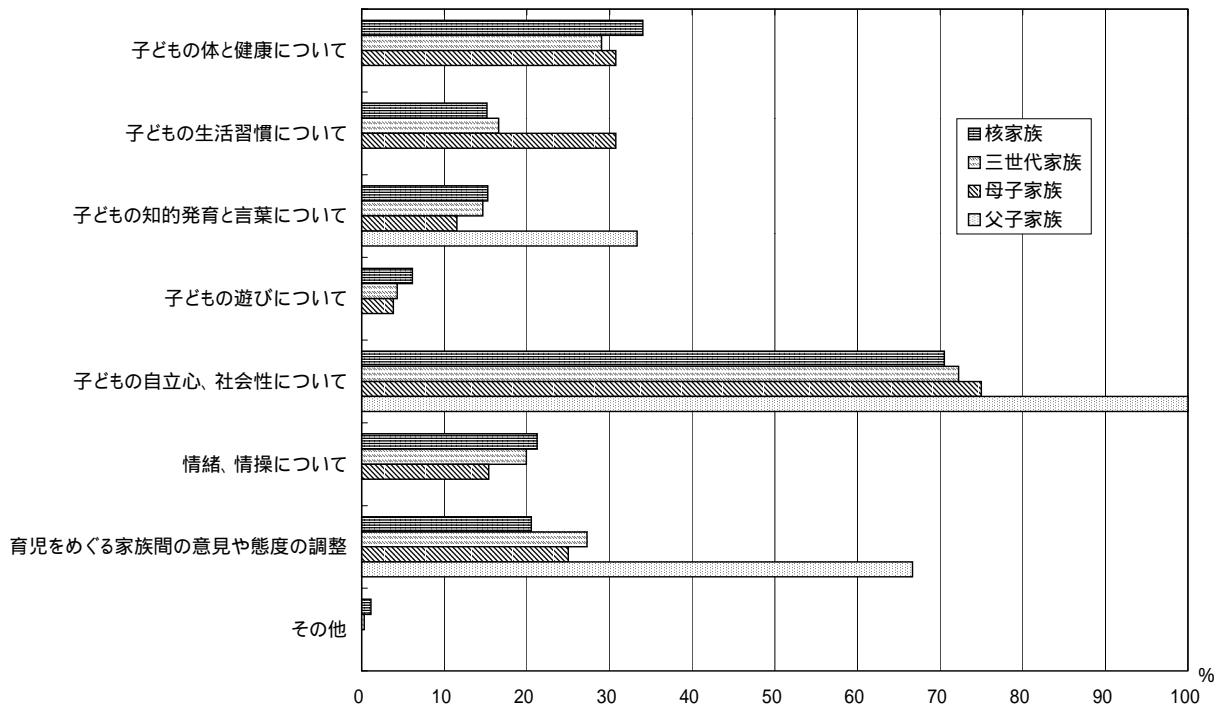
	第1位	第2位	第3位	第4位
公務員・会社員等	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	生活習慣、情緒・情操、育児をめぐる意見や態度の調整	
パート勤労者	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	育児をめぐる意見や態度の調整	情緒・情操
家での仕事	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	育児をめぐる意見や態度の調整	情緒・情操
専業主婦	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	情緒・情操、育児をめぐる意見・態度の調整	

(2) 家族類型別にみた「子育てに関して知りたいこと」

いずれの家族類型においても、「子育てに関して知りたいこと」の第1位は「子どもの自立心、社会性について」で、70%を超えている。「父子家族」では100%の割合となっているが回答数が少ないため、極端な割合となったと思われる。第2位は、「核家族」「三世代家族」「母子家族」では「子どもの体と健康について」となっており、「母子家族」では「子どもの生活習慣について」も同率で第2位になっている。

また、「父子家族」では「育児をめぐる意見や態度の調整」が第2位になっている。

図6-2 家族類型別にみた「子育てに関して知りたいこと」(複数回答)



注1. 調査票の問1(4)と問9(3)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを2つ)である。

表6-2 家族類型別にみた「子育てに関して知りたいこと」(上位4位まで)

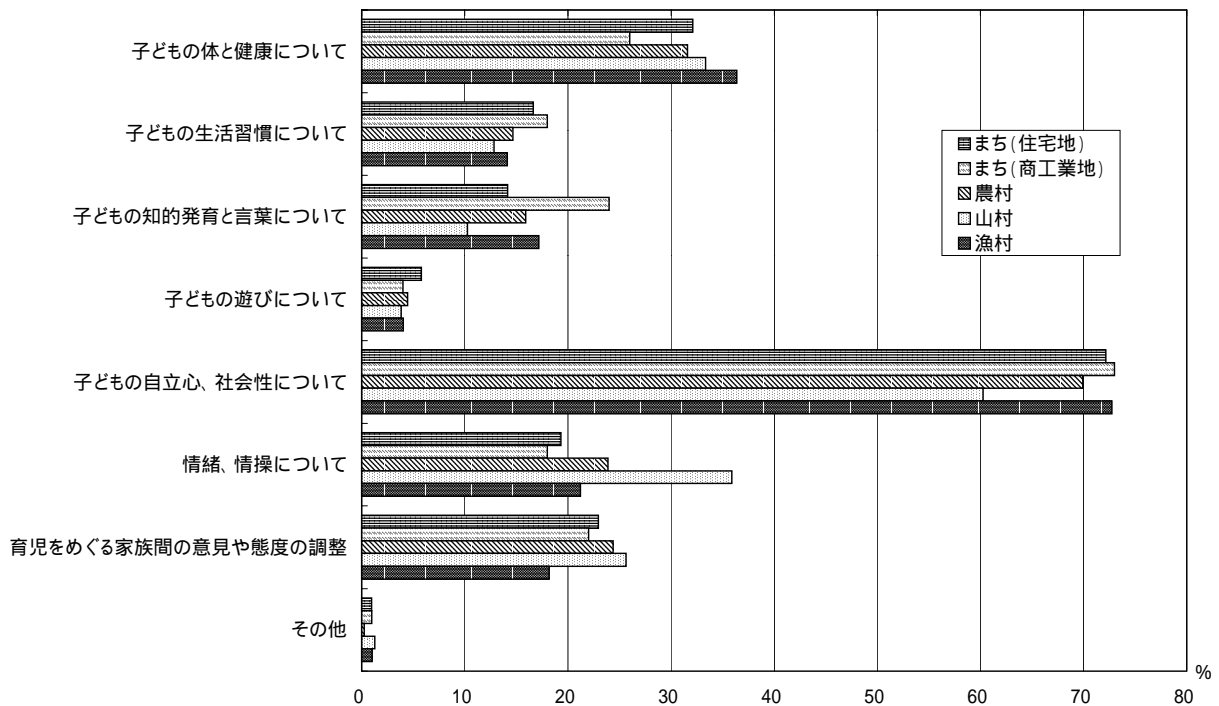
	第1位	第2位	第3位	第4位
核 家 族	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	育児をめぐる意見や態度の調整	情緒・情操
三世代家族	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	育児をめぐる意見や態度の調整	情緒・情操
母子家族	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康、子どもの生活習慣	育児をめぐる意見や態度の調整	
父子家族	子どもの自立心・社会性	育児をめぐる意見や態度の調整	子どもの知的発達とことば	

(3) 居住地別にみた「子育てに関して知りたいこと」

いずれの居住地においても「子育てに関して知りたいこと」の第1位は、「子どもの自立心、社会性について」で、高い割合となっている。「山村」においては、「情緒、情操について」が35.9%で第2位になっており、他に比べて高い割合になっているが、その他の居住地では、第2位は「子どもの体と健康について」となっている。

また、「商工業地」の第3位は「子どもの知的発達と言葉」であり、他より若干高い割合となっている。

図6-3 居住地別にみた「子育てに関して知りたいこと」(複数回答)



注1. 調査票の問1(6)と問9(3)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを2つ)である。

表6-3 居住地別にみた「子育てに関して知りたいこと」(上位4位まで)

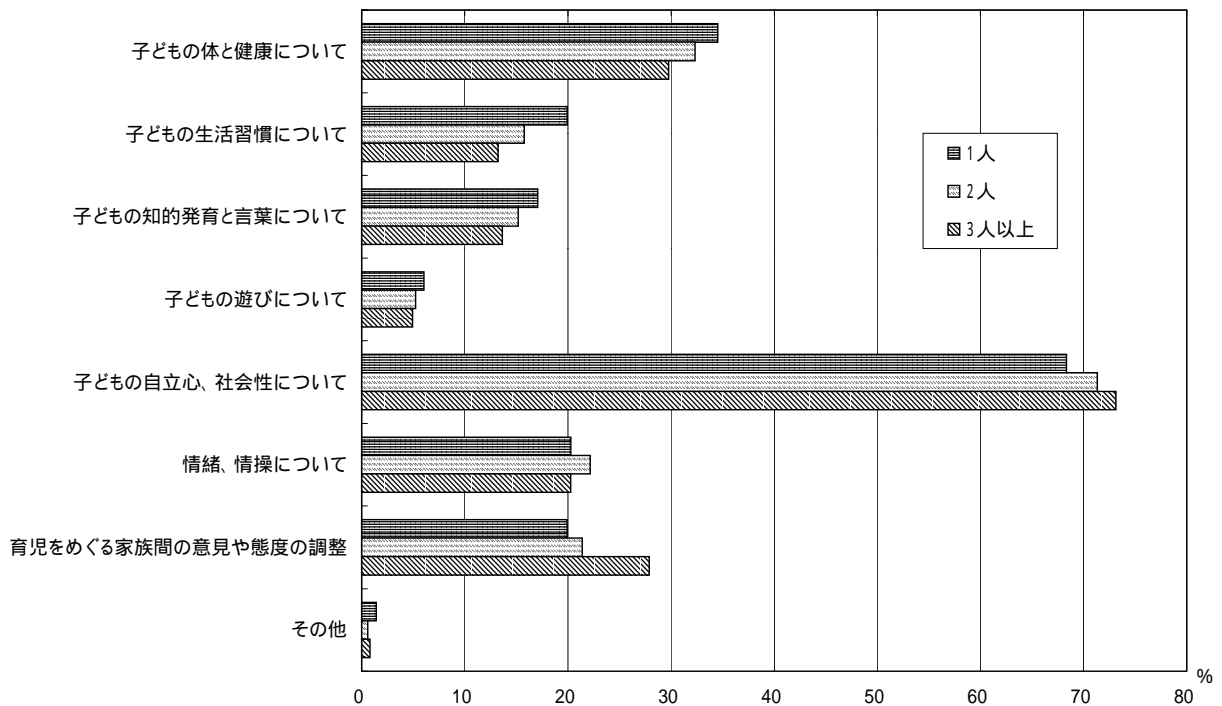
	第1位	第2位	第3位	第4位
まち(住宅地)	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	育児をめぐる意見や態度の調整	情緒・情操
まち(商工業地)	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	子どもの知的発達と言葉	育児をめぐる意見や態度の調整
農村	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	育児をめぐる意見や態度の調整	情緒・情操
山村	子どもの自立心・社会性	情緒・情操	子どもの体と健康	育児をめぐる意見や態度の調整
漁村	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	情緒・情操	育児をめぐる意見や態度の調整

(4) 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関して知りたいこと」

子どもの数に関わらず、「子育てに関して知りたいこと」の第1位は、「子どもの自立心、社会性について」で、70%前後の高い割合を示している。第2位は「子どもの体と健康について」で30%前後の割合となっている。

子どもの数が「三人以上」の場合では、第3位が「育児をめぐる家族間の意見や態度の調整」で、27.9%と他より高い割合を示している。

図6-4 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関して知りたいこと」(複数回答)



注1. 調査票の問2(3)と問9(3)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを2つ)である。

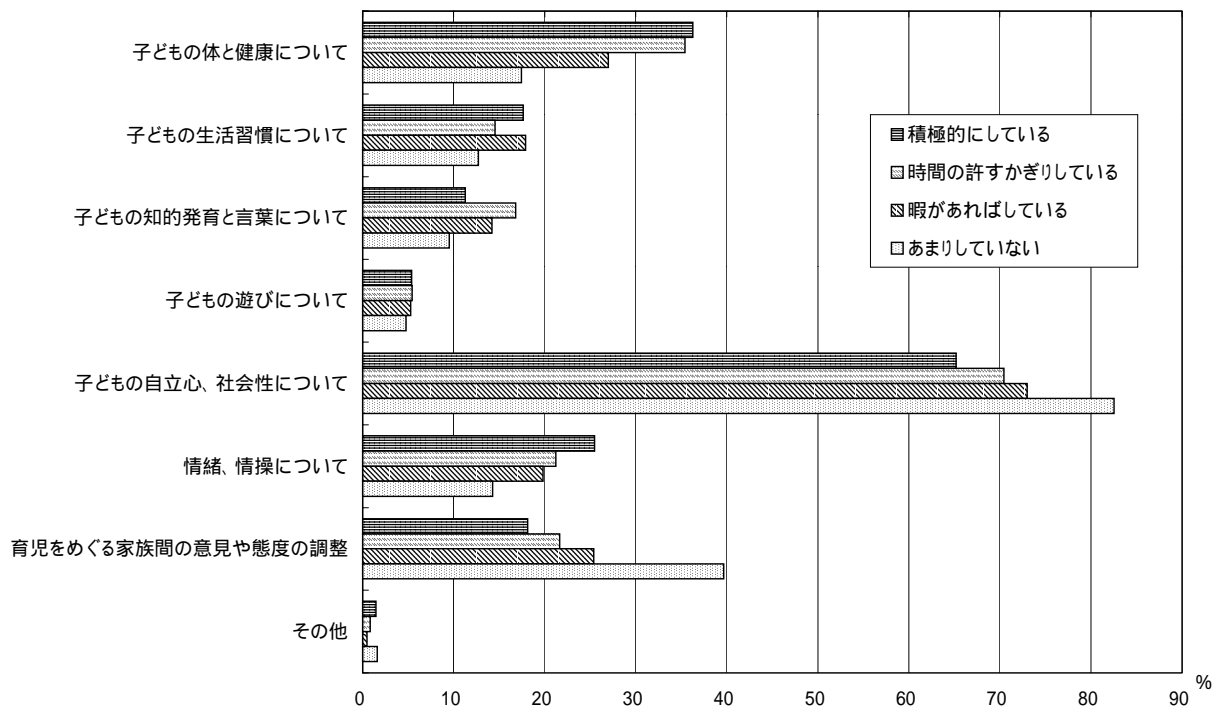
表6-4 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関して知りたいこと」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
一人	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	情緒・情操	生活習慣、育児をめぐる意見や態度の調整
二人	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	情緒・情操	育児をめぐる意見や態度の調整
三人以上	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	育児をめぐる意見や態度の調整	情緒・情操

(5) ふれあいの程度別にみた「子育てに関して知りたいこと」

いずれのふれあいの程度においても、「子育てに関して知りたいこと」の第1位は「子どもの自立心、社会性について」であるが、ふれあいの程度が「あまりしていない」と回答した人の場合は、82.5%と特に高い割合になっている。また、何らかのふれあいを「している」と回答した人の場合の第2位は「子どもの体と健康について」であるが、「あまりしていない」場合は「育児をめぐる家族間の意見や態度の調整」が39.7%で第2位になっており、他より高い値となっている。

図6-5 ふれあいの程度別にみた「子育てに関して知りたいこと」(複数回答)



注1. 調査票の問7(1)と問9(3)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを2つ)である。

表6-5 ふれあいの程度別にみた「子育てに関して知りたいこと」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
積極的にしている	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	情緒・情操	育児をめぐる意見や態度の調整
時間の許すかぎりしている	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	育児をめぐる意見や態度の調整	情緒・情操
暇があればしている	子どもの自立心・社会性	子どもの体と健康	育児をめぐる意見や態度の調整	情緒・情操
あまりしていない	子どもの自立心・社会性	育児をめぐる意見や態度の調整	子どもの体と健康	情緒・情操

## 7. 子育てに関する希望情報源

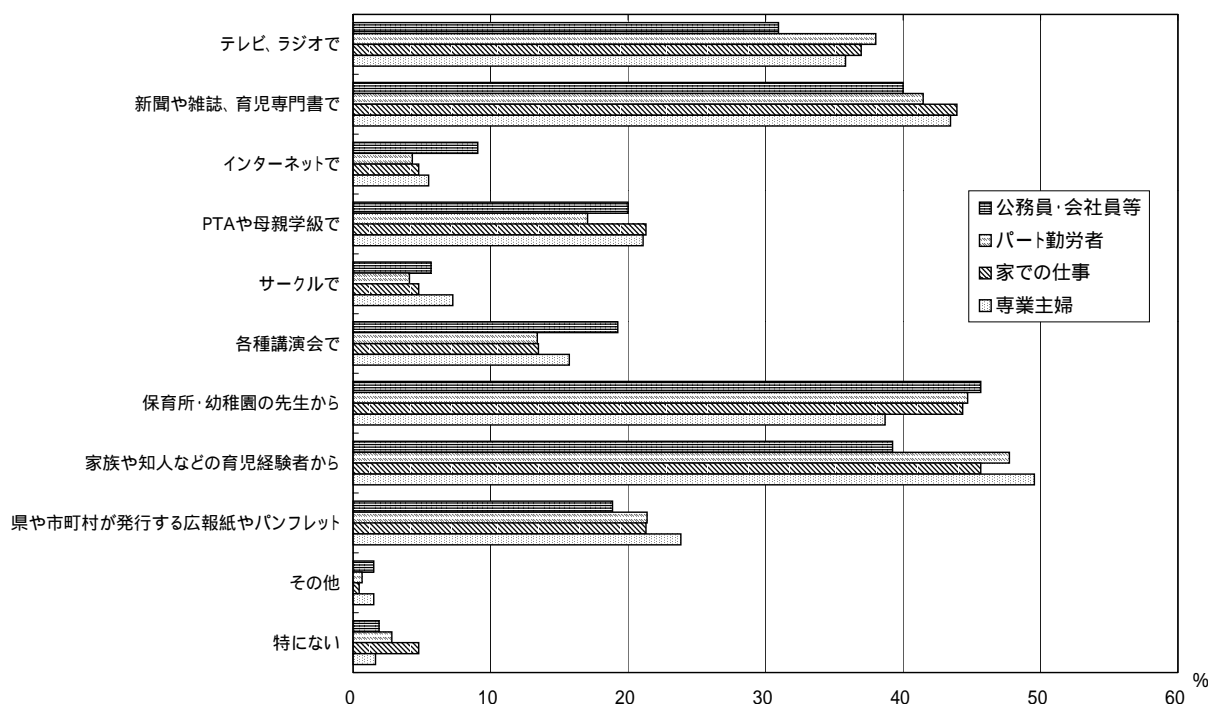
### (1) 就労状況別にみた「子育てに関する希望情報源」

就労状況別に「希望情報源」をみると、「公務員・会社員等」では「保育所・幼稚園の先生から」が45.7%で第1位になっている。「公務員・会社員等」以外の就労状況では「育児経験者から」が50%弱の割合で第1位になっている。「育児経験者から」との回答は「専業主婦」の場合の割合が最も高く、49.6%にのぼっている。

第2位は、「公務員・会社員等」「専業主婦」では「新聞や雑誌、育児専門書で」、「パート勤労者」「家での仕事」では「保育所・幼稚園の先生から」となっている。

「専業主婦」の場合は、「希望情報源」の第3位が「保育所・幼稚園の先生」となっている。

図7-1 就労状況別にみた「子育てに関する希望情報源」(複数回答)



注1. 調査票の問1(3)と問9(4)のクロスにより作成した。  
 注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表7-1 就労状況別にみた「子育てに関する希望情報源」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
公務員・会社員等	保育所・幼稚園の先生	新聞・雑誌等	育児経験者	テレビ・ラジオで
パート勤労者	育児経験者	保育所・幼稚園の先生	新聞・雑誌等	テレビ・ラジオで
家での仕事	育児経験者	保育所・幼稚園の先生	新聞・雑誌等	テレビ・ラジオで
専業主婦	育児経験者	新聞・雑誌等	保育所・幼稚園の先生	テレビ・ラジオで

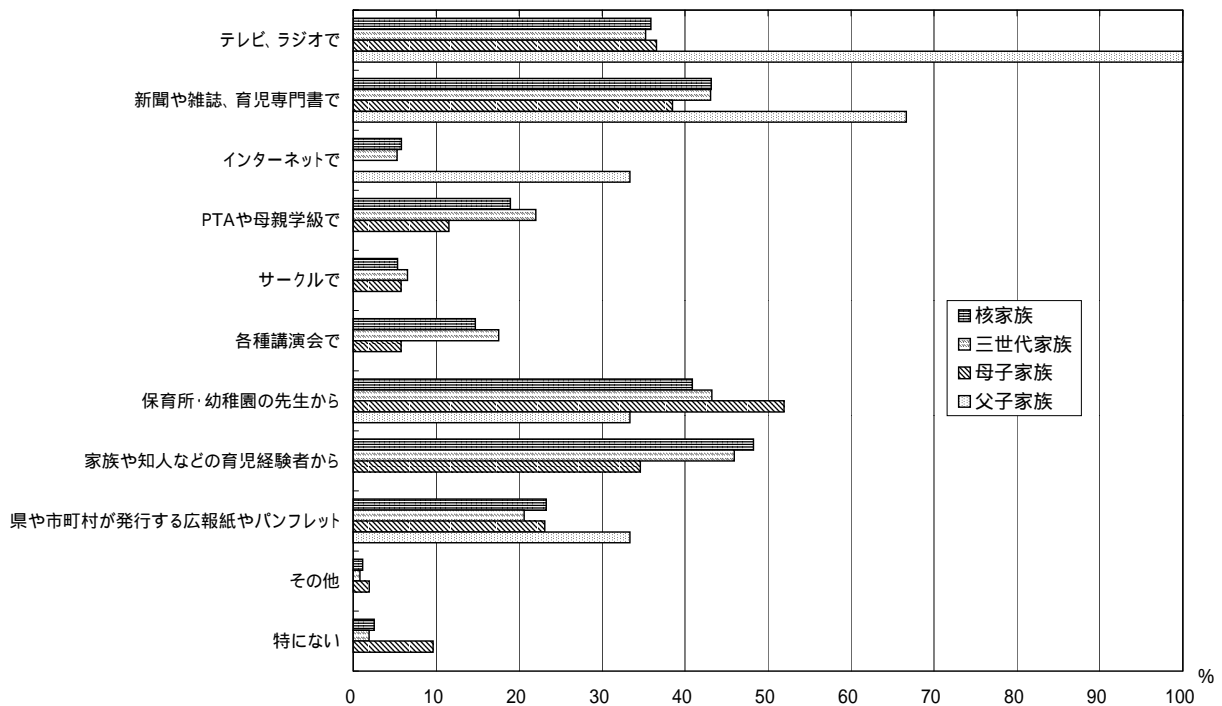


(2) 家族類型別にみた「子育てに関する希望情報源」

家族類型別に「希望情報源」をみると、「核家族」「三世代家族」では「育児経験者から」が50%弱で第1位になっているが、「母子家族」では「保育所・幼稚園の先生から」が、「父子家族」では「テレビ、ラジオから」がそれぞれ1位になっている。

第2位は、「三世代家族」では「保育所・幼稚園の先生から」となっているが、それ以外の家族類型では「新聞・雑誌、育児書で」となっている。

図7-2 家族類型別にみた「子育てに関する希望情報源」(複数回答)



注1. 調査票の問1(4)と問9(4)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表7-2 家族類型別にみた「子育てに関する希望情報源」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
核 家 族	育 児 経 験 者	新 聞 ・ 雑 誌 等	保 育 所 ・ 幼 稚 園 の 先 生	テ レ ビ ・ ラ ジ オ で
三 世 代 家 族	育 児 経 験 者	保 育 所 ・ 幼 稚 園 の 先 生	新 聞 ・ 雑 誌 等	テ レ ビ ・ ラ ジ オ で
母 子 家 族	保 育 所 ・ 幼 稚 園 の 先 生	新 聞 ・ 雑 誌 等	テ レ ビ ・ ラ ジ オ で	育 児 経 験 者
父 子 家 族	テ レ ビ ・ ラ ジ オ で	新 聞 ・ 雑 誌 等	イ ン タ ー ネ ッ ト 、 保 育 所 ・ 幼 稚 園 の 先 生 、 広 報 紙 や パ ン フ レ ッ ト	

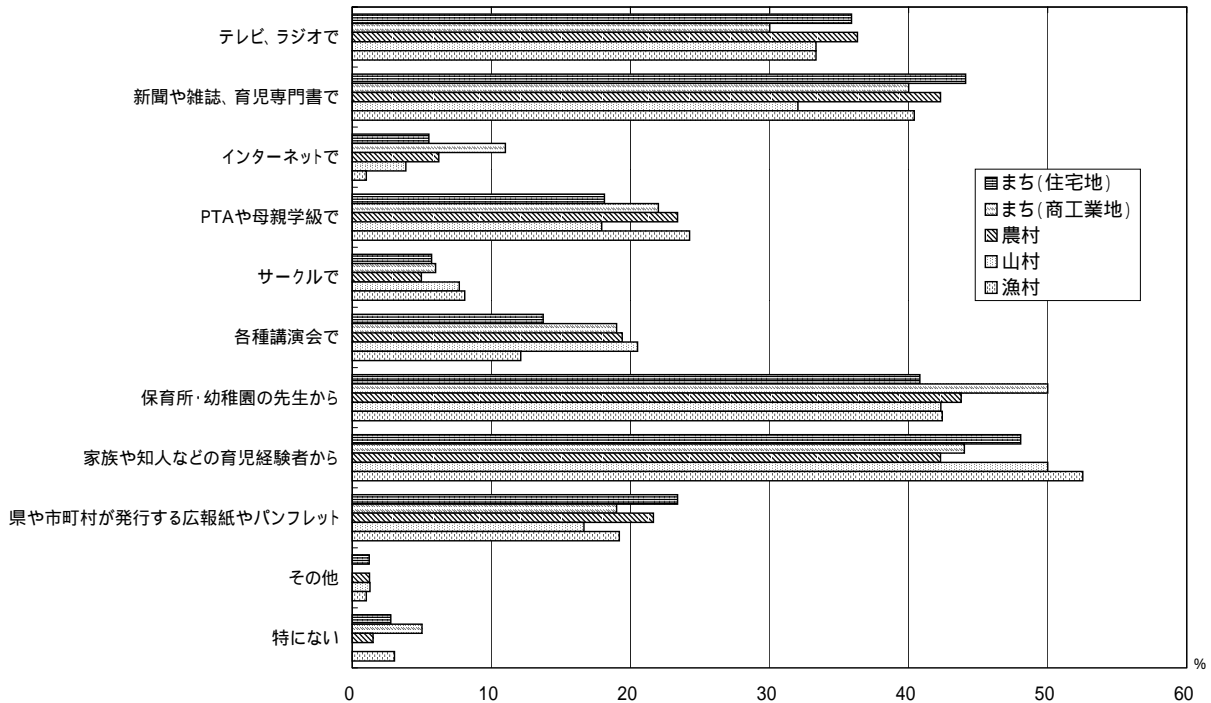
(3) 居住地別にみた「子育てに関する希望情報源」

居住地別に「希望情報源」をみると、「住宅地」「山村」「漁村」では「育児経験者から」が第1位になっている。なかでも「漁村」では50%を超えており、他の居住地に比べて高い割合を示している。「商工業地」と「農村」では「保育所・幼稚園の先生から」が第1位になっており、「商工業地」では50%と高い割合になっている。

また、「住宅地」「農村」では「新聞や雑誌、育児専門書で」が、「山村」「漁村」では「保育所・幼稚園の先生から」が、「商工業地」では「育児経験者から」がそれぞれ第2位になっている。

「山村」では「新聞や雑誌、育児専門書で」と答えた割合は他の居住地区より低く、「商業地」では「テレビ、ラジオで」と答えた割合が他より低くなっている。

図7-3 居住地別にみた「子育てに関する希望情報源」(複数回答)



注1. 調査票の問1(6)と問9(4)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表7-3 居住地別にみた「子育てに関する希望情報源」(上位4位まで)

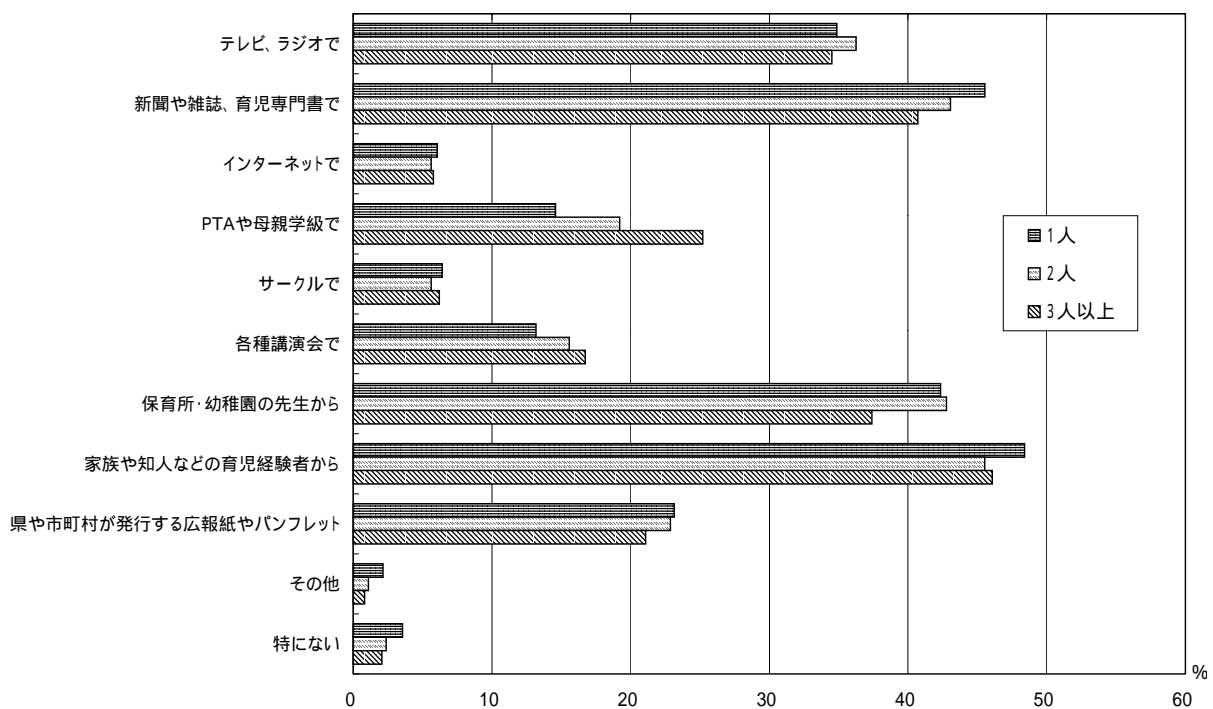
	第1位	第2位	第3位	第4位
まち(住宅地)	育児経験者	新聞・雑誌等	保育所・幼稚園の先生	テレビ・ラジオで
まち(商工業地)	保育所・幼稚園の先生	育児経験者	新聞・雑誌等	テレビ・ラジオで
農村	保育所・幼稚園の先生	新聞・雑誌等、育児経験者		テレビ・ラジオで
山村	育児経験者	保育所・幼稚園の先生	テレビ・ラジオで	新聞・雑誌等
漁村	育児経験者	保育所・幼稚園の先生	新聞・雑誌等	テレビ・ラジオで

(4) 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する希望情報源」

いずれの兄弟姉妹数の場合も、「希望情報源」の第1位は「育児経験者から」、第2位は「新聞や雑誌、育児専門書で」、第3位は「保育所・幼稚園の先生から」、第4位は「テレビ・ラジオで」となっている。

子どもが「一人」の場合、「育児経験者から」や「新聞や雑誌、育児専門書で」の割合が他より高くなっている。また、子どもが「三人以上」の場合、「新聞や雑誌、育児専門書で」や「保育所・幼稚園の先生から」の割合が他より低くなっている。兄弟姉妹数がふえるに従い、「PTAや母親学級で」との回答の割合が高くなっている。

図7-4 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する希望情報源」(複数回答)



注1. 調査票の問2(3)と問9(4)のクロスにより作成した。  
 注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表7-4 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する希望情報源」(上位4位まで)

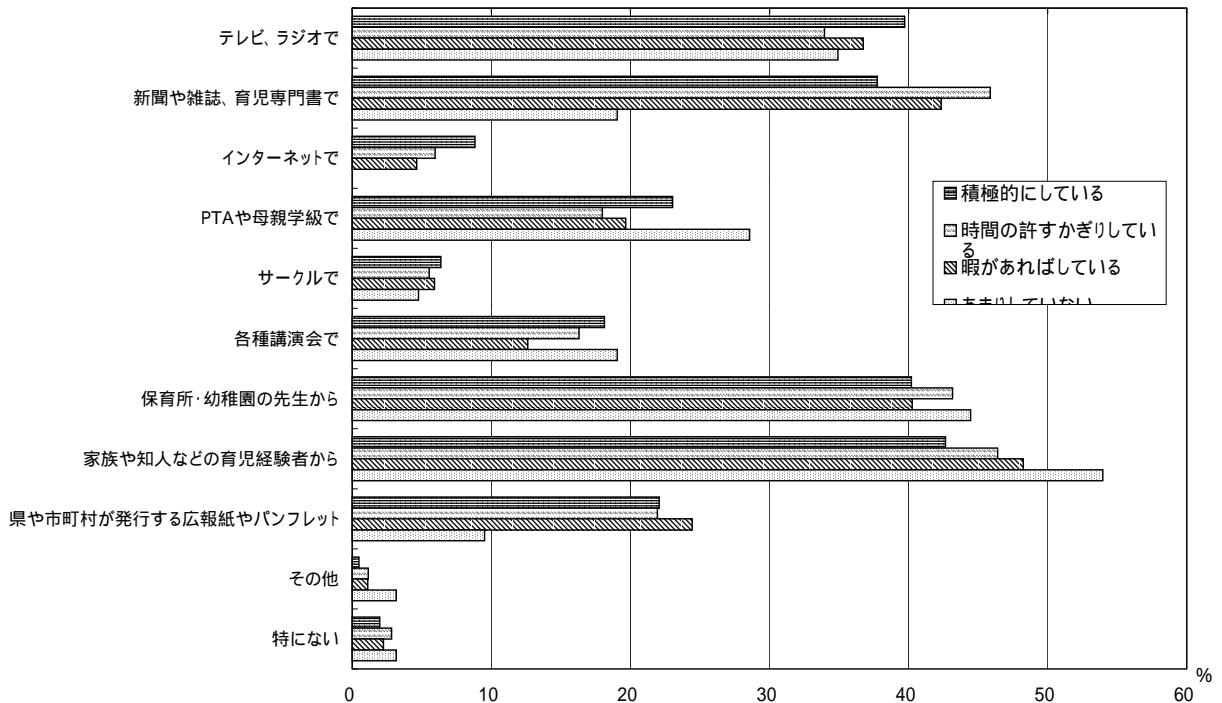
	第1位	第2位	第3位	第4位
一人	育児経験者	新聞・雑誌等	保育所・幼稚園の先生	テレビ・ラジオで
二人	育児経験者	新聞・雑誌等	保育所・幼稚園の先生	テレビ・ラジオで
三人以上	育児経験者	新聞・雑誌等	保育所・幼稚園の先生	テレビ・ラジオで

(5) ふれあいの程度別にみた「子育てに関する希望情報源」

いずれのふれあいの程度においても、「希望情報源」の第1位は「育児経験者から」で、50%前後の割合となっている。とくにふれあいを「あまりしていない」と回答した人の場合の割合が54.0%と他のふれあいの程度の場合より高くなっている。また、ふれあいを「積極的にしている」と「あまりしていない」場合は「保育所・幼稚園の先生から」が、「時間の許すかぎりしている」と「暇があればしている」の場合は「新聞や雑誌・育児専門書で」が第2位となっている。

ふれあいを「積極的にしている」場合は、第1位から第4位までがいずれも40%前後の割合であり差はない。

図7-5 ふれあいの程度別にみた「子育てに関する希望情報源」(複数回答)



注1. 調査票の問7(1)と問9(4)のクロスにより作成した。

注2. 複数回答(当てはまるものを3つ)である。

表7-5 ふれあいの程度別にみた「子育てに関する希望情報源」(上位4位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位
積極的にしている	育児経験者	保育所・幼稚園の先生	テレビ・ラジオで	新聞・雑誌等
時間の許すかぎりしている	育児経験者	新聞・雑誌等	保育所・幼稚園の先生	テレビ・ラジオで
暇があればしている	育児経験者	新聞・雑誌等	保育所・幼稚園の先生	テレビ・ラジオで
あまりしていない	育児経験者	保育所・幼稚園の先生	テレビ・ラジオで	PTAや母親学級

## (6) 平成6年度調査との比較：「子育てに関する希望情報源」

平成12年度調査では、選択肢として、「インターネットから」「保育所・幼稚園の先生から」を追加したため、単純に比較することはできないが、いずれの状況別にも、「育児経験者」からの情報を希望する割合が高いという傾向は同じである。

就労状況別においては、今回調査では「公務員・会社員等」の第1位、「パート勤労者」「家での仕事」の第2位、「専業主婦」の第3位に新たに選択肢として追加した「保育所・幼稚園の先生」が入っている（P.34、表7-1）。

表7-6 就労状況別にみた「子育てに関する希望情報源」(平成6年度調査結果)

	第1位	第2位	第3位	第4位
公務員・会社員等	育児経験者	各種講演会	P T A 等	新聞・雑誌等
パート勤労者	育児経験者	新聞・雑誌等	P T A 等	テレビ・ラジオで
家での仕事	育児経験者	新聞・雑誌等	P T A 等	テレビ・ラジオで
専業主婦	育児経験者	新聞・雑誌等	P T A 等	テレビ・ラジオで

家族類型別でも、「核家族」の第3位、「三世代家族」の第2位、「母子家族」の第1位に「保育所・幼稚園の先生」が入っている（P.35、表7-2）。

表7-7 家族類型別にみた「子育てに関する希望情報源」(平成6年度調査結果)

	第1位	第2位	第3位	第4位
核家族	育児経験者	新聞・雑誌等	テレビ・ラジオで	P T A 等
三世代家族	育児経験者	新聞・雑誌等	P T A 等	各種講演会
母子家族	育児経験者	新聞・雑誌等	テレビ・ラジオで	各種講演会
父子家族	育児経験者	新聞・雑誌等、テレビ・ラジオで		広報誌・パンフ

また、居住地別にみても、「住宅地」の第3位、「商工業地」「農村」の第1位、「山村」「漁村」の第2位に「保育所・幼稚園の先生」が入っている（P.36、表7-3）。

表7-8 居住地別にみた「子育てに関する希望情報源」(平成6年度調査結果)

	第1位	第2位	第3位	第4位
まち(住宅地)	育児経験者	新聞・雑誌等	テレビ・ラジオで	P T A 等
まち(商工業地)	育児経験者	新聞・雑誌等	テレビ・ラジオで	P T A 等
農村	育児経験者	新聞・雑誌等	P T A 等	各種講演会
山村	育児経験者	新聞・雑誌等	P T A 等	各種講演会
漁村	育児経験者	新聞・雑誌等	P T A 等	テレビ・ラジオで

兄弟姉妹数別にみても兄弟姉妹数にかかわらず第3位に「保育所・幼稚園の先生」が入っている（P.37、表7-4）。

表7-9 兄弟姉妹数別にみた「子育てに関する希望情報源」（平成6年度調査結果）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位
一人	育児経験者	新聞・雑誌等	テレビ・ラジオで	P T A 等
二人	育児経験者	新聞・雑誌等	P T A 等	テレビ・ラジオで
三人以上	育児経験者	新聞・雑誌等	P T A 等	各種講演会

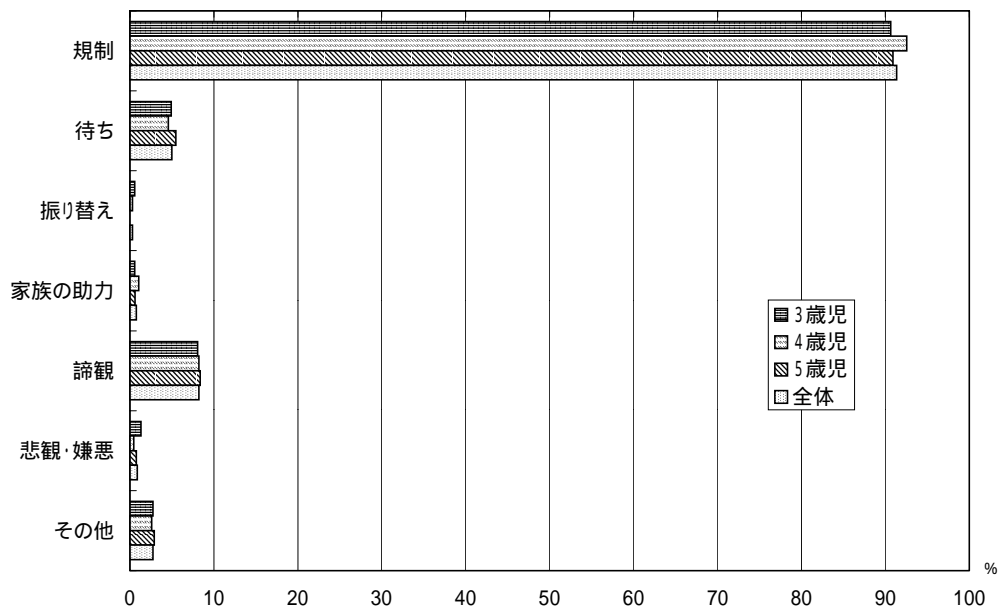
いずれの状況別にみても、「保育所・幼稚園の先生」からの情報を希望する割合が高く、「各種講演会」や「P T A 等」からの情報を希望する割合は低くなっている。

## 8. しつけがうまくいかなかった場合の対応

### (1) 年齢別にみた「しつけがうまくいかなかった場合の対応」

「しつけがうまくいかないとき、お子さんに対してどのような態度をとられますか(12年度調査、問6(8))」との問に対する回答者2,009人について、その回答から、子どもの年齢別に保護者の「しつけがうまくいかなかった場合の対応」をみると、いずれの年齢でも何らかの「規制」を加える保護者の割合が極めて高く、設問に対する回答者の90%を超えており、気長に待ったり、あきらめる等の回答はいずれの年齢でも設問に対する回答者の10%未満である(図8-1)。

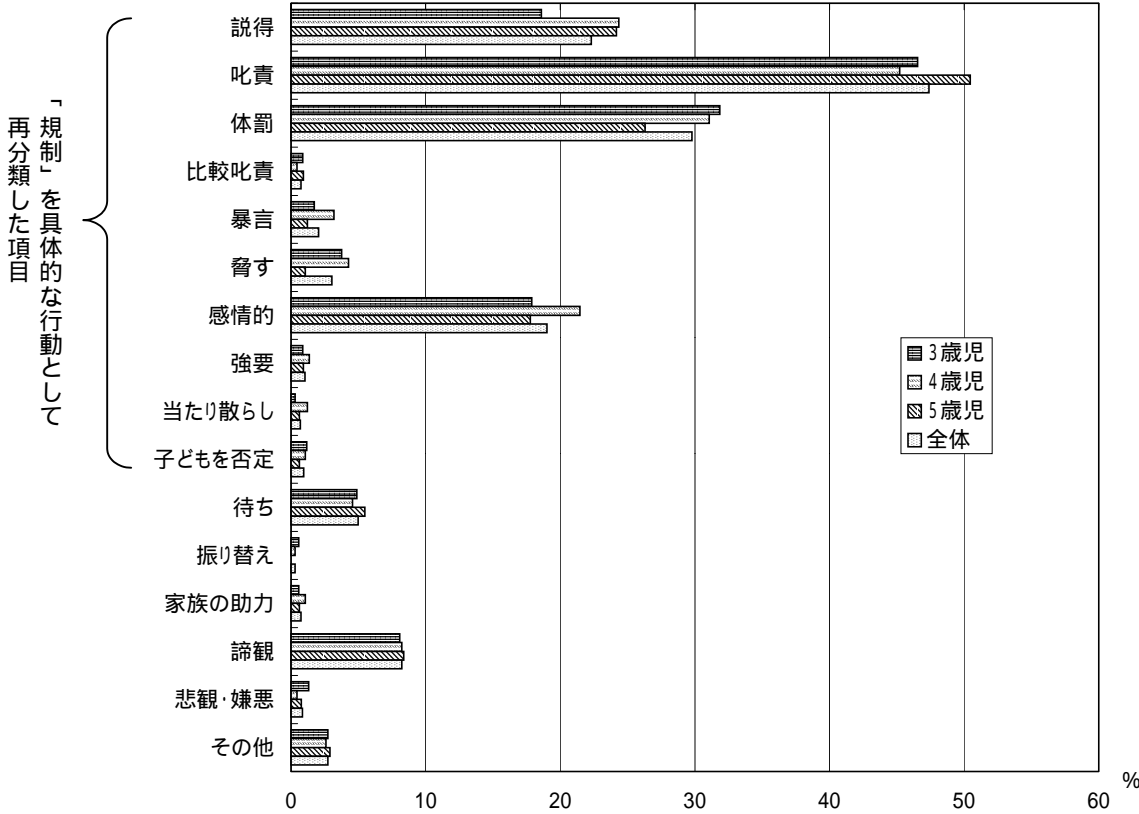
図8-1 年齢別にみた「しつけがうまくいかなかった場合の対応」-1



注1. 一人の記述内容が複数の項目に分類される場合もある。

また、「規制」について「説得」「叱責」「体罰」「比較叱責」「暴言」「脅す」「感情的」「強要」「当たり散らし」「子どもを否定」の10項目に再分類し、より具体的な行動として保護者の対応をみると、第1位が「叱責」で、その割合は3歳児が設問に対する回答者の46.5%、4歳児が45.2%、5歳児が最も高く50.5%となっている。第2位が「体罰」で、この割合は逆に3歳児が最も高く、設問に対する回答者の31.8%、4歳児が31.1%、5歳児が最も低く26.3%となっている。第3位が「説得」、第4位が「感情的」になりきつく叱るとなっている(図8-2)。

図8-2 年齢別にみた「しつけがうまくいかなかった場合の対応」-2



注1 . 「規制」については、「説得」「叱責」「体罰」「比較叱責」「暴言」「脅す」「感情的」「強要」「当たり散らし」「子どもを否定」の10項目に再分類した。

注2 . 一人の記述内容が複数の項目に分類される場合もある。



## 「しつけがうまくいかなかった場合の対応」回答例

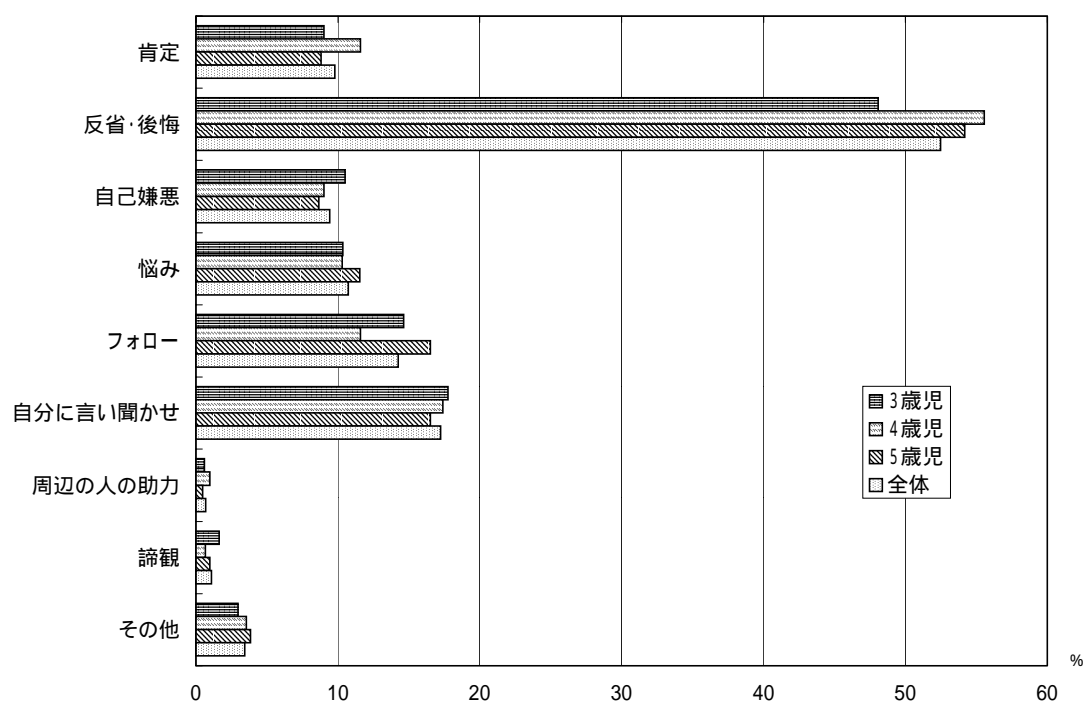
対応の種類	回答例
説得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしてそのようにしなければいけないか説明し、本人に納得させる。(3歳児保護者)</li> <li>・ 兄弟がいるのでいろんな立場があってすごく難しいですが、きちんと理由をいう事が1番だと思っています。そうすればあまり無理を言わず、わかってくれます。わかってくれるまで言い聞かせています。(4歳児保護者)</li> <li>・ 3歳までは厳しく叱りつけたけれど、5歳ごろになると親の言うこともわかってくるので、言い聞かせている。(5歳児保護者)</li> </ul>
叱責	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもをきつく叱ってしまう。(3歳児保護者)</li> <li>・ きつく叱ったり、前の事をもちだして叱ったりする。しばらく無視してしまう事もある。(4歳児保護者)</li> <li>・ きつく叱ったり、無視したりしてしまう。(5歳児保護者)</li> </ul>
体罰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やっぱり頭に血が上り、おしりをたたいたり、怒鳴ったりする。(3歳児保護者)</li> <li>・ イライラして無視したり、なぐったりする。(4歳児保護者)</li> <li>・ 私の言うことを聞かず、反発する時は、つい頬などを叩いてしまう時があります。子どものためとは思わず、一時の感情で手を上げてしまう時があります。手を上げない時でも、あまりの子どもの態度がみられる時は、言葉の暴力をなげかけてしまったりもします。(5歳児保護者)</li> </ul>
比較叱責	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「　　ちゃんはちゃんとしていたでしょう」というように、他の子と比べて注意してしまう。(3歳児保護者)</li> <li>・ 兄とつい比べていたり、きつく言ってしまうたりする。(4歳児保護者)</li> <li>・ 子どもに当たってしまう時がある。友達の子とも比べてしまったり、どうしてうちの子は...と深く考え込んでしまったり...。強い口調でしかったり...。(5歳児保護者)</li> </ul>
暴言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな声を出して怒鳴る。時々、言葉の暴力(うっとうしい、よその子になれ、等)をしてしまう。(3歳児保護者)</li> <li>・ ついつい子どもが傷つくような言葉を言ってしまうたり、なぐってしまったたりする。(4歳児保護者)</li> <li>・ イライラして、言ってはいけないようなことを言ってしまうことがある。(どうして同じことばかりするのかと思うと)すぐ「バカじゃない」などを言ってしまう。(5歳児保護者)</li> </ul>
脅す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口で叱ってもなかなか親の言うことを聞かない時は押入などに「閉じこめる」って言った事があります。(3歳児保護者)</li> <li>・ 親が出ていくとか、お出かけ(旅行など)に連れていかないとか　　をするなど賞罰で言う。(4歳児保護者)</li> <li>・ ガミガミ怒鳴るけど、後で父親の名前(父さんに言うよ)を言って聞かせる。(5歳児保護者)</li> </ul>
感情的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カァーッとになって大きな声で叱ってしまうことがある。(3歳児保護者)</li> <li>・ 感情的に頭ごなしに叱ってしまう。たまに手がでる。(4歳児保護者)</li> <li>・ カァーッとになって叩いたこともある。(5歳児保護者)</li> </ul>
強要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯をみがかない時は無理矢理みがいてしまう。(3歳児保護者)</li> <li>・ 高圧的に無理に押し付ける。(4歳児保護者)</li> <li>・ 口だけで「あーしなさい、こーしなさい」と言って命令のような態度をとってしまう。(5歳児保護者)</li> </ul>

規制	当たり散らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歳が近いのですぐ上の子を叱ります。たまに叩くこともあります。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ イライラして八つ当たりをしてしまう。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 片づけを何回かしてなかった時に、おもちゃをゴミ箱に捨てた事があった。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
	子どもを否定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「言うことを聞かない子は知らない」とつきはなすような事を言うことが多い。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ 大きな声で叱ったり、言葉がきつくなったりしてしまいます。手は滅多に上げませんが、言っではいけない一言、例えば「もう、明日から何も買わないし、お母さんはご飯も作ってあげない...あんなんかいらん...」を言うてしまう時があります。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 「よそのうちの子になれば」と言うてしまう。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
待ち		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ うまくいかない場合、いったんやめてみる。少し見守ってみる。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ 叱る事もあるが、聞き入れない場合は自分で受け入れられる様になるまで放っておく。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 二人目だからでしょうか、ひとり目の時より神経質にならずに「まあいいか」とか「そのうちなんとかなるでしょう」と気楽に考えています。親がある程度一貫した態度をとっていれば、その時はうまくいなくても、大体大丈夫だと思うのですが。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
振り替え		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の興味のあるものに集中させて「これをしたらあげるよ」と言うてそのしつけをうまくいくようにする。気をそらせたりする。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ 相手を傷つけたり迷惑をかけたりする事はしっかり話し、泣き叫んでも放っておく。物で何か買ってあげるといつてつてしまう。( 4 歳児保護者 )</li> </ul>
家族の助力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ママ、キライ」と言われる。私自身はイライラしたり、主人にできるだけ相談したりする。子どもを育てるのは自分一人じゃないから、2人でできるだけ協力します。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ お父さんが大好きなのでお父さんに話して上手く子どもに言うてもらおう。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 父親と相談してから、子どもたちに言い聞かせている。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
諦観		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何度言ってもダメな時は(だんだん口調が怖くなるので)、その場はあきらめる。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ かたづけなどは、叱ってもやらない時はあきらめて親が行う。結局あきらめる時が多い。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ その場では、まあ、仕方がないと諦める。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
悲観・嫌悪		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじわるになってしまう。その後に普段なら怒らないようなことをしてもついつい手が出て怒ってしまう。育児を放棄したくなる。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ 「もう、お母さんは悲しい。イヤになってきちゃったから、あなたのお母さんやめたいわ。」と言うて、何を言われても黙ってしまった。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 私自身(母)が、まだ子どもを育てる事で成長しきれてない部分があり、いらついたり、「なぜだろう」と考え込んでしまったりする。他の子と比べる事を話してしまったりする。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しつけがうまくいかない時、という風にあまり感じたことがない。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ あまりしつけをしていません。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ しつけって何ですか?自分に自信がないので不安です。しつけを教えてください。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>

## (2) 年齢別にみた「しつけがうまくいかなかった場合の対応後の保護者の気持ち」

しつけがうまくいかないときの対応をたずね、「そのあとどのように感じられましたか（12年度調査問6(8)）」との問に対して回答した1,921人について子どもの年齢別にみると、いずれの年齢でも「反省・後悔」する保護者の割合が高く、設問に対する回答者の50%前後に上っている。以下、「自分に言いきかせ」る、「フォロー」するが設問に対する回答者の約15%前後、「肯定」「自己嫌悪」「困惑」が約10%前後と続いている。（図8-3）

図8-3 年齢別にみた「しつけがうまくいかなかった場合の対応後の保護者の気持ち」



注1. 一人の記述内容が複数の項目に分類される場合もある。

## 「しつけがうまくいかなかった場合の対応後の保護者の気持ち」回答例

対応後の 気持ち	回 答 例
肯定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダメなものはダメで、これでいいと感じることが多い。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ 度々あるわけではありませんが、しつけのためには仕方ないことだと思っています。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ 子どもの言うとおりにしてはしてもらえないのでしょがないと思う。協調性を身に付けるためにもいたしかたないと思う。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 必要な時必要に応じて、手を出して叱ることもしつけの 1 つで、仕方がないと思う。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
反省・後悔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ きつく言い過ぎたかと反省する。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ その時は気持ちのコントロールが出来ず、自分を止められないのですが、時間がたってから、もっと違う言い方があったらと反省してしまう。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 手をあげた時には、もう 1 度じっくり話をすればよかったと後悔してしまいます。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
自己嫌悪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもがかなり傷ついているのかも、と思うような事があるので、毎回落ち込んでいる。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ その時は感情的になってしまっていることが多いので、これも虐待のうちなのかとすごく落ち込み、母親失格だと反省します。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 気が滅入る。時間が経ち、どうして冷静に対応できなかったのかと反省する。こんな小さな子に感情的になって大声で怒鳴って…。自分の性格が嫌になる。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
困惑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困ったなあ。どうしたらいいのかなと考えてしまう。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ やさしく言い聞かせているうちに、どうして聞いてくれないのかもどかしさを感じながら、他にどうしたら子どもに伝わるのかと気が重くなります。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ ちょっと言い過ぎたなと思うこともあります。(自分の親には子どもに対する言い方がきついとよく言われます) どうやってうまくしつけをすれば良いのか分からなくなってきます。子どもとうまくかみ合っていないなあと思ってしまいます。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
感情的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「はあー、やっぱり子どもは一人で十分だなあ」と思う。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ よけい腹が立ってきつく叱ってしまう。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ やりすぎたかなあと思いました。それと、そうやってもすっきりせず、よけいイライラしました。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
羨望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本当にこれで良かったのかな?と自問自答している。他の子はとてもお利口に見えたり、自分だけが大変そうに感じる時がある。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ きつく叱った時は、こんなにきつく言わなくても良かったのにと反省してしまい、もっとおだやかに言い聞かせればよかったと思ってしまいます。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 大きな声を出して叱ることは、子どもを怖がらせたりおびえさせるには効果があるかもしれないが、そうすることで、自分の中のフラストレーションの爆発で少しスッキリするだけで、その時、子どもはしつけに対してではなくて、どなられた事に腹を立てたり、恐かったりするだけであると思います。しまった...と思い直して時間をおくものの、前回の教訓が生かされていないのか、長引くとまた大声を出している自分がなさげなく思いました。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
心配	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆがんだ性格になるのではと心配。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ 理解しないときは心配になります。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 年齢的に今のところはいいけれど…。こちらが感情的な態度をとっていて、子どもの方も反抗的な態度がぶつかりあう時期が来たらどうなるか、心配している。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>

フォロー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪かったと思って、子どもにあやまる。怒って泣いてもだっこしてあやまると泣きやむので、悪かったと思う。(3歳児保護者)</li> <li>・自分が感情的になってしまって、言いすぎたなと思うことがあります。その時はこちらから謝るように心がけています。(4歳児保護者)</li> <li>・夜、お風呂で、あの時こんなにお母さんがあなたを叱ったり叩いたりしたけど、あなたも だったからと、理由を言って分かってもらい、言い過ぎた時は「ごめんね」と抱きしめたりスキンシップもします。本人もうなずいてくれたり、「いいよ」と言ってくれる。(5歳児保護者)</li> </ul>
自分に言い聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと別の部屋に居るときはつらいです。泣いて「お母さん」と言われると、こっちも泣きたくなりますが、こっちがそこで折れてしまうとダメだと自分で言い聞かせています。(3歳児保護者)</li> <li>・自分も子どもだったら...と立場を置き換えてみるときつくしかったことはあんなにきつく言わなくてもと思うこともあります。やはり子どものために時には厳しくしつけようと思います。(4歳児保護者)</li> <li>・叩いたことは悪かったと思う。子どもは自分の思い通りにはならないんだと考え直す。(5歳児保護者)</li> </ul>
周辺の人の助力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども本来の考え方や個性を親の考えで押さえ込んでいないか。あのときの怒り方は良かったのか。子どもにはスムーズに理解できる説明ができたか。今度同じことがおきた時、どう対応するのか等考える。そして、子どもがどうして悪いことをしたのか、親の気をひくためなのか、等いろいろと考え、夫婦で相談している。(3歳児保護者)</li> <li>・どうして上手くいかないんだろうと落ち込む。と同時に、いらだちを感じる。ただ、たいていの場合、祖父母がサポートしてくれるのであまり困ることがありません。(4歳児保護者)</li> <li>・他の方はどのようにしているのだろうか。友達に電話する。(5歳児保護者)</li> </ul>
諦観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その時だけで、あとは同じという感じですが、少しずつ大きくなるにつれて、わかってくればと思っています。(3歳児保護者)</li> <li>・その時は、言うとおりにするが、又同じ事を繰り返す。(4歳児保護者)</li> <li>・何度も謝ってくるのでかわいそうになり、悪かったなと思うけど、同じ事を繰り返している。(5歳児保護者)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・びっくりした顔でその行為をやめるので、うっかりだまされて、まだまだ純粹でかわいいなあ~と思います。(3歳児保護者)</li> <li>・言うことを聞けばほっとするが、聞かなければ腹が立つ。(4歳児保護者)</li> <li>・どうしてうまくいかなかったのか考えます。どのようにしたらうまくいくか、考えます。(5歳児保護者)</li> </ul>

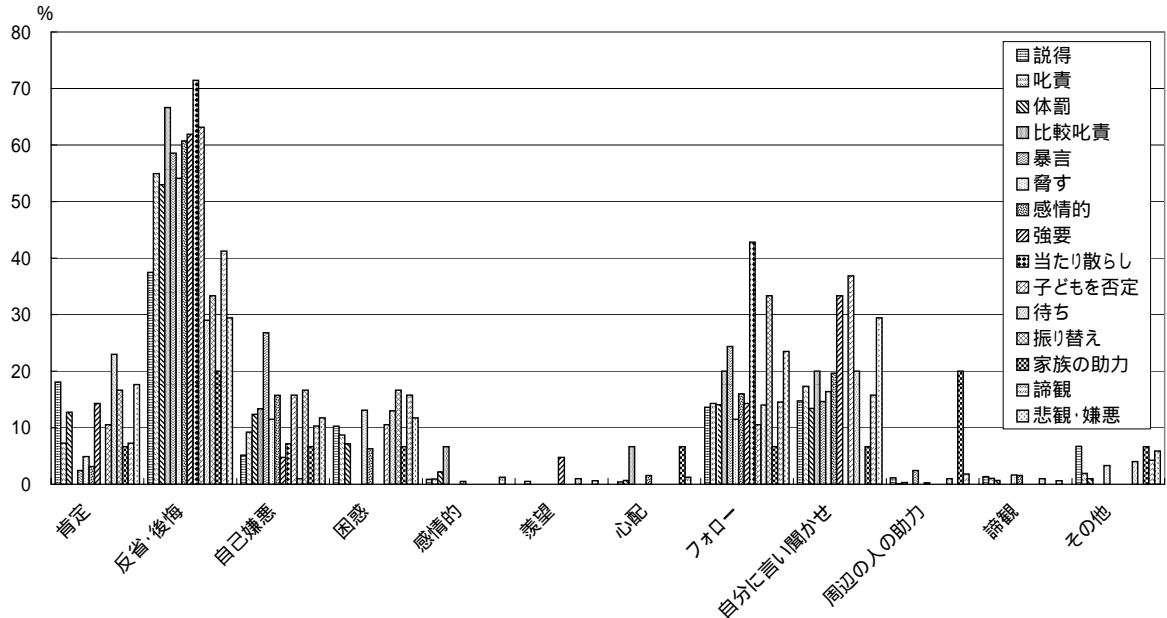
(3) 「しつけがうまくいかなかった場合の対応」別にみた「対応後の保護者の気持ち」

しつけがうまくいかなかった場合の対応別に、対応後の保護者の気持ちを見ていくと、いずれの対応の場合でも、対応後の保護者の気持ちの第1位は「反省・後悔」である。

対応後の保護者の気持ちの第2位については、「叱責」「比較叱責」「脅す」「感情的」「強要」「子どもを否定」「諦観」「悲観・嫌悪」の対応の場合は「自分に言い聞かせ」が、「体罰」「比較叱責」「当たり散らし」「振り替え」の対応の場合は「フォロー」が、「説得」「待ち」の対応の場合は「肯定」が、「暴言」の対応の場合は「自己嫌悪」が入っている。

第2位から第4位までに「自分に言い聞かせ」「フォロー」「自己嫌悪」が入ることが多いが、「説得」「待ち」の対応の場合の第2位、および「体罰」「強要」の対応の場合の第3位に「肯定」が入り、「脅す」の対応の場合の第3位に「困惑」が入っている(図8-4)。

図8-4 「しつけがうまくいかなかった場合の対応」別にみた「対応後の保護者の気持ち」



注1. 調査票の問6(8)の自由記述(2項目)の内容の分類をクロスして作成した。

注2. 一人の記述内容が複数の項目に分類される場合もある。

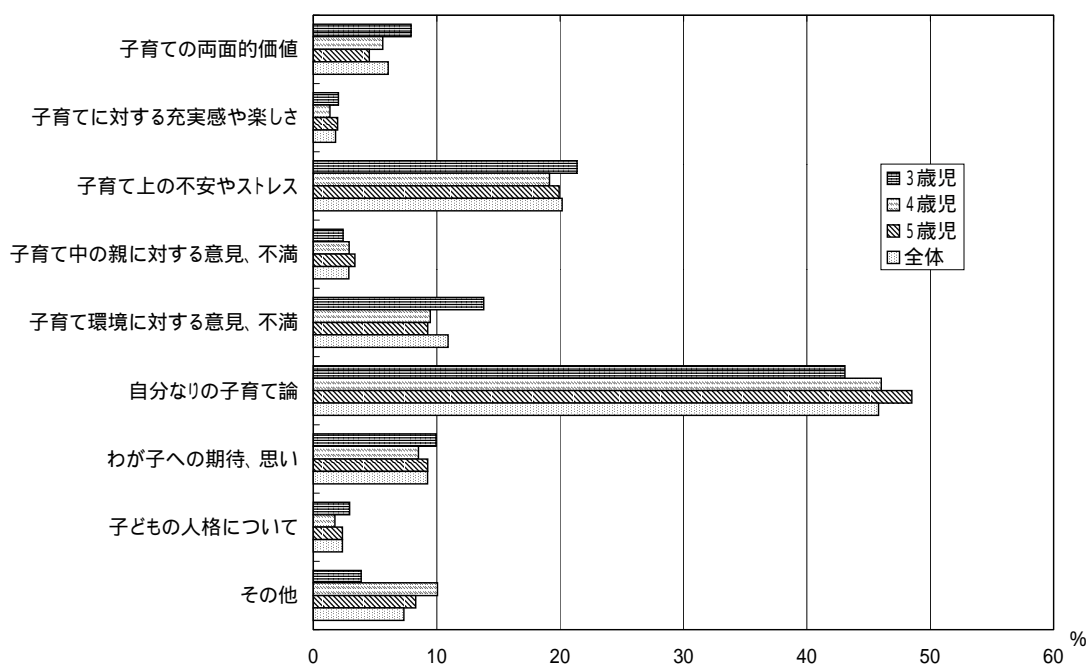
表8-1 「しつけがうまくいかなかった場合の対応」別にみた「対応後の保護者の気持ち」

	第1位	第2位	第3位	第4位
説得	反省・後悔	肯定	自分に言い聞かせ	フォロー
叱責	反省・後悔	自分に言い聞かせ	フォロー	自己嫌悪、困惑
体罰	反省・後悔	フォロー	肯定、自分に言い聞かせ	
比較叱責	反省・後悔	フォロー、自分に言い聞かせ	自己嫌悪	
暴言	反省・後悔	自己嫌悪	フォロー	自分に言い聞かせ
脅す	反省・後悔	自分に言い聞かせ	困惑	自己嫌悪、フォロー
感情的	反省・後悔	自分に言い聞かせ	自己嫌悪、フォロー	
強要	反省・後悔	自分に言い聞かせ	肯定、フォロー	
当たり散らし	反省・後悔	フォロー	自己嫌悪	
子どもを否定	反省・後悔	自分に言い聞かせ	自己嫌悪	肯定、困惑、フォロー
待ち	反省・後悔	肯定	自分に言い聞かせ	フォロー
振り替え	反省・後悔、フォロー		肯定、自己嫌悪、困惑	
家族の助力	反省・後悔、周辺の人々の助力		肯定、自己嫌悪、困惑、心配、フォロー、自分に言い聞かせ、その他	
諦観	反省・後悔	困惑、自分に言い聞かせ	フォロー	
悲観・嫌悪	反省・後悔、自分に言い聞かせ	フォロー	肯定	

### 9. 子育てについての意見

子どもの年齢別に「子育てについての意見」の記述内容をみると、いずれの年齢でも「自分なりの子育て論」について記述した保護者の割合が最も高く、特に5歳児で48.5%と最も高くなっている。第2位は「子育て上の不安やストレス」について記述した保護者の割合で、20%前後であり、3歳児の割合が4歳児、5歳児に比べて若干高くなっている。第3位は、「子育て環境に対する意見、不満」について記述した保護者の割合で、この記述についても3歳児の割合が高くなっている。

図9 - 1 年齢別にみた「子育てについての意見」



注1. 一人の記述内容が複数の項目に分類される場合もある。

「子育てについての意見」回答例

子育てについての意見	回答例
子育ての両面的価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日新しいことの発見です。しつけなどの事について悩むこともありますが、子どもの笑顔を見ると、ガンバロウという気になります。子育てとは、親も成長する大事なことだと思います。(3歳児保護者)</li> <li>・ 子どもを育てることはとても大変ですが、それ以上に楽しいこと、うれしいことがたくさんあり、今となっては子どものいない生活などとても考えられません。(3歳児保護者)</li> <li>・ 毎日、毎日、子育てが大変です。イライラするし。でも、子どもに救われている所がたくさんあります。子どもは生きがいです!(4歳児保護者)</li> <li>・ 子育ては日に日に難しくなっていくと実感している今日この頃ですが、こんなにも喜びをもたらしてくれる楽しいものもないと思っています。子どもは本当に宝物です。(5歳児保護者)</li> </ul>
子育てに対する充実感や楽しさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の子育てに関するサークルや健康相談、イベント等を通じてたくさんの育児友だちを作ることができ、子育てを楽しんでいます。(3歳児保護者)</li> <li>・ 子どものおかげで人生が豊かになりました。子どもを通して与えられる感動の一つ一つに感謝します。(4歳児保護者)</li> <li>・ 働きながら子育てをしています。子どもと夫と家族、職場の仲間に日々感謝しながら仕事をしています。夜遅く帰ってきて「お母さんお帰り、疲れたやろ。早くご飯食べ。」と言ってくれる息子。油と汗の臭いのするお父さんに抱きついて、「あーっ。おとうさんの臭いがする。」とニコニコ顔の娘。この子らに救われている毎日です。疲れもぶっ飛びます。(4歳児保護者)</li> <li>・ 子どもと共に、親自身もいろんな場面に対し勉強し、成長できる事だと思っています。子どもを通しての親同士のつながりも、今の私にとって大切なまた、楽しい時間でもあります。(5歳児保護者)</li> </ul>
子育て上の不安やストレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育ては大変です。兄妹ゲンカに本当に疲れ切ってしまいます。いったいどうすればいいのでしょうか。(3歳児保護者)</li> <li>・ 最近子どもへの虐待が社会問題となり、対策案の一つとして、父親の育児参加を耳にしますが、母子家庭はどうしたらよいのか。母子家庭(父子家庭)の育児のあり方はどうすればいいのか。自分の育児はまちがっていないのか、情報がないので不安です。(3歳児保護者)</li> <li>・ 今の時代とても大変だと思う。切れる子が多いとか…。まだ小さい頃はどうかいいけれど、大きくなればなるほど進路の事や勉強の事など不安。子は親の鏡と言うが、自信がない。子育ては本当に大変です。(4歳児保護者)</li> <li>・ 3人の子育ては私にとって負担で、ああ、1人、2人までにしてあげればよかったかなとすぐに思ってしまう。よその子がとても良い子に見えてどうして私の所だけ...と思ってしまう。(4歳児保護者)</li> <li>・ 自分に全く自信がなく、自分で自分が嫌いなので、私に似て欲しくない。自分がいじめにあった事があるので、自分の子どももそうならないか心配。(4歳児保護者)</li> <li>・ 年長で、来年小学校入学なので、ちゃんと行けるかどうか不安です。(普段から私にくっついてばかりいる甘えっ子なので)精神面でどう自立させるか、心配です。(5歳児保護者)</li> <li>・ 今、いろいろな少年犯罪が増えていて、これから子育てしていくのは不安が一杯です。(5歳児保護者)</li> </ul>



<p>子育て中の親に対する意見・不満</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ じつに色々な考え方のお母さんがおり、その大半が今の育て方のままだと大変なことになるのではないかと思わせるような方たちで、親らしい親が少なくなっていることをつくづく感じます。公園でも気の強い子、体の大きい子、いじめっ子が好き放題、その子どもたちの母親も見て見ぬ振りか、第2子に気を取られ全く見ていないか。結局はおとなしい良い子が犠牲になるしかないのかと、怒りを乗り越してあきらめの気持ちです。本当に子育てのしにくい現状であると思います。(3歳児保護者)</li> <li>・ 今の親というのは、子どもの意志に関係なく他の子より1つでも多くの習い事をさせようと、親どうしの競争になっているように感じます。親は本来子どもの良いところを見極めて、その良いところを伸ばせるような環境づくりというか、本来の子どもの姿(のびのびと遊べる環境)を思い出してほしい。たくさん習い事をさせている親は、習い事をさせているという自己満足にしかすぎず、子どもに負担をかけている事に気づいていない。(3歳児保護者)</li> <li>・ 社会的なマナーを守らない親が多いのではないかと。親世代のしつけが足りないことを思います。(4歳児保護者)</li> <li>・ 私自身が現代の「お客さま的な」「自分さえ良ければ」「ルールを守らない」考え方が理解できずに苦しみました。わが子に優しさや人への思いやり、ルールを守る事を伝えても、そうでもない友達、また家族が多く、子どもが戸惑う場面も少なくありません。物が溢れ「ありがたい」という気持ちが何においてもなくなっているのでしょうか。悲しい事です。17歳の犯罪など取りざたされていますが、親が変わらなければ子どもは変わりません。(4歳児保護者)</li> <li>・ 最近マナーの悪い子どもが多いと思います。それを知らん顔している親も親だと思えます。一応叱っている人もいますが、周りの目を気にしながら叱っています。だから子どもも全くやめようとしません。(5歳児保護者)</li> <li>・ 昔と違って、子どものやる事にいちいち親が口出しをしすぎている様な気がします。その結果、自分で考えて行動をする自主性や自立があまりなく、誰かが指示しないと何もできない子ども達が増えていると思います。親が子どもを支配してはいけないかと反省しています。(5歳児保護者)</li> </ul>
<p>子育て環境に対する意見・不満</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心して外で遊べるような広場や、自転車の乗りやすい街になってほしい。2002年から小学生でも英語を学習することになるが、家庭ではどのように英語を教えればよいのか。(3歳児保護者)</li> <li>・ 共働きで子育てをしています。もっとゆとりを持って子どもと接したいと思う。延長保育はありがたいですが、職場の方にも子育てを考慮してもらえ環境であるといいのにと感じています。(就労時間を短縮し、お迎えが出来るように)(3歳児保護者)</li> <li>・ 核家族なので、ご近所など身近なところに相談にのってくれる人や少しの時間子どもを預かってくれるところがあれば助かるなど思っています。あと、交通事故が心配で、そんなに広くなくてもいいので公園があればいいなど思っています。今は室内で遊ぶ事が多くなってしまいました。(3歳児保護者)</li> <li>・ もう一人子どもが欲しいと考えている。しかし職場への負担を考えると、自分や家族内だけの問題ではないと思える。もっとラフな思考で仕事と子育てが両立できるような社会になってほしい。次の世代を育てているのだから...(4歳児保護者)</li> <li>・ 核家族世帯が増え、孤独感が強く、社会、地域ぐるみでの子育てが大事だと思う。(4歳児保護者)</li> <li>・ 外でたくさん遊ばせたいのですが、最近のニュースなどを見ていると事故や事件など目にすることが多く、子ども達同士だけで遊ばせることができません。親や子ども達が安心して、自由に思いっきり外で遊べる、地域ぐるみでの環境づくりが必要だと思っています。(4歳児保護者)</li> </ul>

<p>子育て環境に対する意見・不満</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子化、テレビゲームの普及と、人と人とのふれ合いを意識して持とうとしなければ持ち辛い世の中です。現に長女の場合は近所にお友達が少なく、保育所に上がるまでは寂しく思いました。子どもはやはり子ども同士の方がよいのです。私達の住む町は、小さな公園や気軽に集まる集会所がなく、お母さん方はそういう場所が欲しいと口を揃えて言います。( 5 歳児保護者 )</li> <li>・ 子どもをのびのび遊ばせる場所がほしい。空き地があっても既に駐車場になり、遊ぶ所がない。道路でもないのにバイクが走る。危ない。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>
<p>自分なりの子育て論</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どものことを信頼して、急がず、焦らずに育てていきたいと考えています。少し前までは親の考える理想の姿と違うと注意したり、お説教したりしていましたが、その子なりの発達があり、自然に出来るまで待てば良いんだと考えるようになりました。のびのびと自由に好きなことをさせてやるのが、とても大切だと思います。もちろん、叱ることもありますし、感情的になってしまうこともあります。それから親以外の子どもに関わってくれるたくさんの人達がいるわけですので、そういう子育ての環境が社会的にももっと整っていけば良いと考えます。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ 兄弟が仲良く刺激しあいながら成長していくように自分も考えながら子育てをしていこうと思っていますが、その時の感情に流されて叱ることも多いので、言葉を選び、常に愛していることを伝えながら育てていくつもりです。親が精神面で安定していないと子どもに悪い影響を与えてしまいます。しつけといじめをはき違えないよう気をつけながら、叱るときはしっかり叱っていこうと思います。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ 子育てについて、多くの教育書、体験本が発行されています。私はそれらについて、目を通すだけでいいと考えています。子どもの権利と人権を尊重し、家族、教育機関そして地域社会全てにおいて、子どもを見守り育成していかなければならないと考えています。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ とにかく愛して育てたいと思います。親にとって子ども達はとても大切な宝物であることをいつも伝えて育てようと思っています。最近は放任して、わがままし放題を自由とはきちがえている親が多いように思いますが、善悪の判断を小さいうちからしっかりしつけるべきだと思います。( 3 歳児保護者 )</li> <li>・ 最近、学校崩壊などよく聞かれるにつれ、なぜこういうことをするのかわからないことが多い。10 代の狂行、家庭内暴力、不安な事ばかり。幼児の時のしつけ、悪い事をした時はきちりと叱ることがちゃんと出来ているか、というのが大事な事だと思う。親、特に母親の自覚が必要かな。あと、命を大切に教育も大切だと思う。他人の命も、自分の命も。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ あまりがんばりすぎずに自然体でいるのがいいように思う。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 子どもは皆違うので、今どきの子とひとまとめには考えはいけないと思っている。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 最近、子どもたちが大人を怖いと思わなさ過ぎると思う。ある程度親は怖いと思わせる事も必要だと思う。普段はある程度自由にさせ、ここという時は毅然とした態度でいる事が大切だと思う。家ではゲームはやらせたくない。その代わり生き物を手にし、喜びや悲しみを感じて行って欲しい。( 4 歳児保護者 )</li> <li>・ 現在 3 人の子どもを育てていますが、1 人目の時はもっと「こうでなくてはいけない」という考えにとらわれ過ぎていました。今も悩まない訳ではありませんが、子どもにはそういう時があるということ、そういう子もいるということを受け入れられるようになりました。同様に育てたつもりでも兄弟みんなが違うように、子どもによって成長の仕方も違うのです。親同士が友達になり、色々な事を相談したり、先生が「大丈夫ですよ」と言ってくれたりするだけでも、1 人で悩んでいるお母さんは救われるし、子どもも救われるのではないのでしょうか。まずは声をかける事が第一歩かなと思います。( 5 歳児保護者 )</li> </ul>

自分なりの子育て論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく親子、家族触れあって、体で覚えるようなしつけをしたい。家族がいつも仲良くして明るければ、子どもは自然と明るい子どもに育つように思います。夫婦だけでなく、おじいさんおばあさんたちからもいろいろ教わってほしい。(5歳児保護者)</li> </ul>
わが子への期待、思い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素直で思いやりのある子どもに育ててほしいと思います。(3歳児保護者)</li> <li>・健康で明るく育て欲しい。(3歳児保護者)</li> <li>・勉強はできなくてもいいから、健康で前向きな子に育て欲しいと思う反面、それでこの世の中では通用するのだろうかと考えたり...心は複雑です。まず、健康第一ですね。(4歳児保護者)</li> <li>・人に迷惑をかけずに自分の人生を楽しめる子どもを育てたい。(4歳児保護者)</li> <li>・のびのびと健康で、友人と協調性のある子に育て欲しい。(4歳児保護者)</li> <li>・健康を通じて社会貢献できる人に成長してほしいです。具体的には、豊かになったこの国で豊富な食物の中から体に良いものを選ぶ目を養い、まず健康な体づくりのできる人。我が家は女の子だからいずれは結婚し母親となる日がきますが、食に関する知識があれば、私にとっては孫にあたる赤ちゃんに対してもしっかりとした食事をしてあげられる、賢い母親になれるでしょう。健康であれば、生涯現役でいられ周りの人たちのお世話(介護)になる機会が少ない。そんな人生を送れる人になってほしいです。(5歳児保護者)</li> <li>・健康に気をつけ、友達をたくさんつくってのびのび育ててもらいたい。(5歳児保護者)</li> </ul>
子どもの人格について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人格を認めてあげなければ...と、頭の中では思っているが、つい他の子の積極的な性格や意欲的な態度と比べてしまいがちである。消極的な子どもの性格を何とか変えていきたいと願っている。(3歳児保護者)</li> <li>・あまりにも活発すぎて(じっとしてられない)不安です。最近「多動児」という言葉を耳にし、息子がそうなのではないかと心配です。保育所の先生方や市町村の保健婦の方々から見た子どもの情緒、情操の発達のアドバイスをもっと積極的にしてもらいたいです。(3歳児保護者)</li> <li>・大勢の人前で緊張してしまい、人前に出るのが苦手な性格をどのようにして治せばいいのか、このままで自然に治るのを待てばいいのか思案中です。(4歳児保護者)</li> <li>・気が弱い性格なので、この先「いじめ」に合わないかと、それだけが心配です。(4歳児保護者)</li> <li>・私は2人の子どもを持っていますが、2人共性格も体格もすごく違います。上の子は体が小さく、下の子は体がとても大きいです。それと同じで性格も違い、上の子は短気、下の子はおっとりしています。最近上の子、小学3年生が反抗期で、手を焼いています。でも子どもがいろいろ親に質問を投げってくれるから、親も成長していくのでしょうか。(4歳児保護者)</li> <li>・自分の子どもは女の子ですが、家の中と外(保育園)での態度が全く違う。家の中では大声でどなって怒るしすぐ拗ねる。大人の会話にすごい興味をもちたがり、うるさいくらい質問をしてくる。とても神経質で扱いにくいタイプで、言葉を選んで物を言ってしまう。(親が)もっと素直になって欲しいと願うだけです。親も変わらなきゃダメだと思っています。(5歳児保護者)</li> <li>・私には3人の子どもがいますが、一人一人違って当たり前と言うこと、兄弟だからといっていつも同じ事をしていなければならないという訳ではないことを分かってもらいたい。一人一人の個性を大事に、自己主張もいければいいけれど協調しなければいけない所は協調できる子どもになって欲しい。今学校が少しおかしくなっているようです。でも最も大事な家庭がきちんとしていれば起こらない事では?と考えています。子どもに責任をもって育てていこうと思います。(5歳児保護者)</li> </ul>

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、社会で多発している少年犯罪について、親はどのように関わっていけばよいのか、親と子のあり方とはどのようなものなのか。(3歳児保護者)</li> <li>・ 私と義父、義母の子育ての意見が合わなくて、私なりの子育てができず、とてもつらいです。私なりで良いのか合わせるべきなのか分かりません。子育ての事で不仲になり、別居しています。とても不安です。(4歳児保護者)</li> <li>・ 子育てには親同士の付き合いが大事ですが、どの親もそれぞれ違った考えを持っているので、時々戸惑う事があったり、自分の意見を言って子ども同士がまずくならないかと不安になったりします。自分が子どもの時はこんなに親がいろいろ子ども同士のことに口を出していたかしらと、できればもっと自分の子も自由にしてやりたいと思う事があります。(5歳児保護者)</li> <li>・ 自分も含めて、世の中はすごく贅沢になりすぎていると思います。人生は苦労があるからこそ相手への思いやりなどが生まれてくると思います。習い事などへは行く必要はないと思いながら、周りに流されていく自分が情けなくなります。(5歳児保護者)</li> </ul>
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ま と め

## まとめ

### <本調査結果の概要>

近年、少子化や核家族化、情報化、女性の社会進出等の社会変化に伴い、子どもや子育て家庭を取り巻く状況も大きく変化し、家庭や地域における教育機能の低下や子育て不安の増加等の問題が指摘されている。本調査研究は、そのような状況の中で、地域における子育てネットワークの核として子育てを支援する役割を担うべき保育所・幼稚園が、育児上の悩みや不安を抱く保護者をどのように支援することができるのかを探るための資料を得ることを目的に行ったものである。

平成12年度に実施した「子どもの生活実態と子育ての現状に関する調査」の結果を基にして、「子育てに関する悩み」「子育てに関する悩みの相談先」「子育てに関する情報源」「子育てに関して知りたいこと」「子育てに関する希望情報源」の各々について「就労状況」「家族類型」「居住地」「兄弟姉妹数」「ふれあいの程度」「子育てに関する悩み」等との関連をクロス分析することによって、いくつかの傾向を浮かび上がらせることができた。また、「しつけがうまくいかない場合の対応」「しつけがうまくいかなかった場合の対応後の保護者の気持ち」「子育てについての意見」についての記述内容も分析することによって、子育てに悩みや不安を抱く保護者の内面の一端を読み取ることもできた。

以下に明らかになった主な傾向を述べることにする。

#### 「子育てに関する悩み」について

平成12年度調査結果によると、子育てに関する悩みは、「しつけに関すること」が突出しており、「性格」、「友達」、「生活習慣」、「健康」、「保育所・幼稚園生活」と続く。平成6年度調査では「しつけ」「性格」「友達」「健康」「生活習慣」「心身の発達」の順であり、平成6年度に比して「生活習慣」「保育所・幼稚園生活」がより上位に上がってきていることがわかる。

この傾向を就労状況別、家族類型別、居住地別、兄弟姉妹数別、ふれあいの程度別にみると、いずれの角度からみても、第1位、第2位は「しつけ」、「性格」と続くが、第3位以下は微妙に異なっている。例えば、「公務員・会社員等」、「三世帯家族」、「ふれあいを時間の許す限りしている」グループでは、他のグループに比べて「生活習慣」が上位にあげられている。また、「家での仕事」、「核家族」、「商工業地」、「漁村」、「ふれあいを積極的にしている」グループでは「健康」が、「専業主婦」、「漁村」グループでは「園所生活」が、「母子家族」、「暇があればふれあいをしている」グループでは「食生活」が他のグループに比べてより悩みの対象になっていることがわかる。つまり、家族の状況によって様々な悩みが存在するということである。なお「父子家族」は他の家族類型と異なる傾向を示しているが、サンプル数が3と少ないので一般化することは控えたいと思う。

#### 「子育てに関する悩みの相談先」について

子育てに関する悩みの相談先としては「友人・知人・近所の人に」、「夫または妻」、「自分および配偶者の親に」、「保育所・幼稚園の先生」の順にあげられている。平成6年度調査での順位は「夫または妻」、「友人・知人・近所の人に」、「自分および配偶者の親に」、「保育所・

幼稚園の先生」であった。

平成12年度調査ではここ数年の社会変化等を考慮して、平成6年度調査の選択肢「友人・知人・近所の人」を、「友人」と「知人・近所の人」という別個の選択肢に分け、またあてはまるものを2つ選ぶ方式から3つ選ぶ方式に変更したため単純に比較することはできないが、「友人・知人・近所の人に」、「夫または妻」の順位が入れ替わったことについては、携帯電話やパソコンがここ数年予想以上に普及し、友人とのコミュニケーションがより頻繁に行われるようになったこととの関連があるものと思われる。

この傾向を就労状況別、家族類型別、居住地別、兄弟姉妹数別、ふれあいの程度別に注目すべき点をあげてみると、就労状況別では、平成6年度は「パート勤労者」のみが「友人・知人」を第1位に、「夫または妻」を第2位に選び、他職種は第1位に「夫または妻」を、第2位に「友人・知人」を選んでしたが、平成12年度は「公務員・会社員等」のみが「夫または妻」を第1位に、「友人・知人」を第2位に選び、他職種は第1位に「友人・知人」を、第2位に「夫または妻」を選んでいる点があげられよう。頻繁になったと思われる友人とのコミュニケーションの頻度も、「公務員・会社員等」の場合は時間的な制約等によりそれ程でもないということであろうか。

家族類型別では、「母子家族」で「自分及び配偶者の親」と「保育所・幼稚園の先生」の順位が平成6年度と入れ替わり、「保育所・幼稚園の先生」「自分及び配偶者の親」の順になっている。「保育所・幼稚園の先生」が相談先として以前より期待されているのである。

以上の傾向から、子育てに関する悩みを以前に比べて友人により多く相談するようになったととらえられるが、全体的にみると、「夫・妻」「友人」「自分および配偶者の親」という最も身近な人々に相談しているということであろう。

#### 「子育てに関する情報源」について

「子育てに関する知識を何から得ていますか」という問に対しては、多い順から「友人・知人・近所の人から」「自分および配偶者の親から」「新聞・雑誌・テレビ・育児書などから」「保育所・幼稚園の先生」があげられている。

平成6年度調査では、「友人・知人・近所の人から」「新聞・雑誌・テレビ・育児書などで」「自分および配偶者の親から」「保育所・幼稚園の先生」の順にあげられていた。

先述の通り単純に比較することには問題はあるが、平成6年度調査では「新聞・雑誌・テレビ・育児書などで」「自分および配偶者の親から」が僅差であげられていたのに対して、今回調査では「自分および配偶者の親から」が「新聞・雑誌・テレビ・育児書などで」を約10ポイントも上回っている。平成6年度に比べて「自分および配偶者の親」が情報源として機能しているということであろう。

これを就労状況別、家族類型別、居住地別、兄弟姉妹数別、ふれあいの程度別にみると、就労状況別では、「公務員・会社員等」の第1位が「友人・知人・近所の人」から「自分および配偶者の親」に変わり、「保育所・幼稚園の先生」の順位が第4位から第3位にあがっている。「公務員・会社員等」は子育てに関する情報を、子育てに関する悩みの相談先と同様、「友人」ではなく、身近な「自分および配偶者の親」から得、子どもと関わりの深い「保育所・幼稚園の先生」からも得ているのである。一方「核家族」の第4位は「保育所・幼稚園の先生」から「夫・妻」に入れ替わっている。夫の子育てへの関心が高まったのであろうか、そ

れとも核家族の日常が以前に比べてより閉ざされた状況になったのであろうか。

今日子育てに関する様々な情報は氾濫しており、保護者は夫々様々な媒体、人間関係を通して情報を得ていると考えられるが、「友人・知人」、そして身近な「自分および配偶者の親から」情報を得る傾向がより強くなっているのであろう。また祖父母の方でも孫に対する関心は年々高まり、祖父母の方から積極的に情報を伝える傾向も表れたのであろうか。

#### 「子育てに関して知りたいこと」について

子育てに関して知りたいことについては、「子どもの自立心・社会性」が突出しており、「体と健康」「育児をめぐる意見や態度の調整」「情緒・情操」が続く。平成6年度調査では、「子どもの自立心・社会性」「体と健康」「情緒・情操」「育児をめぐる意見や態度の調整」の順であり、「育児をめぐる意見や態度の調整」の順位があがったことが注目されよう。夫・妻・その親が、少なくなった子どもの子育てに関心を持ち、実際関わるようになる中で食い違いも生じるということであろうか。

#### 「子育てに関する希望情報源」

「子育てに関する知識をどんな方法で知りたいですか」という問に関して、平成12年度調査ではここ数年の時代変化を勘案して選択肢に「インターネット」「保育所・幼稚園の先生」を加えたところ、回答の結果は「家族や知人等の育児経験者」、「新聞・雑誌・育児書」、「保育所・幼稚園の先生」、「テレビ・ラジオで」、「広報紙やパンフレット」の順になった。平成6年度調査では「家族や知人等の育児経験者」、「新聞・雑誌・育児書」、「PTAや母親学級で」、「テレビ・ラジオで」の順であった。

これを就労状況別、家族類型別、居住地別、兄弟姉妹数別、ふれあいの程度別にみると、「保育所・幼稚園の先生」は、「公務員・会社員等」「まち(商工業地)」では第1位にあげられ、「パート勤労者」、「家での仕事」、「三世代家族」、「ふれあいを積極的にしている」、「ふれあいをあまりしていない」グループでは第2位にあげられており、「保育所・幼稚園の先生」が子育てに関する情報源として期待されていることが読み取れる。

また、平成6年度調査の「公務員・会社員等」で第2位にあげられていた「各種講演会」や、いずれの類型でも第3位、4位にあげられていた「PTAや母親学級で」は、平成12年度調査では姿を消している。講演会等で一般的な話を聞くのではなく、どんなに些細なものであっても個々の母親自身が抱えている具体的な悩みに直接応えてくれる身近な存在が求められているということではないだろうか。

#### 「しつけがうまくいかなかった場合の対応」

様々なところで子育て不安の増大が指摘され、また子育ての孤立化・不安の増大と児童虐待の増加の関連も指摘されている昨今であることから、子育て中の保護者の気持ちを少しでも読み取りたいと考え、平成12年度調査では新たに「しつけがうまくいかないとき、お子さんに対してどのような態度をとられますか。また、そのあと、どのように感じられましたか。具体的に書いてください。」という項目を追加した。回答を自由記述方式で求めたため12年度には分析を控えた項目である。

主な傾向をみてみると、しつけがうまくいかないとき、「諦めたり」、「待ったり」する保護



者は大変少なく、ほとんどの保護者は何らかの「規制」を加えていることがわかる。特に「3歳」、「5歳」で顕著である。「規制」の内訳は「叱責」が突出しており、「体罰」、「説得」、「感情的」が続く。また、「規制」の内訳は子どもの年齢により特徴がみられ、年齢が進むにつれて「説得」、「叱責」が多くなり、「体罰」は少なくなる。「感情的」になるのは「4歳」で多いことがわかる。

年齢が低く、口で説明してもわからないからと体罰を加えるのであろうか。それにしても、30パーセントもの親が体罰を加えていることは看過できない数値である。

そして、回答者の5割強の保護者は対応後「反省・後悔」しており、「自己嫌悪」や「困惑」の感情を抱く保護者もそれぞれ1割弱いることがわかった。

子どもが言うことを聞かないとついカーッととなって大きな声で叱ったり、叩いたりしてしまい、その後、感情的になったことを反省したり、自己嫌悪に陥ったり、どうしたらいいのかかわからないと悩む保護者の姿が浮かび上がってくるのではないだろうか。

### 子育てについての意見

アンケートの最後に、子育てにあたって考えていることについて記述を求めたが、多くの親が子育てについて「子どものことを信頼して、急がず、焦らずに育てていきたい。その子なりの発達があり、自然にできるまで待てばよいのだ」「常に愛していることを伝えて育てるつもり」等の「自分なりの考え」を持っていて、その割合は年齢とともに増加することがわかった。次に多く記述されていたのは「兄弟喧嘩に疲れきってしまう」「大きくなればなるほど進路のことや勉強のことなど不安」「子は親の鏡と言うが自信がない」等の「子育て上の不安やストレス」、「親や子どもが安心して自由に思いきり外で遊べる、地域ぐるみでの環境づくりが必要」「職場にも子育てを考慮してもらえらる環境があるといいのに」等の「子育て環境に対する意見・不満」であるが、これらは年齢が進むにつれて減少傾向を示した。子どもの年齢が低い保護者の場合、気になることや不満も多く、不安やストレスを強く感じていたが、子どもの年齢が進むにつれて、人間関係も少しずつ広がり、子育てに少し余裕が持てるということであろうか。

以上の分析結果から、現在幼児期の子どもを持つ保護者の典型的な姿を浮かび上がらせることができるだろう。

現代の親は、しつけや性格について悩みながら子育てしているが、それを家族や友人・知人等身近な人に相談しながら子育てをしている。子育てについて知りたいことは「子どもの自立心・社会性」「心と体」「育児をめぐる意見や態度の調整」「情緒・情操」などであり、「友人・知人」「親」「新聞・雑誌・テレビ・育児書」「保育所・幼稚園の先生」から子育てに関する知識や情報を得、また「家族や知人等の育児経験者」「新聞・雑誌・テレビ・育児書」「保育所・幼稚園の先生」から子育てに関する情報を得たいと思っている。

また、しつけがうまくいかないときは、叱責したり、体罰を与えたりしてしまい、その後は後悔・反省し、また自分なりの子育て観もっているのである。

## <本調査結果から>

上述の調査結果の概要から読み取ることのできた本県の保護者達の思いに対して、保育所・幼稚園は今後どのように応えるべきであろうか。

そもそも平成12年度調査は、変化の激しい時代に、子ども自身や子育ての状況も時代の変化の影響を受けて変容しているのではとの思いから行われた追跡調査であった。そこでまず、その時代背景を考えておきたいと思う。

平成6年頃は、少子化の進行、女性の社会進出を背景とした夫婦共働き家庭の一般化、核家族化の進行や近隣とのつながりの希薄化等による家庭や地域の子育て機能の低下等が進行する中で、育児不安が社会問題となり、様々な家庭施策・子育て支援策が講じられ始めていた時代である。平成6年度は、「今後の子育て支援のための施策の基本方向について(エンゼルプラン)」とそれに続く「緊急保育対策等5か年事業」が策定され、また対外的には「児童の権利条約」が批准されるという大きな動きのみられた年度である。その後平成9年には「児童福祉法」が一部改正され、子ども福祉の時代から子ども家庭福祉の時代へと移った。そして平成10年には幼稚園教育要領が改訂され、平成11年には保育所保育指針も改訂されたのである。

以上のような動きの中で、子どもを取り巻く環境は必ずしも望ましい状況になったとは言えないが、保育者の側でも、また子育てをしている保護者の側でも、子育てに対する意識は少しずつ変化し、それに伴い保育所・幼稚園に対する関心も以前に比べて徐々に高まってきたと考えられる。このような背景が、本調査の対象になった保護者の意識にも影響し、子育てに関する悩みの相談先、子育ての知識の情報源、子育ての知識の希望情報源に保育所・幼稚園を選択する割合が高くなったのではないだろうか。

それでは、今日の保育所・幼稚園には、子育ての悩みの相談先として、子育ての知識の情報源として、また保護者の求める情報発信源としての役割を担う条件は整っているのだろうか。

保育所・幼稚園には乳幼児保育・教育の豊かな経験と実績があり、専門の知識と技術を備えた保育者がいる。園に子どもを預けている保護者は、日々保育者の知識や技術にふれることができるだろう。他方子どもを預けていない保護者も、園に出向けば保育者の知識や技術にふれることができる。それだけでなく、直接子どもの生活や遊びの実態を知ることができ、様々な子どもを見ることによって、わが子の状態も理解できるのである。さらに、子育てに関する情報を得ることによって孤立化や子育てのストレスを緩和することもできるはずである。

ところで本調査の保護者達は、「相談先としての保育所・幼稚園」、「情報源としての保育所・幼稚園」も求めているが、それ以上に求められているのは、「希望情報源としての保育所・幼稚園」であった。

保育所・幼稚園は今後、今日までに培ってきた基本的な保育・教育をさらに充実させ、情報源としての役割が担える保育所・幼稚園であるよう努力しなければならないのである。

近年、子どものまわりで痛ましい出来事が起こる毎に支援体制の如何が云々され、世の中心の子育てに対する認識も徐々にではあるが高まってきていると考えられる。そして乳幼児期の子どもを持つ保護者も子どもにより多くの関心を向けるようになったと思われる。平成12年度の調査でも、保護者が子どもに関わる頻度は平成6年度に比べて高くなっており、衣食を整え、一緒に遊び、しつけのために言い聞かせ、寝る時にはお話をし、公園等に出かけて積極的にふれあいを持つようとする望ましい姿がみられたのである。

しかしながら一方では、子どもに朝食を食べさせないのは子どもが食べたがらないから等、親として主導権を発揮すべき時にも、子どもの言いなりになってしまう姿もみられた。子どもは親をモデルに生活習慣を身につけ成長するのであり、親は自信を持って子育てにあたる必要があるにもかかわらずである。そして子どもに関心を向けるようになったとはいえ、しつけがうまくいかない時には体罰を加えてしまう保護者が予想以上に多いのである。

以上のような保護者の現状を念頭に、自由記述部分に吐露された保護者のサインを受け止めることのできる保育所・幼稚園でありたいものである。保護者が親として自信をもって、主体的に、よりよい方向に子育てをしていけるように援助できる保育所・幼稚園でありたいものである。

子育てがすでに保護者のみの問題ではなくなった今日、保育所・幼稚園には、保護者達に相談された時にも、また情報提供が必要な時にも、的確に対応できるよう、日頃からその資質を高めておく必要があるだろう。また他の専門機関等とも協力して相談・情報提供ができるよう、連携体制を構築しておくことも必要であろう。

保育所・幼稚園に通ってくる子ども達の発達を保障し、保育所・幼稚園の外に対しては子育てのあり方や方法を発信することによって、保護者・地域と連携して、社会全体で子育てをしていく真の「子育て支援センター」の役割を担いたいものである。

( 文 責 : 成 田 朋 子 )

# 資 料

# 資料

## 1. 調査票及び単純集計結果

\*\*\*子どもの生活実態と子育ての現状に関する調査\*\*\*

回答者ご本人について

集計対象者数 2348人  
無回答の割合は記載しない  
( )内数字はパーセントを表す

問1 あなたご自身について、おたずねします

(1) お子さんからみたあなたの続柄について、あてはまる番号に をつけてください

1. 母親(96.8) 2. 父親(2.5) 3. その他の養育者(具体的に ) (0.1)

(2) あなたの年齢について、あてはまる番号に をつけてください

1. 25歳未満(0.5) 2. 25~30歳未満(14.7) 3. 30~35歳未満(48.0)  
4. 35~40歳未満(29.1) 5. 40歳以上(6.9)

(3) あなたのご職業について、主にあてはまる番号に をつけてください

1. 農林漁業(0.9) 2. 商工・サービス業などの自営業(6.1)  
3. 自由業(医師・弁護士・会計士等)(0.6) 4. 公務員・会社員等(14.5)  
5. 専業主婦(41.3) 6. パート勤労者(25.4)  
7. 無職・学生(0.3) 8. 家内職(5.3) 9. その他(具体的に ) (4.8)

(4) あなたのご家族について、あてはまる番号に をつけてください

1. 核家族(父母と子)(61.1) 2. 三世大家族(祖父母を含む)(33.1)  
3. 母子家族(母と子、その他)(2.7) 4. 父子家族(父と子、その他)(0.2)  
5. その他(その他の親族または非親族を含む)(1.9)

(5) あなたが住んでいるところについて、あてはまる番号に をつけてください

1. 桑名ブロック(桑名市・員弁郡)(10.4)  
2. 三泗ブロック(四日市市・三重郡)(16.0)  
3. 鈴亀ブロック(鈴鹿市・亀山市・鈴鹿郡)(12.2)  
4. 中勢ブロック(津市・久居市・安芸郡・一志郡)(14.9)  
5. 伊賀ブロック(上野市・名張市・阿山郡・名賀郡)(12.0)  
6. 松阪ブロック(松阪市・多気郡・飯南郡)(11.5)  
7. 南勢志摩ブロック(伊勢市・鳥羽市・度会郡・志摩郡)(14.3)  
8. 尾鷲・熊野ブロック(北牟婁郡・南牟婁郡)(7.8)

(6) あなたが住んでいるところについて、いちばんあてはまる番号に をつけてください

1. まち(住宅地)(62.1) 2. まち(商工業地)(5.5) 3. 農村(20.9)  
4. 山村(4.5) 5. 漁村(5.3)

お子さんのようすについて(アンケート用紙を持ち帰られたお子さんのようす)

問2 お子さんについて、おたずねします

(1) お子さんの性別について、あてはまる番号に をつけてください

1. 男児(50.3) 2. 女児(49.1)

(2) お子さんは何番目の子ですか。 の中に数字を記入してください

番目 1 番目(45.5) 2 番目(39.1) 3 番目(12.9) 4 番目以降(1.9)

(3) お子さんには、兄弟姉妹が何人いますか(本人を含む)。 の中に数字を記入してください

人 1 人(14.6) 2 人(54.5) 3 人(23.2) 4 人(2.9) 5 人以上(0.3)

(4) お子さんの兄弟姉妹は同性ですか、異性ですか。あてはまる番号に をつけてください

1. 同性のみ(35.9) 2. 異性のみ(35.0) 3. 両方いる(15.3)

(5) お子さんが保育所や幼稚園から帰宅したあと、家には誰かいますか。あてはまる番号に をつけてください

1. いる(96.1) 2. いない(1.7)

↓ 1 と答えた方は(6)へ

(6) お子さんの帰宅後、誰がいますか。あてはまる番号に をつけてください(n=2257)

1. 母親(86.4) 2. 父親(0.9) 3. 祖父母(11.9)  
4. その他の親族(0.1) 5. 近所の人(無) 6. ベビーシッター(無)  
7. その他(具体的に ) (0.6)

問3 お子さんの生活のようすについて、おたずねします

(1) お子さんは、朝、一人で起きられますか。あてはまる番号に をつけてください

1. いつも一人で起きる(18.1) 2. たいてい一人で起きる(24.4)  
3. 一人で起きる時と親など家族の者が起こす時とが半々程度(31.6)  
4. たいてい親など家族の者が起こす(20.2) 5. いつも親など家族の者が起こす(5.1)

(2) お子さんはふつう、夜、何時ごろに寝ますか。あてはまる番号に をつけてください

1. 7時までに(0.3) 2. 8時までに(3.6) 3. 9時までに(30.0)  
4. 10時まで(47.8) 5. 10時以後(14.3) 6. きまっていない(3.3)

(3) お子さんが寝るときに付き添うのは主にどなたですか。あてはまる番号に をつけてください

1. 母親(82.3) 2. 父親(6.6) 3. 祖父母(1.7) 4. その他の親族(1.1)  
5. 近所の人(無) 6. ベビーシッター(0.1) 7. その他(具体的に ) (3.6)  
8. いない(3.9)

(4) お子さんの寝るときにのようすについて、あてはまる番号に をつけてください

1. いつも一人で寝る(9.9) 2. 音楽を聴きながら寝る(1.4)  
3. 本を読んでもらいながら寝る(22.9) 4. お話をしながら寝る(26.2)  
5. 兄弟姉妹と寝る(27.6) 6. その他(具体的に ) (11.4)

(5) お子さんの朝食のようすについて、あてはまる番号に をつけてください

1. 毎朝必ず食べる(85.6)  
2. 食べたり、食べなかったりする(12.6)  
3. 食べないことが多い(1.3)  
4. 食べない(0.1) 2,3,4のいずれかを答えた方は(6)へ

(6) お子さんが朝食を食べない理由は何ですか。あてはまる番号に をつけてください(n=328)

1. 食べたがらない(85.1)                      2. 食べる時間がない(8.5)  
3. 食事の用意をしていない(0.3)          4. その他(具体的に ) (4.9)

(7) お子さんは、夕食を誰と食べますか。あてはまる番号に をつけてください

1. 一人で食べる(0.4)    2. だれかと食べる(96.8)    \_\_\_\_\_  
3. その他(具体的に \_\_\_\_\_) (1.5)

↓  
2と答えた方は(8)へ

(8) 主にいっしょに食べるのは誰ですか。あてはまる番号のすべてに をつけてください  
(n=2272)

1. 母親(93.8)    2. 父親(45.5)    3. 兄弟姉妹(79.6)    4. 祖父母(25.6)  
5. その他(具体的に ) (3.7)

(9) お子さんの衣服の着脱のようすはどうですか。あてはまる番号に をつけてください

1. 自分でできる(66.8)                      2. ほとんど自分でできる(26.6)  
3. 自分で半分くらいできる(5.3)    4. 自分で一部できる(0.9)  
5. まだ自分でできない(0.1)

(10) お子さんの歯磨きのようすはどうですか。あてはまる番号に をつけてください

1. 自分から進んで磨くことが多い(31.9)    2. 言わないと磨かないことが多い(56.9)  
3. 言われても磨かないことが多い(2.7)    4. ぜんぜん磨かない(0.5)  
5. だれかが磨いている(7.7)

(11) お子さんの排泄のようすはどうですか。あてはまる番号に をつけてください

1. 自分で進んでトイレにいき、自分でできる(86.5)  
2. 言わないと行かないが、自分でできる(3.8)    3. 見ていてもらうとできる(1.9)  
4. 時々手伝う(4.5)    5. よく手伝う(1.2)    6. まだ、できない(0.2)  
7. その他(具体的に ) (1.5)

問4 お子さんの休日や日曜日の遊びについて、おたずねします

(1) お子さんは、どこで遊ぶことが多いですか。あてはまる番号に をつけてください

1. たいてい外で(9.5)                      2. どちらかというと、外で(12.9)  
3. 外と室内が半々くらい(55.5)          4. どちらかというと、室内で(19.3)  
5. たいてい室内で(2.4)

(2) お子さんは、どんな遊びをしていますか。多いものから3つまで選び、番号に をつけてください

1. 砂遊び(20.6)                      2. 自転車など乗物遊び(55.2)    3. 鬼ごっこ(2.7)  
4. ボール遊び(14.3)    5. 木登り(0.2)                      6. ブランコ、すべり台で(18.5)  
7. ザリガニ捕り、魚捕りなど(6.7)                      8. ごっこ遊び(44.1)  
9. ブロック、積木、人形などのおもちゃで(54.9)    10. マンガ、絵本で(13.0)  
11. テレビ(29.9)                      12. テレビゲームで(12.8)    13. ゲーム類で(7.0)  
14. その他(具体的に ) (12.9)

(3) お子さんは、自宅以外で遊ぶ場合、どこで遊ぶことが多いですか。多いものから3つまで選び、番号に をつけてください

1. 家の庭、家の前などで(88.9)
2. 友だちの家で(57.3)
3. 空き地や野原などで(14.3)
4. 田んぼや畑などで(8.9)
5. 川、海、池などで(5.3)
6. 神社やお寺などで(1.8)
7. 公園や児童遊園地などで(55.3)
8. お菓子屋、おもちゃ屋、本屋などの店で(7.2)
9. 図書館、児童館、児童センターなどで(5.7)
10. その他(具体的に ) (11.4)

(4) お子さんは、誰と遊びますか。多いものから2つまで選び、番号に をつけてください

1. 同じ年ごろの友だちと(59.8)
2. 年下や年上の友だちと(17.0)
3. 兄弟姉妹と(71.9)
4. 親や家族の者と(35.6)
5. 近くに住んでいるおとなの人と(0.7)
6. ひとりで(6.5)
7. その他(具体的に ) (2.0)

(5) お子さんには、互いに遊びに行ったり来たりする友だちが何人ぐらいいますか。

あてはまる番号に をつけてください

1. 1人(9.1)
2. 2~3人(50.5)
3. 4人以上(23.1)
4. いない(16.6)

問5 お子さんが現在、している「けいこごと」について、おたずねします。

(1) お子さんは、「けいこごと」をしていますか。あてはまる番号に をつけてください

1. している(38.8)
2. していない(60.6)

↓  
1と答えた方は(2)(3)(4)へ

(2) お子さんのけいこごとは、次のどれにあたりますか。あてはまる番号のすべてに をつけてください(n=911)

1. ピアノ、電子オルガン(34.2)
2. スイミング(40.2)
3. 体操(6.0)
4. サッカー(3.1)
5. 柔道、空手(1.5)
6. 絵画(2.5)
7. 英会話(16.4)
8. そろばん(0.8)
9. 習字(10.1)
10. 洋舞、日舞(2.4)
11. 学習塾(11.9)
12. その他(具体的に ) (13.1)

(3) お子さんは、一週間に何日くらい、「けいこごと」に通っていますか。あてはまる番号に をつけてください(n=911)

1. 1日(56.4)
2. 2~3日(39.4)
3. 4~5日(3.1)
4. 6日以上(0.1)

(4) あなたが、お子さんを「けいこごと」に通わせる理由は何ですか。2つまで選び、 をつけてください(n=911)

1. 知識、情操を伸ばすため(34.1)
2. 健康な体をつくるため(40.1)
3. 早いうちから慣れさせたほうがよく身につくから(23.3)
4. 将来の受験に備えるため(0.1)
5. 親が不在がちなので、けいこごとに通わせておいた方が安心できるから(0.5)
6. 友だちが行っているから(2.7)
7. 遊び友だちが少ないので、友だちとふれあうよい機会だから(10.3)
8. 子どもが希望したから(50.1)
9. その他(具体的に ) (9.3)



子育てについて

問6 お子さんの「しつけ」について、おたずねします

(1) お子さんのテレビを見る時間は、どれくらいですか。あてはまる番号に をつけてください

平日

1. 1時間まで(18.5)      2. 2時間まで(36.9)      3. 3時間まで(27.6)  
4. 4時間まで(10.2)      5. 5時間まで(3.4)      6. 5時間以上(1.8)  
7. まったく見ない(0.9)

休日

1. 1時間まで(10.3)      2. 2時間まで(25.8)      3. 3時間まで(28.8)  
4. 4時間まで(16.4)      5. 5時間まで(9.5)      6. 5時間以上(7.1)  
7. まったく見ない(0.8)

(2) お子さんのビデオを見る時間は、どれくらいですか。あてはまる番号に をつけてください

平日

1. 1時間まで(50.5)    2. 2時間まで(24.5)    3. 3時間まで(5.7)    4. 4時間まで(0.9)  
5. 5時間まで(0.2)    6. 5時間以上(0.5)    7. まったく見ない(16.9)

休日

1. 1時間まで(35.2)    2. 2時間まで(36.5)    3. 3時間まで(12.3)    4. 4時間まで(3.7)  
5. 5時間まで(1.1)    6. 5時間以上(1.1)    7. まったく見ない(9.0)

(3) お子さんのテレビゲームをする時間は、どれくらいですか。あてはまる番号に をつけてください

平日

1. 1時間まで(25.8)    2. 2時間まで(5.0)    3. 3時間まで(1.1)    4. 4時間まで(0.1)  
5. 5時間まで(0.0004)    6. 5時間以上(0.0004)    7. まったくしない(66.8)

休日

1. 1時間まで(23.6)    2. 2時間まで(8.5)    3. 3時間まで(2.4)    4. 4時間まで(0.5)  
5. 5時間まで(0.4)    6. 5時間以上(0.1)    7. まったくしない(62.1)

(4) お子さんのテレビ(テレビ・ビデオ・テレビゲーム)にふれる時間や番組について、どうしていますか。あてはまる番号に をつけてください

1. ふれる時間をきめている(19.1)    2. ふれる番組(ゲーム)をきめている(17.5)  
3. ふれる時間とふれる番組(ゲーム)の両方をきめている(14.3)  
4. 子どもにまかせている(46.1)    5. ふれさせていない(2.0)

(5) お子さんのテレビ(テレビ・ビデオ・テレビゲーム)にふれる時間について、どう思いますか。あてはまる番号に をつけてください

1. 長すぎる(33.6)    2. ちょうどよい(42.8)    3. 短すぎる(0.2)  
4. 別に感じない(22.1)

(6) お子さんが遊んだあと、片付けをしない時にはどうしていますか。あてはまる番号に をつけてください

1. きつく叱って、ひとりで片付けさせている(14.1)
2. 片付けの大切さを話して、片付けさせている (18.7)
3. 片付けの大切さを話して、親といっしょに片付けている(47.4)
4. 親が片付けている(5.5)
5. 子どもが片付けるまで、そのままにしている(6.8)
6. その他(具体的に ) (6.9)

(7) お子さんが、「おもちゃを買って」と無理にせがむ時、どうしていますか。あてはまる番号に をつけてください

1. 納得するまで、話して我慢させている(39.9)
2. 納得するよう話すが、きつく叱って我慢させることもある(42.8)
3. きつく叱って、我慢させている(1.3)
4. 子どもの言うとおりにしている(0.9)
5. 放っておく(3.1)
6. その他(具体的に ) (11.8)

(8) しつけがうまくいかないとき、お子さんに対してどのような態度をとられますか。また、そのあと、どのように感じられましたか。具体的に書いてください

どのような態度をとられますか

そのあと、どのように感じられましたか

(9) お子さんの生活について、特に注意するのはどんなことですか。多いものから3つまで選び、番号に をつけてください

1. 交通規則を守ることや交通事故(52.3)
2. エチケットやマナー(33.0)
3. 友だちとの交わり(42.3)
4. 悪い遊びや危険な遊びをしないこと(35.7)
5. 整理整頓に気をつけること(10.8)
6. 起床・就寝時間を規則正しく(10.3)
7. テレビの見方(4.9)
8. 清潔衛生に気をつけること(12.6)
9. 言葉づかいを丁寧に(18.6)
10. 服装・持ち物に気をつけること(0.3)
11. 手伝いをする(2.9)
12. 物を大切にすること(38.8)
13. 食事・食事作法を正しく(23.2)
14. その他(具体的に ) (3.5)

(10) お子さんの食生活について気をつけていることはどんなことですか。多いものから3つまで選び、番号に をつけてください

1. 手作りの食事を心がけている(56.0)
2. 栄養のバランスを考えている(56.7)
3. 添加物などに気を配っている(19.0)
4. 間食・食べ過ぎなどに気を配っている(46.5)

- 5. よくかんで食べさせるようにしている(20.5)
- 6. 減塩・薄味を心がけている(8.9)      7. 朝食は必ず食べさせるようにしている(60.3)
- 8. その他(具体的に ) (6.9)

問7 あなたの「子育て」について、おたずねします

(1) お子さんとのふれあいをどの程度行っていますか。あてはまる番号に をつけてください

- 1. 積極的にしている(11.9)      2. 時間の許すかぎりしている(49.4)
- 3. 暇があればしている(33.4)      4. あまりしていない(3.8)      5. 全くしていない(無)

(2) お子さんと家族とのふれあいを深めるため、どのようなことをしていますか。

あてはまる番号のすべてに をつけてください

- 1. 家族で食事をするようにしている(70.5)
- 2. 分け合って、家事をするようにしている(10.8)
- 3. お話やテレビを通じ、共通の話題を作るようにしている(43.6)
- 4. 家族でスポーツや遊び、レクリエーションを楽しむようにしている(32.6)
- 5. 公園や野外などへ、家族で出掛けるようにしている(59.0)
- 6. その他(具体的に ) (6.8)

(3) お子さんと話すとき、どのような話題が多いですか。2つまで選び、番号に をつけてください

- 1. 子ども自身のこと(37.7)      2. 友だちのこと(35.9)      3. 家族のこと(5.5)
- 4. 保育所、幼稚園のこと(68.3)      5. 遊びのこと(19.5)
- 6. 特にきまっていない(19.8)      7. あまり話さない(0.2)

(4) 子どもを生み、育てるということは、どのような意義があると考えますか。3つまで選び、をつけてください

- 1. 次の社会を担う世代をつくる(21.0)      2. 家族の結びつきを深める(61.4)
- 3. 自分の生命を伝える( 9.9)      4. 出産、育児によって自分が成長する(50.0)
- 5. 子どもを育てることを楽しめる(29.7)      6. 家の存続のため(2.3)
- 7. 家庭が明るくなる(49.6)      8. 老後の面倒をみてもらう(1.0)
- 9. 子どもを通しての人間関係が豊かになる(44.8)
- 10. 自分の志をついでくれる後継者をつくる(0.7)
- 11. その他(具体的に ) (1.9)

(5) お子さんをどんな子に育てたいですか。強く思うものから3つまで選び、番号に をつけてください

- 1. 素直な子(26.7)      2. 思いやりがある子(62.8)      3. 自己主張のできる子(13.0)
- 4. 感性豊かな子(11.3)      5. 協調性のある子(5.6)      6. 最後まで頑張る子(19.9)
- 7. 親孝行な子(0.6)      8. 明るい子(18.5)      9. 自分の責任を果たす子(7.2)
- 10. 健康な子(53.5)      11. 人に信頼される子(6.3)      12. 人に迷惑をかけない子(21.0)
- 13. 意欲的な子(6.0)      14. 正直な子(7.9)      15. 善悪の判断ができる子(32.8)
- 16. その他(具体的に ) (1.6)

(6) 子どもを育てるうえで、どんなことが大変だと思いますか。3つまで選び、番号に をつけてください

- 1. 教育にかかる費用(45.8)      2. 衣食住にかかる費用(16.7)
- 3. 子どもの面倒をみることの疲れ(20.3)      4. 夫婦だけの時間の減少(5.5)
- 5. これからの進路や進学(31.8)      6. 働きながらの子育て(29.9)

7. 子どもを通しての人間関係(34.4)                      8. しつけの気苦労(48.0)  
9. その他(具体的に ) (7.4)                              10. 特に大変なことはない(6.1)

問8 あなたの「子育て」に関する悩みごと等について、おたずねします

(1)あなたは、子育てをする上で不安になったり、困ったりしたことがありますか。あてはまる番号に をつけてください

1. ある(82.7)                                              2. ない(14.1)

↓ 1と答えた方は(2)へ

(2)お子さんの育ちに関する悩みごとにはどんなものがありますか。3つまで選び、番号に をつけてください(n=1942)

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 保育所、幼稚園生活に関すること(18.9) | 2. しつけに関すること(57.7)   |
| 3. 生活習慣に関すること(21.1)      | 4. 性格に関すること(36.2)    |
| 5. 健康に関すること(20.3)        | 6. 知能に関すること(2.8)     |
| 7. 運動能力に関すること(2.3)       | 8. ことばに関すること(6.2)    |
| 9. 心身の発達に関すること(15.8)     | 10. 勉強や進学に関すること(8.7) |
| 11. けいこごとに関すること(4.5)     | 12. 食生活に関すること(18.8)  |
| 13. 友だちに関すること(24.5)      |                      |

(3)あなたは、子育てに関して誰に相談したり、何を参考にしたりしていますか。3つまで選び、番号に をつけてください

- |                          |                      |                      |
|--------------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 夫または妻に(74.2)          | 2. 自分及び配偶者の親に(45.9)  | 3. 兄弟姉妹・親戚に(19.3)    |
| 4. 友人に(57.1)             | 5. 知人、近所の人に(18.3)    | 6. 保育所、幼稚園の先生に(26.4) |
| 7. 新聞、雑誌、テレビ、育児書など(15.9) | 8. インターネット(0.3)      |                      |
| 9. 公的相談機関や医師等に(3.8)      | 10. その他(具体的に ) (3.0) |                      |
| 11. 特にない(3.2)            |                      |                      |

問9 あなたの「子育てに関する知識」について、おたずねします

(1)あなたは、子育てに関する知識を何から得ていますか。3つまで選び、番号に をつけてください

- |                       |                            |                    |
|-----------------------|----------------------------|--------------------|
| 1. 夫または妻から(28.9)      | 2. 自分及び配偶者の親から(53.7)       |                    |
| 3. 兄弟姉妹・親戚から(20.6)    | 4. 友人から(52.5)              | 5. 知人、近所の人から(23.2) |
| 6. 保育所、幼稚園の先生から(33.1) | 7. 新聞、雑誌、テレビ、育児書などから(41.4) |                    |
| 8. インターネットから(0.3)     | 9. 公的相談機関や医師等から(4.0)       |                    |
| 10. その他(具体的に ) (1.7)  | 11. 特にない(1.7)              |                    |

(2)育児や子どものしつけなどについて、もっと知りたいと思いますか。あてはまる番号に をつけてください

1. 知りたい(79.6)                                              2. あまり知りたいとは思わない(17.5)

↓ 1と答えた方は(3)(4)へ

(3)子育てについて知りたいことは、どんなことですか。2つまで選び、番号に をつけてください(n=1869)

1. 子どもの体と健康について(栄養、食欲、からだの発達、病気など)(31.9)
2. 子どもの生活習慣について(食事、睡眠、排便、あいさつ、テレビの見方)(16.1)
3. 子どもの知的発達と言葉について(文字の読み書き、数の理解など)(15.0)
4. 子どもの遊びについて(おもちゃ、マンガ、絵本、遊び場、遊び方など)(5.4)
5. 子どもの自立心、社会性について(反抗、わがまま、けんか、友だちなど)(71.2)

- 6. 情緒、情操について（子どもの心理、音楽や絵に対する興味、けいこごと）(20.9)
- 7. 育児やしつけをめぐる家族間の意見や態度の調整について(23.2)
- 8. その他（具体的に ）(0.8)

(4) どのような方法で知りたいですか。3つまで選び、番号に をつけてください

- 1. テレビ、ラジオで(35.6)
- 2. 新聞や雑誌、育児専門書で(42.6)
- 3. インターネットで(5.6)
- 4. PTA や母親学級で(19.7)
- 5. サークルで(5.9)
- 6. 各種講演会で(15.4)
- 7. 保育所・幼稚園の先生から(42.1)
- 8. 家族や知人などの育児経験者から(46.8)
- 9. 県や市町村が発行する広報紙やパンフレットで(22.2)
- 10. その他（具体的に ）(1.1)
- 11. 特にない(2.5)

問 10 あなたは、今、子育てにあたってどんなことをお考えですか。ご自由にお書きください

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました

## 2. クロス集計表

### (1) 子どもの育ちに関する悩み

就労状況別 (%) (当てはまるもの3つ)

	保育所・幼稚園生活に関すること	しつけに関すること	生活習慣に関すること	性格に関すること	健康に関すること	知能に関すること	運動能力に関すること	ことばに関すること	心身の発達に関すること	勉強や進学に関すること	稽古事に関すること	食生活に関すること	友達に関すること	該当者数(人)
公務員・会社員等	20.1	51.1	23.7	36.3	22.3	1.4	2.2	4.7	18.3	6.8	5.8	19.4	23.0	278
パート勤労者	15.7	60.5	21.3	37.4	21.3	3.9	1.6	7.4	15.7	10.4	4.3	15.5	24.3	489
家での仕事	16.4	59.2	20.6	36.6	24.8	5.9	2.1	4.6	13.9	7.1	7.1	20.6	23.9	238
専業主婦	21.3	57.7	20.0	36.5	19.0	1.8	2.4	6.3	14.1	8.0	3.5	20.1	25.6	820

家族類型別 (%) (当てはまるもの3つ)

	保育所・幼稚園生活に関すること	しつけに関すること	生活習慣に関すること	性格に関すること	健康に関すること	知能に関すること	運動能力に関すること	ことばに関すること	心身の発達に関すること	勉強や進学に関すること	稽古事に関すること	食生活に関すること	友達に関すること	該当者数(人)
核家族	20.4	56.8	19.8	35.2	20.8	2.6	1.6	6.3	15.6	8.2	4.4	19.5	25.7	1189
三世代家族	16.4	59.7	23.4	38.8	19.3	3.3	3.1	5.8	16.5	9.3	4.2	17.9	22.4	642
母子家族	17.9	55.4	19.6	28.6	16.1	3.6	5.4	8.9	12.5	17.9	7.1	25.0	16.1	56
父子家族	33.3	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	3

居住地別 (%) (当てはまるもの3つ)

	保育所・幼稚園生活に関すること	しつけに関すること	生活習慣に関すること	性格に関すること	健康に関すること	知能に関すること	運動能力に関すること	ことばに関すること	心身の発達に関すること	勉強や進学に関すること	稽古事に関すること	食生活に関すること	友達に関すること	該当者数(人)
まち(住宅地)	19.0	57.8	20.4	34.9	18.9	3.0	2.5	7.2	16.0	9.4	4.0	19.4	39.4	1205
まち(商工業地)	18.2	59.1	19.1	43.6	27.3	4.5	0.0	4.5	7.3	5.5	7.3	16.4	18.2	110
農村	17.6	58.2	25.7	37.2	20.3	2.4	2.0	3.7	18.6	7.6	5.4	18.1	26.2	409
山村	11.8	56.5	22.4	45.9	21.2	1.2	1.2	7.1	18.8	5.9	3.5	12.9	27.1	85
漁村	27.6	54.1	12.2	35.7	32.7	2.0	4.1	6.1	7.1	7.1	4.1	22.4	21.4	98

兄弟姉妹数別 (%) (当てはまるもの3つ)

	保育所・幼稚園生活に関すること	しつけに関すること	生活習慣に関すること	性格に関すること	健康に関すること	知能に関すること	運動能力に関すること	ことばに関すること	心身の発達に関すること	勉強や進学に関すること	稽古事に関すること	食生活に関すること	友達に関すること	該当者数(人)
1人	18.5	58.9	22.2	32.3	18.5	2.4	2.7	5.1	17.2	8.1	3.4	20.5	25.9	297
2人	19.5	57.3	21.6	37.5	21.2	2.9	2.8	5.5	15.0	8.3	4.5	19.9	23.8	1049
3人以上	16.9	56.1	19.7	36.2	19.5	2.8	0.8	7.7	16.5	10.4	5.3	15.2	25.8	508

ふれあいの程度別 (%) (当てはまるもの3つ)

	保育所・幼稚園生活に関すること	しつけに関すること	生活習慣に関すること	性格に関すること	健康に関すること	知能に関すること	運動能力に関すること	ことばに関すること	心身の発達に関すること	勉強や進学に関すること	稽古事に関すること	食生活に関すること	友達に関すること	該当者数(人)
積極的にしている	20.0	48.6	15.2	28.6	22.4	3.3	5.2	9.0	13.8	9.5	1.4	17.6	24.3	210
時間の許すかぎりしている	19.4	58.2	24.4	34.2	22.0	2.5	1.9	6.0	16.5	8.8	5.0	18.5	22.6	960
暇があればしている	18.2	60.0	18.7	39.9	19.1	3.4	2.1	5.8	14.1	8.7	5.0	20.0	24.9	675
あまりしていない	17.6	59.5	16.2	47.3	6.8	0.0	0.0	5.4	29.7	5.4	4.1	16.2	37.8	74

複数回答であるため、回答率の合計は100%を上回る。

兄弟姉妹別の子ども数は、対象幼児を含めた子どもの数である。

### (2) 子育てに関する悩みの相談先

就労状況別 (%) (当てはまるもの3つ)

	夫または妻に	自分および配偶者の親に	兄弟姉妹・親戚に	友人に	知人・近所の人に	保育所・幼稚園の先生に	新聞、雑誌、テレビ、育児書など	インターネット	公的相談機関や医師等に	その他	特になし	該当者数(人)
公務員・会社員等	73.8	51.0	18.6	47.0	12.7	28.7	14.6	0.3	3.1	3.1	2.5	355
パート勤労者	73.0	43.3	20.8	61.4	19.1	29.0	13.3	0.2	4.5	0.8	1.5	596
家での仕事	71.5	35.4	24.3	53.8	20.1	29.5	18.1	1.0	2.8	1.4	1.4	288
専業主婦	76.0	49.0	17.8	59.2	19.8	21.9	18.0	0.3	3.5	1.5	0.9	970

家族類型別 (%) (当てはまるもの3つ)

	夫または妻に	自分および配偶者の親に	兄弟姉妹・親戚に	友人に	知人・近所の人に	保育所・幼稚園の先生に	新聞、雑誌、テレビ、育児書など	インターネット	公的相談機関や医師等に	その他	特になし	該当者数(人)
核家族	78.0	45.2	17.6	58.3	20.5	24.8	16.0	0.3	4.0	1.4	1.5	1435
三世代家族	73.7	47.9	22.1	54.1	14.5	27.6	16.5	0.3	3.6	2.1	1.9	778
母子家族	4.8	39.7	30.2	71.4	22.2	44.4	12.7	0.0	4.8	1.6	0.0	63
父子家族	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4

居住地別 (%) (当てはまるもの3つ)

	夫または妻に	自分および配偶者の親に	兄弟姉妹・親戚に	友人に	知人・近所の人に	保育所、幼稚園の先生に	新聞、雑誌、テレビ、育児書など	インターネット	公的相談機関や医師等に	その他	特になし	該当者数(人)
まち(住宅地)	73.5	45.9	19.3	56.4	20.2	25.4	15.8	0.4	4.5	1.6	1.8	1459
まち(商工業地)	78.1	48.4	18.8	57.8	15.6	25.0	18.0	0.8	0.8	3.9	1.6	128
農村	74.7	46.8	18.5	55.4	16.1	27.9	16.1	0.2	2.9	1.6	1.4	491
山村	75.2	39.0	21.0	63.8	10.5	23.8	16.2	0.0	4.8	1.0	2.9	105
漁村	74.2	46.0	22.6	60.5	14.5	33.9	17.7	0.0	3.2	0.0	0.8	124

兄弟姉妹数別 (%) (当てはまるもの3つ)

	夫または妻に	自分および配偶者の親に	兄弟姉妹・親戚に	友人に	知人・近所の人に	保育所、幼稚園の先生に	新聞、雑誌、テレビ、育児書など	インターネット	公的相談機関や医師等に	その他	特になし	該当者数(人)
1人	64.4	46.4	20.7	55.7	16.9	27.1	18.7	0.9	3.2	2.6	1.5	343
2人	76.4	48.9	18.5	57.7	19.5	24.1	15.2	0.2	4.0	1.4	1.6	1279
3人以上	77.5	40.1	19.2	56.4	16.3	29.3	16.1	0.5	3.9	1.4	1.6	621

ふれあいの程度別 (%) (当てはまるもの3つ)

	夫または妻に	自分および配偶者の親に	兄弟姉妹・親戚に	友人に	知人・近所の人に	保育所、幼稚園の先生に	新聞、雑誌、テレビ、育児書など	インターネット	公的相談機関や医師等に	その他	特になし	該当者数(人)
積極的にしている	73.6	46.1	18.2	56.4	19.6	26.1	12.5	0.0	3.6	2.9	0.7	280
時間の許すかぎりしている	76.2	48.0	19.5	55.0	15.9	27.5	16.5	0.5	4.7	2.2	1.7	1161
暇があればしている	71.6	45.4	19.3	60.6	21.9	24.7	16.3	0.3	3.1	0.5	1.7	784
あまりしていない	71.1	26.7	21.1	64.4	17.8	27.8	17.8	0.0	2.2	1.1	4.4	90

子育てに関する悩み別 (%) (当てはまるもの3つ)

	夫または妻に	自分および配偶者の親に	兄弟姉妹・親戚に	友人に	知人・近所の人に	保育所、幼稚園の先生に	新聞、雑誌、テレビ、育児書など	インターネット	公的相談機関や医師等に	その他	特になし	該当者数(人)
保育所・幼稚園生活にすること	77.4	41.1	18.5	63.2	18.3	36.0	15.8	0.3	4.4	2.2	0.8	367
しつけにすること	75.1	48.3	20.4	59.6	19.6	25.0	18.5	0.4	3.4	1.4	1.1	1120
生活習慣にすること	77.3	50.6	17.6	57.9	21.8	29.1	16.6	0.7	3.4	1.7	1.5	409
性格にすること	73.1	45.4	20.8	62.0	21.6	27.2	19.8	0.1	2.8	1.3	0.7	703
健康にすること	77.4	52.5	20.3	59.4	17.3	25.4	16.0	0.5	5.8	0.8	0.8	394
知能にすること	74.1	37.0	16.7	59.3	20.4	27.8	16.7	1.9	16.7	0.0	1.9	54
運動能力にすること	56.8	43.2	20.5	56.8	18.2	38.6	18.2	0.0	15.9	0.0	2.3	44
ことばにすること	70.0	44.2	24.2	50.8	15.8	32.5	20.8	0.8	15.0	0.0	0.8	120
心身の発達にすること	73.6	48.5	17.6	58.6	16.9	32.2	20.2	0.0	11.4	1.6	1.6	307
勉強や進学にすること	74.0	45.0	24.3	56.8	21.3	27.8	15.4	1.2	6.5	0.6	1.2	169
稽古事にすること	72.7	45.5	30.7	58.0	15.9	21.6	21.6	1.1	2.3	0.0	0.0	88
食生活にすること	74.6	48.9	18.0	59.3	21.3	28.7	17.8	0.3	3.3	1.4	0.8	366
友達にすること	77.9	42.9	20.6	64.8	18.5	31.4	14.3	0.0	3.6	1.5	1.1	475

複数回答であるため、回答率の合計は100%を上回る。

兄弟姉妹別の子ども数は、対象幼児を含めた子どもの数である。

(3) 子育てに関する情報源

就労状況別 (%) (当てはまるもの3つ)

	夫または妻から	自分および配偶者の親から	兄弟姉妹・親戚から	友人から	知人・近所の人から	保育所、幼稚園の先生から	新聞、雑誌、テレビ、育児書などから	インターネットから	公的相談機関や医師等から	その他	特になし	該当者数(人)
公務員・会社員等	30.1	61.1	18.9	43.4	12.7	40.3	38.9	0.6	3.7	5.9	2.8	355
パート勤労者	28.7	52.2	23.2	55.9	24.3	34.6	36.2	0.3	7.7	4.0	2.9	596
家での仕事	33.0	46.9	23.6	49.3	25.0	37.2	37.8	0.7	2.8	1.4	4.2	288
専業主婦	28.5	54.6	19.0	54.8	26.2	27.0	47.2	0.2	4.7	2.5	2.7	970

家族類型別 (%) (当てはまるもの3つ)

	夫または妻から	自分および配偶者の親から	兄弟姉妹・親戚から	友人から	知人・近所の人から	保育所、幼稚園の先生から	新聞、雑誌、テレビ、育児書などから	インターネットから	公的相談機関や医師等から	その他	特になし	該当者数(人)
核家族	31.2	52.6	19.2	52.8	26.1	30.0	42.2	0.3	4.0	3.0	3.2	1435
三世帯家族	27.8	56.2	23.1	50.5	17.6	37.1	42.7	0.4	3.7	3.3	3.0	778
母子家族	0.0	55.6	25.4	71.4	25.4	47.6	22.2	0.0	4.8	1.6	1.6	63
父子家族	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4

居住地別 (%) (当てはまるもの3つ)

	夫または妻から	自分および配偶者の親から	兄弟姉妹・親戚から	友人から	知人・近所の人から	保育所、幼稚園の先生から	新聞、雑誌、テレビ、育児書などから	インターネットから	公的相談機関や医師等から	その他	特になし	該当者数(人)
まち(住宅地)	29.2	53.5	19.4	53.1	25.3	31.0	41.0	0.3	4.6	3.2	3.4	1459
まち(商工業地)	26.6	58.6	19.5	58.6	19.5	31.3	49.2	1.6	4.7	3.9	1.6	128
農村	27.3	55.0	21.6	47.5	20.8	38.1	42.4	0.0	1.8	3.1	2.6	491
山村	28.6	43.8	26.7	58.1	12.4	34.3	41.9	1.0	7.6	2.9	3.8	105
漁村	34.7	52.4	26.6	52.4	20.2	39.5	35.5	0.0	2.4	0.8	3.2	124

兄弟姉妹数別 (%) (当てはまるもの3つ)

	夫または妻から	自分および配偶者の親から	兄弟姉妹・親戚から	友人から	知人・近所の人から	保育所、幼稚園の先生から	新聞、雑誌、テレビ、育児書などから	インターネットから	公的相談機関や医師等から	その他	特になし	該当者数(人)
1人	25.1	57.7	21.9	53.1	19.5	32.4	41.4	0.3	4.1	2.6	2.3	343
2人	27.5	55.7	19.2	53.3	23.9	33.2	42.5	0.2	4.4	3.3	2.4	1279
3人以上	34.8	48.8	21.7	48.0	23.3	32.5	39.9	0.8	3.4	2.7	4.8	621

ふれあいの程度別 (%) (当てはまるもの3つ)

	夫または妻から	自分および配偶者の親から	兄弟姉妹・親戚から	友人から	知人・近所の人から	保育所、幼稚園の先生から	新聞、雑誌、テレビ、育児書などから	インターネットから	公的相談機関や医師等から	その他	特になし	該当者数(人)
積極的にしている	31.1	52.1	22.5	53.6	23.6	29.6	37.9	0.4	3.2	5.4	1.8	280
時間の許すかぎりしている	29.7	55.2	20.1	51.3	22.0	35.6	42.6	0.5	4.4	3.4	2.8	1161
暇があればしている	26.5	53.2	20.5	54.6	24.9	31.5	43.0	0.1	3.6	1.7	3.3	784
あまりしていない	30.0	43.3	23.3	53.3	30.0	26.7	28.9	0.0	4.4	1.1	8.9	90

子育てに関する悩み別 (%) (当てはまるものを3つ)

	夫または妻から	自分および配偶者の親から	兄弟姉妹・親戚から	友人から	知人・近所の人から	保育所、幼稚園の先生から	新聞、雑誌、テレビ、育児書などから	インターネットから	公的相談機関や医師等から	その他	特になし	該当者数(人)
保育所・幼稚園生活に関すること	30.0	49.3	22.9	56.1	23.2	38.7	43.6	0.5	3.8	2.5	2.5	367
しつけに関すること	29.0	55.7	21.9	54.8	24.0	32.9	47.0	0.4	3.7	2.5	1.6	1120
生活習慣に関すること	27.4	57.2	18.3	53.8	23.7	36.9	48.2	0.5	3.9	3.7	2.4	409
性格に関すること	27.5	52.2	19.8	55.8	25.3	35.0	47.4	0.3	3.7	2.8	2.1	703
健康に関すること	28.7	54.8	18.3	55.1	23.4	34.3	48.0	0.5	7.4	2.8	1.5	394
知能に関すること	27.8	46.3	25.9	48.1	35.2	38.9	42.6	1.9	11.1	1.9	1.9	54
運動能力に関すること	15.9	54.5	18.2	59.1	20.5	40.9	47.7	0.0	9.1	6.8	0.0	44
ことばに関すること	30.8	49.2	26.7	59.2	18.3	31.7	40.8	1.7	12.5	0.8	3.3	120
心身の発達に関すること	30.6	55.7	18.9	53.4	22.8	36.8	45.9	0.0	7.2	3.9	2.3	307
勉強や進学に関すること	23.7	52.1	23.7	50.9	27.8	43.2	42.6	1.2	6.5	2.4	2.4	169
積古事に関すること	31.8	54.5	27.3	52.3	28.4	33.0	39.8	2.3	3.4	4.5	1.1	88
食生活に関すること	26.8	56.6	18.6	52.5	27.3	28.1	48.6	0.5	5.5	3.3	1.9	366
友達に関すること	31.6	51.8	21.1	54.1	27.8	34.7	42.1	0.2	4.0	4.0	2.7	475

複数回答であるため、回答率の合計は100%を上回る。

兄弟姉妹別の子ども数は、対象幼児を含めた子どもの数である。

#### (4) 子育てに関して知りたいこと

就労状況別 (%) (当てはまるもの2つ)

	子どもの体と健康について	子どもの生活習慣について	子どもの知的発育と言葉について	子どもの遊びについて	子どもの自立心、社会性について	情緒、情操について	育児をめぐる家族間の意見や態度の調整	その他	該当者数(人)
公務員・会社員等	27.2	20.8	14.3	4.9	72.1	20.8	20.4	1.1	265
パート勤労者	36.1	17.3	16.0	3.0	68.9	18.4	24.6	0.6	463
家での仕事	31.7	16.1	15.7	5.2	70.9	20.9	24.8	0.4	230
専業主婦	31.3	14.6	14.9	6.5	72.3	22.2	22.2	0.6	801

家族類型別 (%) (当てはまるもの2つ)

	子どもの体と健康について	子どもの生活習慣について	子どもの知的発育と言葉について	子どもの遊びについて	子どもの自立心、社会性について	情緒、情操について	育児をめぐる家族間の意見や態度の調整	その他	該当者数(人)
核家族	34.0	15.2	15.3	6.1	70.5	21.2	20.5	1.1	1140
三世帯家族	29.0	16.6	14.7	4.3	72.2	19.9	27.3	0.3	627
母子家族	30.8	30.8	11.5	3.8	75.0	15.4	25.0	0.0	52
父子家族	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	66.7	0.0	3

居住地別 (%) (当てはまるもの2つ)

	子どもの体と健康について	子どもの生活習慣について	子どもの知的発育と言葉について	子どもの遊びについて	子どもの自立心、社会性について	情緒、情操について	育児をめぐる家族間の意見や態度の調整	その他	該当者数(人)
まち(住宅地)	32.1	16.7	14.2	5.8	72.1	19.3	23.0	0.9	1159
まち(商工業地)	26.0	18.0	24.0	4.0	73.0	18.0	22.0	1.0	100
農村	31.6	14.7	15.9	4.5	69.9	23.9	24.4	0.2	402
山村	33.3	12.8	10.3	3.8	60.3	35.9	25.6	1.3	78
漁村	36.4	14.1	17.2	4.0	72.7	21.2	18.2	1.0	99



兄弟姉妹数別 (%) (当てはまるもの2つ)

	子どもの体と健康について	子どもの生活習慣について	子どもの知的発育と言葉について	子どもの遊びについて	子どもの自立心、社会性について	情緒、情操について	育児をめぐる家族間の意見や態度の調整	その他	該当者数(人)
1 人	34.5	19.9	17.1	6.0	68.3	20.3	19.9	1.4	281
2 人	32.3	15.8	15.2	5.2	71.3	22.2	21.4	0.6	1015
3 人以上	29.8	13.2	13.6	5.0	73.1	20.2	27.9	0.8	484

ふれあいの程度別 (%) (当てはまるもの2つ)

	子どもの体と健康について	子どもの生活習慣について	子どもの知的発育と言葉について	子どもの遊びについて	子どもの自立心、社会性について	情緒、情操について	育児をめぐる家族間の意見や態度の調整	その他	該当者数(人)
積極的にしている	36.3	17.6	11.3	5.4	65.2	25.5	18.1	1.5	204
時間の許すかぎりしている	35.4	14.5	16.8	5.4	70.4	21.2	21.6	0.8	957
暇があればしている	27.0	17.9	14.2	5.3	73.0	19.8	25.4	0.5	626
あまりしていない	17.5	12.7	9.5	4.8	82.5	14.3	39.7	1.6	63

複数回答であるため、回答率の合計は100%を上回る。

兄弟姉妹別の子ども数は、対象幼児を含めた子どもの数である。

### (5) 子育てに関する希望情報源

就労状況別 (%) (当てはまるもの2つ)

	テレビ、ラジオ	新聞や雑誌、育児専門書	インターネット	PTAや母親学級	サークル	各種講演会	保育所・幼稚園の先生から	家族や知人などの育児経験者から	県や市町村が発行する広報紙やパンフレット	その他	特になし	該当者数(人)
公務員・会社員等	30.9	40.0	9.1	20.0	5.7	19.2	45.7	39.2	18.9	1.5	1.9	265
パート勤労者	38.0	41.5	4.3	17.1	4.1	13.4	44.7	47.7	21.4	0.6	2.8	463
家で仕事	37.0	43.9	4.8	21.3	4.8	13.5	44.3	45.7	21.3	0.4	4.8	230
専業主婦	35.8	43.4	5.5	21.1	7.2	15.7	38.7	49.6	23.8	1.5	1.6	801

家族類型別 (%) (当てはまるもの2つ)

	テレビ、ラジオ	新聞や雑誌、育児専門書	インターネット	PTAや母親学級	サークル	各種講演会	保育所・幼稚園の先生から	家族や知人などの育児経験者から	県や市町村が発行する広報紙やパンフレット	その他	特になし	該当者数(人)
核家族	35.9	43.2	5.8	18.9	5.4	14.7	40.9	48.2	23.2	1.1	2.5	1140
三世帯家族	35.2	43.1	5.3	22.0	6.5	17.5	43.2	45.9	20.6	0.8	1.9	627
母子家族	36.5	38.5	0.0	11.5	5.8	5.8	51.9	34.6	23.1	1.9	9.6	52
父子家族	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	3

居住地別 (%) (当てはまるもの2つ)

	テレビ、ラジオ	新聞や雑誌、育児専門書	インターネット	PTAや母親学級	サークル	各種講演会	保育所・幼稚園の先生から	家族や知人などの育児経験者から	県や市町村が発行する広報紙やパンフレット	その他	特になし	該当者数(人)
まち(住宅地)	35.9	44.1	5.5	18.1	5.7	13.7	40.8	48.1	23.4	1.2	2.8	1159
まち(商工業地)	30.0	40.0	11.0	22.0	6.0	19.0	50.0	44.0	19.0	0.0	5.0	100
農村	36.3	42.3	6.2	23.4	5.0	19.4	43.8	42.3	21.6	1.2	1.5	402
山村	33.3	32.1	3.8	17.9	7.7	20.5	42.3	50.0	16.7	1.3	0.0	78
漁村	33.3	40.4	1.0	24.2	8.1	12.1	42.4	52.5	19.2	1.0	3.0	99

兄弟姉妹数別 (%) (当てはまるもの2つ)

	テレビ、ラジオ	新聞や雑誌、育児専門書	インターネット	PTAや母親学級	サークル	各種講演会	保育所・幼稚園の先生から	家族や知人などの育児経験者から	県や市町村が発行する広報紙やパンフレット	その他	特になし	該当者数(人)
1 人	34.9	45.6	6.0	14.6	6.4	13.2	42.3	48.4	23.1	2.1	3.6	281
2 人	36.3	43.1	5.6	19.2	5.6	15.6	42.8	45.5	22.9	1.1	2.4	1015
3 人以上	34.5	40.7	5.8	25.2	6.2	16.7	37.4	46.1	21.1	0.8	2.1	484

ふれあいの程度別 (%) (当てはまるもの2つ)

	テレビ、ラジオ	新聞や雑誌、育児専門書	インターネット	PTAや母親学級	サークル	各種講演会	保育所・幼稚園の先生から	家族や知人などの育児経験者から	県や市町村が発行する広報紙やパンフレット	その他	特になし	該当者数(人)
積極的にしている	39.7	37.7	8.8	23.0	6.4	18.1	40.2	42.6	22.1	0.5	2.0	204
時間の許すかぎりしている	34.0	45.9	6.0	18.0	5.5	16.3	43.2	46.4	21.9	1.1	2.8	957
暇があればしている	36.7	42.3	4.6	19.6	5.9	12.6	40.3	48.2	24.4	1.1	2.2	626
あまりしていない	34.9	19.0	0.0	28.6	4.8	19.0	44.4	54.0	9.5	3.2	3.2	63

複数回答であるため、回答率の合計は100%を上回る。

兄弟姉妹別の子ども数は、対象幼児を含めた子どもの数である。

### 3. 自由記述分類集計表

#### (1) しつけがうまくいかなかった場合の対応と対応後の保護者の気持ち

しつけがうまくいかなかった場合の対応分類表 - 1、年齢別

分類	3歳児		4歳児		5歳児		全体	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
規制	629	90.6	608	92.5	598	90.9	1835	91.3
待ち	34	4.9	30	4.6	36	5.5	100	5.0
振り替え	4	0.6	2	0.3	0	0.0	6	0.3
家族の助力	4	0.6	7	1.1	4	0.6	15	0.7
諦観	56	8.1	54	8.2	55	8.4	165	8.2
悲観・嫌悪	9	1.3	3	0.5	5	0.8	17	0.8
その他	19	2.7	17	2.6	19	2.9	55	2.7
回答数計	755	108.8	721	109.7	717	109.0	2193	109.2
設問に対する回答者数(人)	694	100.0	657	100.0	658	100.0	2009	100.0
サンプル数(人)	794		772		782		2348	
設問に対する回答率(%)	87.4		85.1		84.1		85.6	

一人の回答が複数項目に分類される場合もあるため、回答率の合計は100%を上回る。

しつけがうまくいかなかった場合の対応分類表 - 2、年齢別

分類	3歳児		4歳児		5歳児		全体		
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)	
規制	説得	129	18.6	160	24.4	159	24.2	448	22.3
	叱責	323	46.5	297	45.2	332	50.5	952	47.4
	体罰	221	31.8	204	31.1	173	26.3	598	29.8
	比較叱責	6	0.9	3	0.5	6	0.9	15	0.7
	暴言	12	1.7	21	3.2	8	1.2	41	2.0
	脅す	26	3.7	28	4.3	7	1.1	61	3.0
	感情的	124	17.9	141	21.5	117	17.8	382	19.0
	強要	6	0.9	9	1.4	6	0.9	21	1.0
	当たり散らし	2	0.3	8	1.2	4	0.6	14	0.7
	子どもを否定	8	1.2	7	1.1	4	0.6	19	0.9
待ち	34	4.9	30	4.6	36	5.5	100	5.0	
振り替え	4	0.6	2	0.3	0	0.0	6	0.3	
家族の助力	4	0.6	7	1.1	4	0.6	15	0.7	
諦観	56	8.1	54	8.2	55	8.4	165	8.2	
悲観・嫌悪	9	1.3	3	0.5	5	0.8	17	0.8	
その他	19	2.7	17	2.6	19	2.9	55	2.7	
回答数計	983	141.6	991	150.8	935	142.1	2909	144.8	
設問に対する回答者数(人)	694	100.0	657	100.0	658	100.0	2009	100.0	
サンプル数(人)	794		772		782		2348		
設問に対する回答率(%)	87.4		85.1		84.1		85.6		

一人の回答が複数項目に分類される場合もあるため、回答率の合計は100%を上回る。

「規制」についても回答がさらに複数項目に分類される場合もあるため、分類表 - 2の回答率の合計は分類表 - 1の回答率の合計と異なる。

(2) しつけがうまくいかなかった場合の対応後の保護者の気持ち

しつけがうまくいかなかった場合の対応後の保護者の気持ち分類表、年齢別

分類	3歳児		4歳児		5歳児		全体	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
肯定	61	9.0	72	11.6	55	8.8	188	9.8
反省・後悔	325	48.1	345	55.6	338	54.2	1008	52.5
自己嫌悪	71	10.5	56	9.0	54	8.7	181	9.4
困惑	58	8.6	57	9.2	54	8.7	169	8.8
感情的	5	0.7	4	0.6	10	1.6	19	1.0
羨望	1	0.1	1	0.2	3	0.5	5	0.3
心配	7	1.0	1	0.2	5	0.8	13	0.7
フォロー	99	14.6	72	11.6	103	16.5	274	14.3
自分に言い聞かせ	120	17.8	108	17.4	103	16.5	331	17.2
周辺の人の助力	4	0.6	6	1.0	3	0.5	13	0.7
諦観	11	1.6	4	0.6	6	1.0	21	1.1
その他	20	3.0	22	3.5	24	3.8	66	3.4
回答数計	782	115.7	748	120.5	758	121.5	2288	119.1
設問に対する回答者数(人)	676	100.0	621	100.0	624	100.0	1921	100.0
サンプル数(人)	794		772		782		2348	
設問に対する回答率(%)	85.1		80.4		79.8		81.8	

一人の回答が複数項目に分類される場合もあるため、回答率の合計は100%を上回る。

「しつけがうまくいかなかった場合の対応」別に見た「対応後の保護者の気持ち」(%)

	肯定	反省・後悔	自己嫌悪	困惑	感情的	羨望	心配	フォロー	自分に言い聞かせ	周辺の人の助力	諦観	その他	無回答	該当者数(人)
規制														
説得	18.1	37.5	5.1	10.3	0.9	0.0	0.0	13.6	14.7	1.1	1.3	6.7	5.6	448
叱責	7.2	54.9	9.2	8.7	0.9	0.5	0.4	14.3	17.3	0.1	1.1	1.9	2.7	952
体罰	12.7	53.0	12.4	7.2	2.2	0.0	0.7	14.0	13.4	0.3	0.7	1.0	0.7	598
比較叱責	0.0	66.7	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15
暴言	2.4	58.5	26.8	0.0	0.0	0.0	0.0	24.4	14.6	2.4	0.0	0.0	0.0	41
脅す	4.9	54.1	11.5	13.1	0.0	0.0	0.0	11.5	16.4	0.0	1.6	3.3	0.0	61
感情的	3.1	60.7	15.7	6.3	0.5	0.0	1.6	16.0	19.6	0.3	1.6	0.0	2.4	382
強要	14.3	61.9	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	14.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21
当たり散らし	0.0	71.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14
子どもを否定	10.5	63.2	15.8	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5	36.8	0.0	0.0	0.0	0.0	19
待ち	23.0	29.0	1.0	13.0	0.0	1.0	0.0	14.0	20.0	1.0	1.0	4.0	7.0	100
振り替え	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6
家族の助力	6.7	20.0	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	20.0	0.0	6.7	6.7	15
諦観	7.3	41.2	10.3	15.8	1.2	0.6	1.2	14.5	15.8	1.8	0.6	4.2	0.6	165
悲観・嫌悪	17.6	29.4	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0	23.5	29.4	0.0	0.0	5.9	0.0	17
その他	1.8	21.8	3.6	12.7	1.8	0.0	0.0	9.1	10.9	0.0	0.0	9.1	34.5	55

一人の回答が複数項目に分類される場合もあるため、回答率の合計は100%を上回る。

(2) 子育てについての意見

子育てについての意見分類表、年齢別

分類	3歳児		4歳児		5歳児		全体	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
子育ての両面的価値	43	7.9	29	5.6	23	4.5	95	6.1
子育てに対する充実感や楽しさ	11	2.0	7	1.4	10	2.0	28	1.8
子育て上の不安やストレス	116	21.4	99	19.1	101	19.9	316	20.2
子育て中の親に対する意見、不満	13	2.4	15	2.9	17	3.4	45	2.9
子育て環境に対する意見、不満	75	13.8	49	9.5	47	9.3	171	10.9
自分なりの子育て論	234	43.1	238	46.0	246	48.5	718	45.8
わが子への期待、思い	54	9.9	44	8.5	47	9.3	145	9.3
子どもの人格について	16	2.9	9	1.7	12	2.4	37	2.4
その他	21	3.9	52	10.1	42	8.3	115	7.3
回答数計	583	107.4	542	104.8	545	107.5	1670	106.6
設問に対する回答者数(人)	543	100.0	517	100.0	507	100.0	1567	100.0
サンプル数(人)	794		772		782		2348	
設問に対する回答率(%)	68.4		67.0		64.8		66.7	

一人の回答が複数項目に分類される場合もあるため、回答率の合計は100%を上回る。

#### 4 . 参考資料

子どもの生活実態と子育ての現状に関する調査報告書

平成 7 年 3 月

三重県乳幼児教育センター

子育て上の悩みと相談に関する調査研究報告書

平成 8 年 3 月

三重県乳幼児教育センター

子どもの生活実態と子育ての現状に関する調査報告書

平成 1 3 年 3 月

三重県乳幼児教育センター

第 2 回 幼児の生活アンケート報告書

平成 1 2 年 9 月

ベネッセ教育研究所

子育て上の悩みと相談に関する  
調査研究報告書

平成 14 年 1 月 発行

三重県乳幼児教育センター

〒 5 1 4 - 0 8 0 3 三重県津市柳山津興 1 2 3 9

TEL 0 5 9 - 2 2 8 - 0 0 8 1

FAX 0 5 9 - 2 2 8 - 2 8 8 2

URL <http://www.inetmie.or.jp/~mp-eccec>